

# ユニット9

## 丸の図を使ってたし算とひき算をしましょう

### 1 このユニットのねらい

- 順序数と基数が関係する日常生活の状況を表わすために丸の図を使ってたし算とひき算を解きます。

### 2 学習の流れと範囲

#### 1学年

##### ユニット3：横書きで10までの数のたし算とひき算をしましょう

- 横書きでたし算をしましょう
- 横書きでひき算をしましょう
- 横書きで3つの数のたし算とひき算をしましょう

##### ユニット5：横書きで20までの数のたし算とひき算をしましょう

- 10ともうひとつの数のたし算をしましょう
- 2桁までの数のたし算をしましょう
- 2桁の数のひき算をしましょう
- 10以下の数のひき算をしましょう
- 横書きで3つの数のたし算とひき算をしましょう

##### ユニット7：縦書きでたし算とひき算をしましょう

- 縦書きでたし算をしましょう
- 縦書きでひき算をしましょう

##### ユニット9：丸の図を使ってたし算とひき算をしましょう

- 順序数のたし算とひき算をしましょう
- たし算とひき算をしましょう

#### 2学年

##### ユニット2：たし算をさらに学習しましょう

- たし算のやり方を思い出しましょう
- 繰り上がりのある2桁までの数のたし算をしましょう
- たし算の特徴を確認しましょう
- 繰り上がりなし・繰り上がりありで2桁までの数のたし算をしましょう

##### ユニット4：ひき算をさらに学習しましょう

- ひき算のやり方を思い出しましょう
- 繰り下がりのある2桁までの数のひき算をしましょう
- 繰り下がりなし・繰り下がり1回の3桁までの数のひき算をしましょう
- 繰り下がり2回または3回の3桁までの数のひき算をしましょう
- リボンの図と関連付けながらたし算とひき算をやってみましょう

3 このユニットの構成

レッスン	授業	タイトル
1 順序数のたし算と ひき算をしましょう	1	順序数のたし算をしましょう
	2	順序数のひき算をしましょう
2 順序数のたし算と ひき算をしましょう	1	丸の図を使ってたし算をしましょう。
	2	丸の図を使ってひき算をしましょう。
	3	復習問題
	4	「～より多い」を使ってたし算をしましょう その1
	5	「～より多い」を使ってたし算をしましょう その2
	6	「～より少ない」を使ってひき算をしましょう その1
	7	「～より少ない」を使ってひき算をしましょう その2
	8	隠れた数字を足しましょう その1
	9	隠れた数字を足しましょう その2
	10	学んだことを練習しましょう
	11	学んだことを練習しましょう
	1	ユニットテスト

授業総数

+ ユニットテスト

13

## 4 各レッスンの要点

### レッスン1

#### 順序数のたし算とひき算をしましょう（全2コマ）

このユニットにおいて展開される内容の種類により、解答または出題される問題は文脈を伴っています。そのうちのいくつかは前ユニットで取り組みましたが、本ユニットで生徒に論理的根拠が展開されるようにします。たし算の問題を解くために特別な方法を紹介します。その方法は図を使い、丸の図と名付けます。この図はそれぞれの問題において立てられた状況を表わし、それぞれの丸は人、動物、または物を表わします。図を作成するための基点は常に左ですが、生徒は左からでも右からでも描いていいでしょう。情報の正しい位置が重要になります。

例えば右図は丸の図を示し、フリアが列の中でどの位置にいて彼女の後ろに何人いるのかを表わしていますが、列の中に合計何人いるのかは分かりません。丸の図を使う方法は問題の種類によって異なります。それぞれの授業でより詳しい情報を見ることができます。



この課は順序数に関する問題が含まれており、ユニット3、5、7で展開したたし算と同様にユニット2のレッスン3で展開された内容は基礎知識となります。

### レッスン2

#### たし算とひき算をしましょう（全11コマ）

この課では解くために丸の図を使う問題が数多く含まれています。

また、丸の図は2学年で使用するリボンの図と緊密な関係にあります。（丸の図は独立した情報のために使われ、リボンの図は連続性のある情報や独立した情報に相当する数量が大きく、丸で表わすには難しい場合に使われます。）

それぞれの問題の種類に対する図が作成される方法は、該当する授業において説明されますが、次のように強調されます。

- 問題文に出てくる情報の順番を基にして、図は順番に作成されます。
- 図にすべての情報が備わるようにする目的で、問題文で言及されるそれぞれの情報は丸の図に記されなければなりません。これは、問題を解くために行わなければならない計算を特定するためにも役立ちます。
- また、それぞれの授業の説明において見ることができる通り、計算したい情報を示すことも重要になります。
- 指導案として、45分の授業時間を無駄なく使うために丸を描くことを避け、紙でできた丸を黒板に貼って使うことが推奨されます。よく用いる方法として、これらを長い期間使用できるようビニールや透明の粘着テープで覆うことが推奨されます。

# レッスン

# 1

## 順序数のたし算とひき算をしましょう

### 1.1 順序数のたし算をしましょう

#### 考えてみよう

フリアは徒競走で4番目にいます。その後ろには5人の女の子がいます。  
何人の女の子が競争しているでしょうか？

#### 答えてみよう

丸の図を用います。

- ① 女の子を丸で表わします。



アナ



- ② 計算式を書きます：4 + 5

- ③ 答えを計算します。

$$4 + 5 = 9$$

フリアまで何人の女の子がいるでしょうか？



この図は丸の図として知られています。



答え：9人

### 理解しよう

順序数のたし算をするには、丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

ファンは列で3番目にいます。その後ろに5人の子がいます。  
列に何人の子がいるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 計算式を書きましょう：3 + 5

- ③ 答えを計算しましょう：

$$3 + 5 = 8$$

答え：8人

## 家で解いてみよう

1. 様々なおもちゃが1列に並んでいて、クマは5番目にあります。  
クマの後には4つのおもちゃがあります。全部で何個のおもちゃがあるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう： 5 + 4

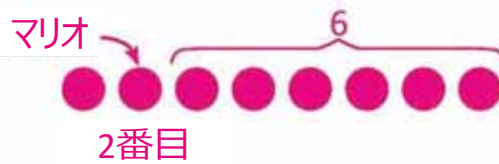
③ 答えを計算しましょう：

$$5 + 4 = 9$$

答え： 9 個

2. マリオは列で2番目にいます。  
その後ろに6人の子がいます。列に何人の子がいるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう： 2 + 6

③ 答えを計算しましょう：

$$2 + 6 = 8$$

答え： 8 人

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

1.1 日常生活の場面を表わすために丸の図を使用して、順序数が関係するたし算を行います。

**ねらい：**順序数と基数のたし算とひき算をできるようにするためのツールを紹介しましょう。このツールは、問題文を分かりやすく明確化できる情報を特定するための視覚的に役立ちます。

**重要なポイント：**この授業では、ユニット2で見た順序数の概念が求められます。

「分析しましょう」で提示された問題を解くには、フリアまで何人いるのかを特定することが最初のステップです。使うツールは丸の図で、それぞれの丸は1人を表わします。つまり、最初に丸を4つ描き、その最後の丸は4番目にいるフリアを表わします。それから、フリアの後に5人の女の子がいるので、4つの丸の後に丸を5個描きます。図はその場面を描写しなければならないので列にして描きます。また、既知の情報を図に記し、求めている情報はどれなのかを示すことも重要です。

図の作成により問題を解く計算式を求めることができますが、この場合はたし算の式になります。これにより、4つの丸がありこれに残りの5つを加えるということを見つけ出すことができます。

問題を解く過程は次のように導いて提示されます。

- ① 適合する図を作成します。フリアがいる位置を特定しその後ろに何人の女の子がいるのかを特定する①で見つたように、この図は問題文が与えている情報を含んでいなければなりません。
- ② 問題を解くために行う計算式を定めます。
- ③ 前のステップで定めた計算式を計算し、単位を決めて答えを出します。

問題のセクションではそれぞれで行うステップを特定しています。この意味で出てくる可能性がある難点の1つとして、図を作成する際の生徒が費やす時間があります。

授業時間中に描くことを避けて時間を無駄なく使うため、あらかじめ大きく色を付けた丸を作っておくことが推奨されます。

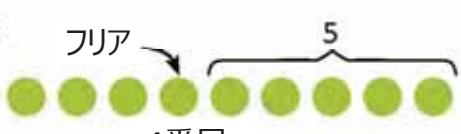
## 日付：

## 授業：1.1

- Ⓐ フリアは4番目にいます。  
その後ろには5人の女の子がいます。  
何人の女の子が競争しているでしょうか？

Ⓢ

①




丸の図

- ② 式： $4 + 5$
- ③  $4 + 5 = 9$   
答え：9人

Ⓓ

①



- ② 式： $3 + 5$
- ③  $3 + 5 = 8$   
答え：8人

宿題：113ページ

# レッスン 1

## 1.2 順序数のひき算をしましょう

### 考えてみよう

映画館の入場券を買っている人が8人います。アントニオは5番目にいます。  
アントニオの後ろには何人いるでしょうか？

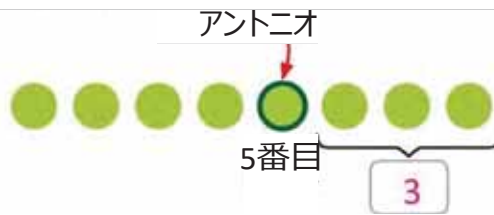
### 答えてみよう

丸の図を用います。

- ① 丸1つは1人を表わします。



ホセ



- ② 計算式を書きます： $8 - 5$

- ③ 答えを計算します。

$$8 - 5 = 3$$

答え：3人

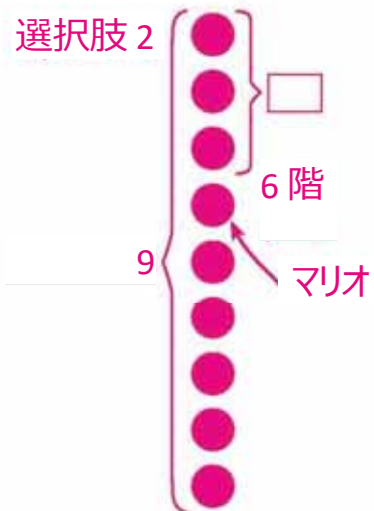
### 理解しよう

順序数のひき算をするには、丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

9階建ての建物があり、マリオは6階に住んでいます。  
マリオが住んでいる階から上は何フロアあるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 計算式を書きましょう： $9 - 6$

- ③ 答えを計算しましょう：

$$9 - 6 = 3$$

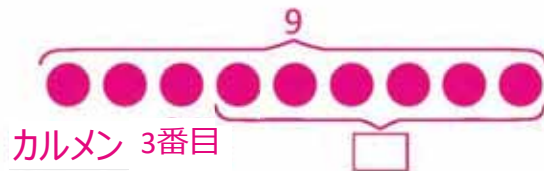
答え：3フロア

# レッスン 1

## 家で解いてみよう

1. カルメンは間食を受け取る列の3番目について、全部で9人の子がいます。  
カルメンの後ろには何人の子がいるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：  $9 - 3$

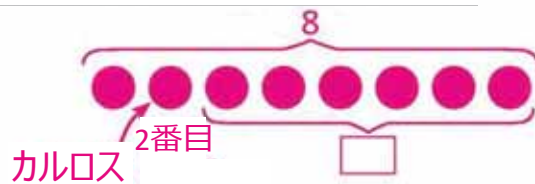
③ 答えを計算しましょう：

$$9 - 3 = 6$$

答え： 6 人

2. 8人の子がかけっこをしていてカルロスが 2番目です。  
カルロスの後ろには何人の子がいるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：  $8 - 2$

③ 答えを計算しましょう：

$$8 - 2 = 6$$

答え： 6 人

家族のサイン： \_\_\_\_\_



**達成の目安：**

1.2 日常生活の場面を表わすために丸の図を使用して、順序数が関係するひき算を行います。

**ねらい：**順序数が関係するひき算の問題を解くために丸の図を使いましょう。

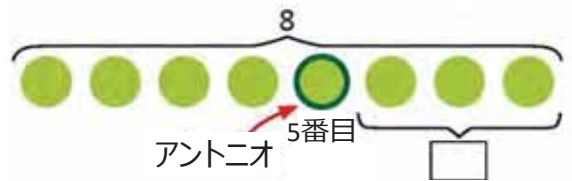
**重要なポイント：**今回の授業は前回と似ていますが、整列した物の集まりの特定の位置の後ろにある要素の数量を計算するという違いがあります。

繰り返しになりますが、計算する式は丸の図を作成する際に特定することができます。右図で示されているように、既知の情報を記し、計算したいのはどれなのかを示しておくことが重要になります。

**誤記：**「答えてみよう」の丸の図には合計人数が示されていません。

よって右図で示されているように図を作ることが推奨されます。

気付かないうちに一次方程式を伴った学習が行われます。  
これは教師向けの情報なので、生徒がこの詳細について知る必要はありません。



従うべき過程は前回の授業と同じで、まず丸の図を作り、2番目のステップとして計算式を定め、最後に答えを計算し問題の解答を求めます。

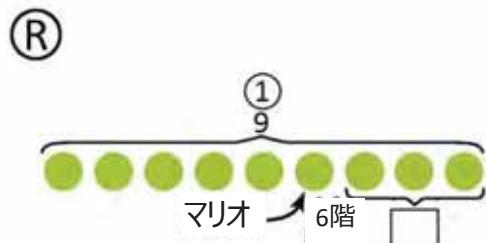
授業中に丸を描くことを避けるため、すでに切ってある紙でできた大きめの丸の使用を継続することが推奨されます。

**日付：**

**授業：** 1.2

- Ⓐ 人が8人います。  
アントニオは5番目にいます。  
アントニオの後ろには何人いるでしょうか？

- Ⓢ
  - ①
  - ② 式： $8 - 5$
  - ③  $8 - 5 = 3$   
答え：3人



- ② 式： $9 - 6$
- ③  $9 - 6 = 3$   
答え：3フロア

**宿題：** 115ページ

# レッスン

# 2

## たし算とひき算をしましょう

### 2.1 丸の図を使ってたし算をしましょう

#### 考えてみよう

バスに5人の子が座ります。空席が4席あります。  
バスには座席が何席あるでしょうか？

座っている子1人につき  
座席は1つです。

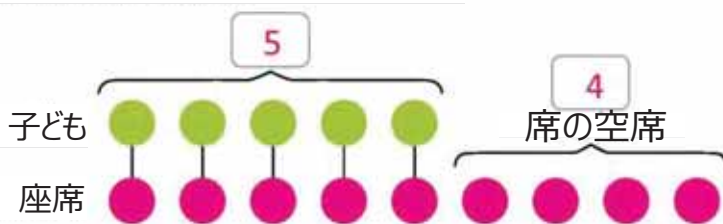


#### 答えてみよう

① 子どもを緑の丸で、座席をピンクの丸で表わします。



カルメン



② 計算式を求めます： $5 + 4$

③ 答えを計算します。

$$5 + 4 = 9$$

答え：9席

#### 理解しよう

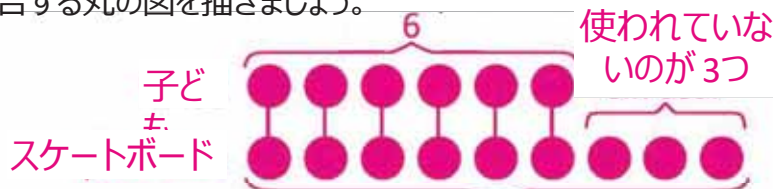
丸の図を使ってたし算をすることができます。

- ① それぞれ1つずつ比較するために丸を描きましょう。
- ② 計算式を求めましょう。
- ③ 答えを計算しましょう。

#### 解いてみよう

1. 公園で6人の子が遊んでいます。それぞれが自分のスケートボードを持っています。使われていないスケートボードが3つあります。スケートボードは全部でいくつあるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



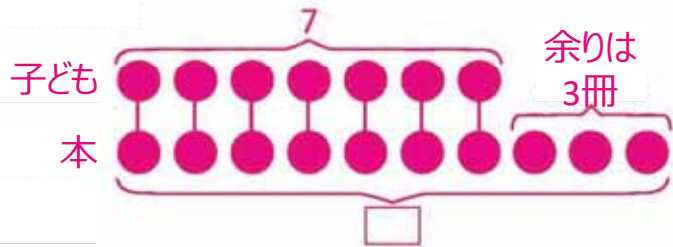
② 計算式を書きましょう： $6 + 3$

③ 答えを計算しましょう： $6 + 3 = 9$

答え：9つ

2. 図書館に7人の子がいます。それぞれが1冊ずつ算数の本を持っています。本は3冊余ります。算数の本は何冊あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：7 + 3

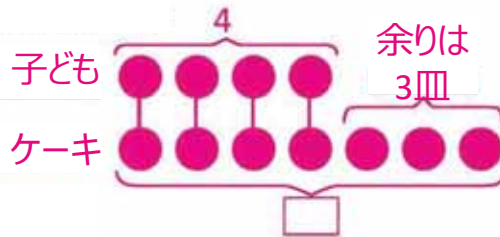
③ 答えを計算しましょう：  
 $7 + 3 = 10$

答え：10冊

## 家で解いてみよう

1. あるパーティーに4人の子がいます。子どもはそれぞれケーキを1皿ずつ取っています。ケーキのある皿は3皿残りました。ケーキのある皿は最初は何皿あったでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



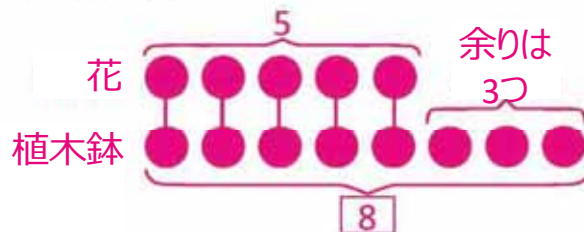
② 計算式を書きましょう：4 + 3

③ 答えを計算しましょう：  
 $4 + 3 = 7$

答え：7皿

2. フアンは花を5つ植木鉢に1つずつ植えました。植木鉢は3つ余りました。植木鉢をいくつ持っていたでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：5 + 3

③ 答えを計算しましょう：  
 $5 + 3 = 8$

答え：8つ

家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

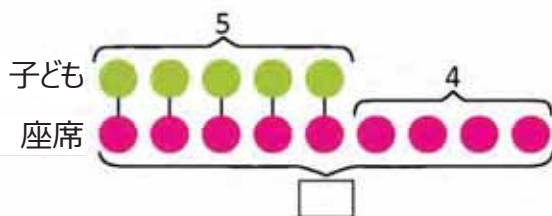
2.1 2つの集合体の要素の間に関係性がある時のたし算の問題を解くには、丸の図を使いましょう。

**ねらい：**1つの集合体の要素と他の集合体の要素との間に関係性がある時のたし算の問題を解くには、丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**2つの集合体で、そのうち1つの構成要素の数量が分かっていて、それぞれ性質が異なる集合体があるとして、この2つの集合体の間には、一方の要素ともう一方の要素との関係性が存在します。もう一方の情報は分からないので要素の数量は関係ありません。もう一方の集合体の要素の合計を計算することが目的となります。

問題が要求している計算方法を生徒自身で見つけ出すようにします。ユニット1の2.4と2.5、ユニット3の2.5の授業で勉強したように、要素と要素の関係性を作ることに注目しましょう。

また、丸の列がそれぞれどのような種類の物または人を表わしているのかを特定します。右図で示されているように、問題文から与えられている情報を記すと役に立ちます。教科書では、図の中のどれが計算したい情報なのかが示されていないので、黒板を使って学習する時にこれを補足しなければなりません。この方法により生徒は、何を計算しなければならないのかと、どのように計算できるのかということをより視覚化できるようになります。



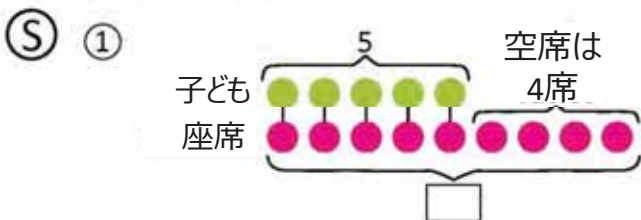
提示された問題は図の丸を見て数えるだけで解くことができますが、目的はきちんとした形で問題を解くためにこれを使用するという事です。このような意味では、立てた計算式で要求されてる情報を計算したということ裏付けるために図は役立ちます。

「考えてみよう」の解答では、5人の子が座る席はバスの座席として数えなければならないということを生徒が特定しなかった、という間違いや疑問が生じる可能性があります。このような意味で、丸の図でサポートすることが重要になります。また、1席に子ども2人が座ると考えがちであったり、運転手の席について質問したりします。このような場合は、座席は1人用と考え、運転手は考慮しません。

**日付：**

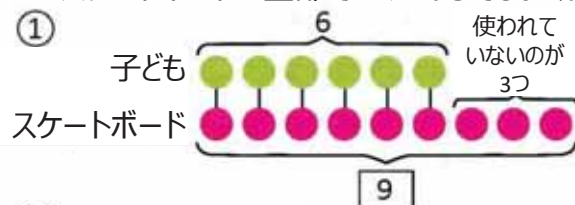
**授業：2.1**

- ① バスに5人の子が座ります。  
空席が4席あります。  
バスには座席が何席あるでしょうか？



- ③ 式： $5 + 4$
- ④  $5 + 4 = 9$
- ⑤ 答え：9席

- ① 自分のスケートボードを持っている子が6人います。  
使っていないスケートボードが3つあります。  
スケートボードは全部でいくつあるでしょうか？



- ③ 式： $6 + 3$
- ④  $6 + 3 = 9$
- ⑤ 答え：9つ

**宿題：**117ページ

# レッスン 2

## 2.2 丸の図を使ってひき算をしましょう

### 考えてみよう

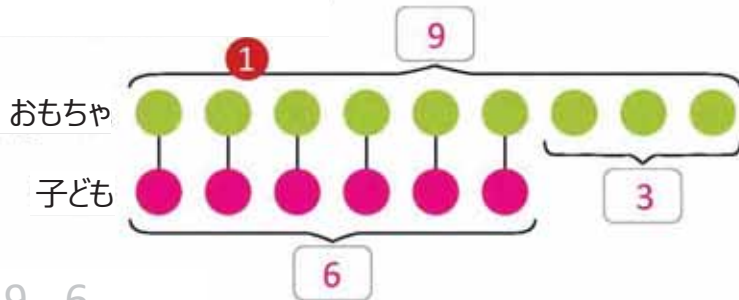
おもちゃが9個あります。6人の子が遊びに来ました。子どもはそれぞれおもちゃを1つ取りました。おもちゃは何個余るでしょうか？

### 答えてみよう

- ① おもちゃを緑の丸で、子どもをピンクの丸で表わします。



カルロス



- ② 計算式を求めます。  $9 - 6$

- ③ 答えを計算します。

$$9 - 6 = 3$$

答え： 3 個

### 理解しよう

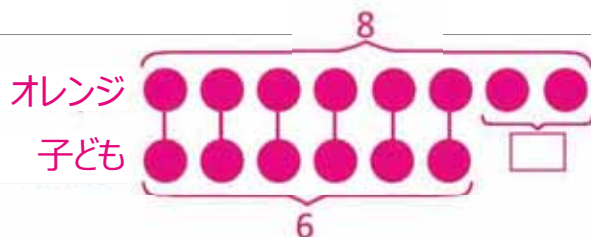
丸の図を使ってひき算をすることができます。

- ① それぞれ1つずつ比較するために丸を描きましょう。
- ② 計算式を求めましょう。
- ③ 答えを計算しましょう。

### 解いてみよう

8個のオレンジと6人の子がいます。それぞれの子どもがオレンジを1個ずつ取ると、オレンジは何個残るでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 計算式を書きましょう：  $8 - 6$

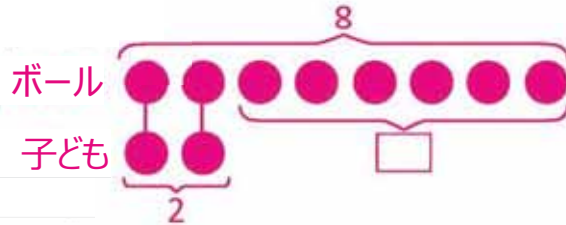
- ③ 答えを計算しましょう：  $8 - 6 = 2$

答え： 2 個

## 家で解いてみよう

1. 8個のボールと2人の子がいます。子どもはそれぞれボールを1つずつ取ります。ボールはいくつ残っていますか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



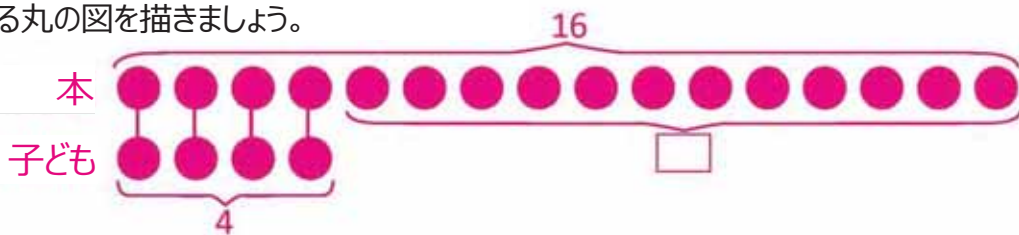
② 計算式を書きましょう：  $8 - 2$

③ 答えを計算しましょう：  $8 - 2 = 6$

答え： 6 個

2. 棚に本が16冊あり、子どもが4人います。それぞれの子どもは本を1冊ずつ取ります。何冊の本が残るでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



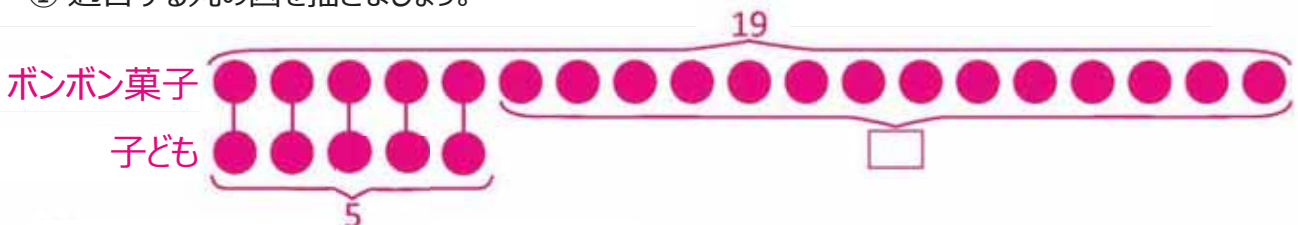
② 計算式を書きましょう：  $16 - 4$

③ 答えを計算しましょう：  $16 - 4 = 12$

答え： 12 冊

3. カルロスにはボンボン菓子を19個持っていて、5人の友達がこれを1つずつ取ります。ボンボン菓子が何個カルロスの手元に残るでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：  $19 - 5$

③ 答えを計算しましょう：  $19 - 5 = 14$

答え： 14 個

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

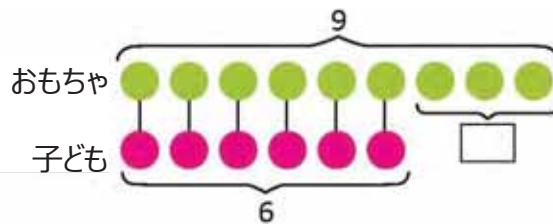
2.2 2つの集合体の要素の間に関係性がある時のひき算の問題を解くには、丸の図を使いましょう。

**ねらい：**ひき算が関係する問題を解くために丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**前回の授業にもあったように、今回の授業の問題において一方の集合体の要素ともう一方の要素との関係性が存在します。今回は両方の集合体の要素の数量が分かったら余った要素を計算することが相違点で、要求されていることを計算するためにひき算を作ることになります。①において対象となるものどうしがどのような関係性を持っているか、ユニット3の授業2.5でどのように行ったかに注目しましょう。今回の授業で取り組む問題の種類はひき算の差の意味と関係があります。

繰り返しになりますが、丸の図により問題を解く計算式を特定することができるようになります。図は式を定めるための視覚的サポートであることを強調することが重要となります。よって、計算結果を計算するには描く丸を数えるだけではないという点を観察しなければなりません。

前回の授業のように、知りたい情報と同様に図の中に既知の情報を記さなければなりません。

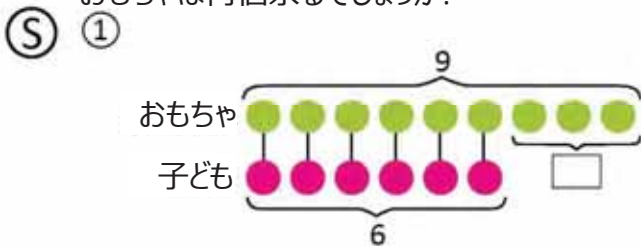


図の作成における順番は問題文に出てくる通りであることにも注目しましょう。例えば「考えてみよう」において、最初はおもちゃについて触れているので、まずおもちゃが丸で表わされ、その後で子どもに触れられているので子どもがその次に表わされるものとなります。

### 日付：

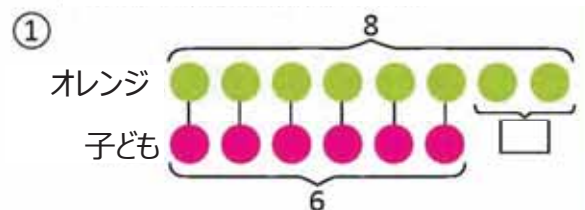
### 授業：2.2

- ① おもちゃが9個あります。  
6人の子が来ました。それぞれの子どもはおもちゃを1個ずつ取ります。  
おもちゃは何個余るでしょうか？



- ② 式： $9 - 6$   
③  $9 - 6 = 3$   
答え：3個

- ② 8個のオレンジと6人の子がいます。それぞれの子どもはオレンジを1個ずつ取ります。  
オレンジは何個残るでしょうか？



- ② 式： $8 - 6$   
③  $8 - 6 = 2$   
答え：2個

宿題：119ページ

達成の目安：

2.3 丸の図を使って順序数と基数のたし算とひき算の問題を解きましょう。

2.3 学んだことを練習しましょう

1. 競技場に入場するための列にミゲルは7番目にいて、その後ろには2人います。列には何人いるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：7 + 2

③ 答えを計算しましょう：  
 $7 + 2 = 9$

答え：9人

3. オレンジが5個あり、4人の子が1個ずつ取ります。オレンジは何個残るでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



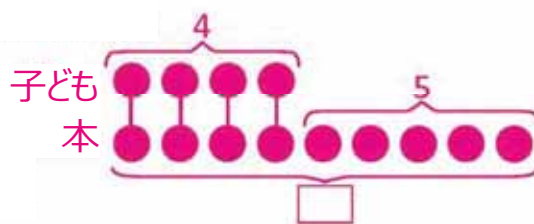
② 計算式を書きましょう：5 - 4

③ 答えを計算しましょう：  
 $5 - 4 = 1$

答え：1個

5. 4人の子がそれぞれ本を1冊ずつ選び、5冊が残りました。本棚には何冊の本があったでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



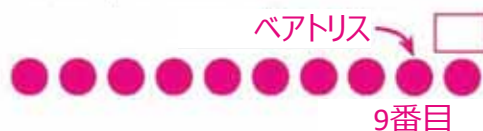
② 計算式を書きましょう：4 + 5

③ 答えを計算しましょう：  
 $4 + 5 = 9$

答え：9冊

2. スケートの競技に10人の女の子がいます。ベアトリスは9番目にいます。その後ろには何人の女の子がいるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



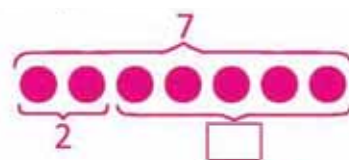
② 計算式を書きましょう：10 - 9

③ 答えを計算しましょう：  
 $10 - 9 = 1$

答え：1人

4. フアンは花を7つ買いました。そのうち2つはヒマワリでその他はチューリップです。チューリップをいくつ買ったでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：7 - 2

③ 答えを計算しましょう：  
 $7 - 2 = 5$

答え：5つ



## 家で解いてみよう

1. 列の中でカルメンは4番目におり、その後ろには5人います。列には何人いるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



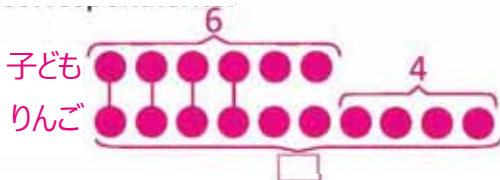
② 計算式を書きましょう： $4 + 5$

③ 答えを計算しましょう： $4 + 5 = 9$

答え：9 人

3. 6人の子がそれぞれりんごを1個ずつ食べて、りんごは4個残ります。りんごは何個ありましたか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



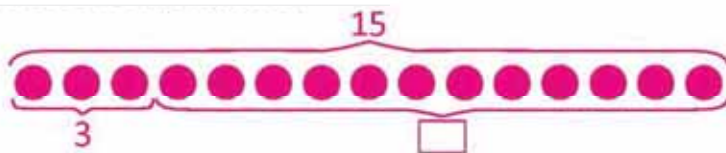
② 計算式を書きましょう： $6 + 4$

③ 答えを計算しましょう： $6 + 4 = 10$

答え：10 個

5. ミゲルには果物が15個あり、3個を売ります。ミゲルに果物は何個残るでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう： $15 - 3$

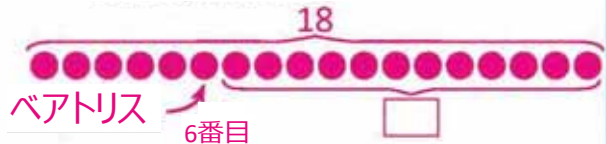
③ 答えを計算しましょう： $15 - 3 = 12$

答え：12 個

2. あるレースで18人が競争します。ベアトリスは6番目です。

ベアトリスの後ろには何人いるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



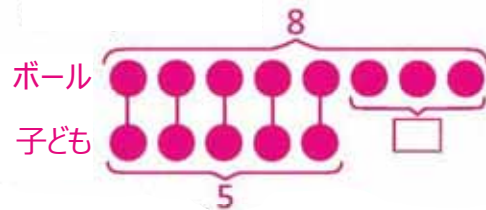
② 計算式を書きましょう： $18 - 6$

③ 答えを計算しましょう： $18 - 6 = 12$

答え：12 人

4. 学校にはボールが8個あります。5人の子がそれぞれボールを1つずつ取りました。ボールはいくつ残っていますか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう： $8 - 5$

③ 答えを計算しましょう： $8 - 5 = 3$

R: 3 pelotas.

答え：3 個

# レッスン 2

## 2.4 「～より多い」を使ってたし算をしましょう その1

### 考えてみよう

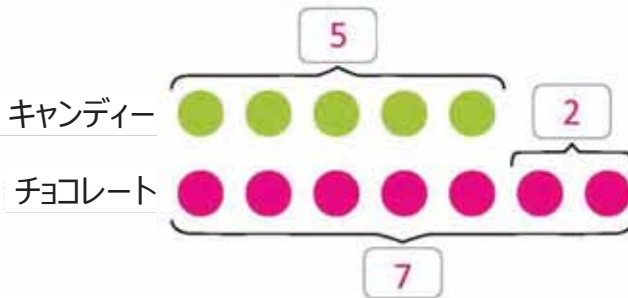
カルロスはキャンディーを 5個持っていて、キャンディーより 2個多くチョコレートも持っています。  
カルロスはチョコレートを何個持っているでしょうか？

### 答えてみよう

- ① カルロスのキャンディーとチョコレート 1個につき丸を 1つ描きます。



ペアトリス



- ② 計算式を求めます。  $5 + 2$

- ③ 答えを計算します。

$$5 + 2 = 7$$

答え： 7 個

### 理解しよう

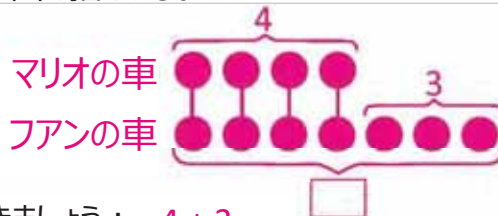
数量を比較するために丸の図を使うことができます。

- ① 両方の数量を比較するために丸を描きましょう。
- ② 計算式を求めましょう。
- ③ 答えを計算しましょう。

### 解いてみよう

マリオはミニカーを 4つ持っています。ファンはミニカーをマリオより 3つ多く持っています。  
ファンはミニカーをいくつ持っているでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 計算式を書きましょう：  $4 + 3$

- ③ 答えを計算しましょう：

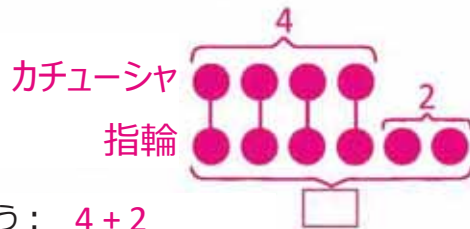
$$4 + 3 = 7$$

答え： 7 台

## 家で解いてみよう

1. カルメンはカチューシャを 4個持っていて、指輪はカチューシャより 2個多く持っています。  
カルメンは指輪を何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



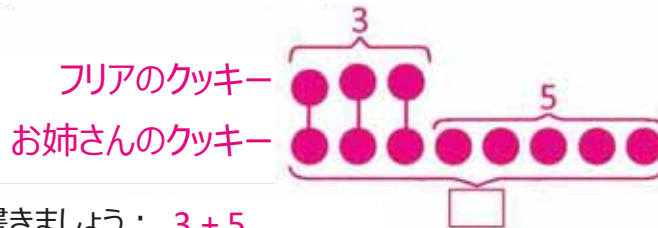
② 計算式を書きましょう：  $4 + 2$

③ 答えを計算しましょう：  $4 + 2 = 6$

答え： 6 個

2. フリアはクッキーを 3個持っています。お姉さんはフリアより 5個多く持っています。  
お姉さんはクッキーを何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



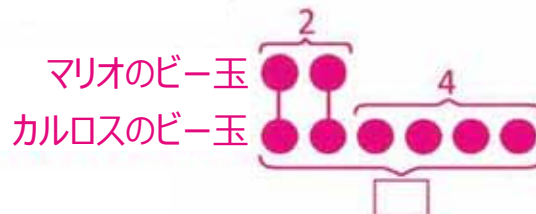
② 計算式を書きましょう：  $3 + 5$

③ 答えを計算しましょう：  $3 + 5 = 8$

答え： 8 個

3. マリオはビー玉を 2個買いました。カルロスにはビー玉をマリオより 4個多く買いました。  
カルロスはビー玉を何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：  $2 + 4$

③ 答えを計算しましょう：  $2 + 4 = 6$

答え： 6 個

家族のサイン： \_\_\_\_\_

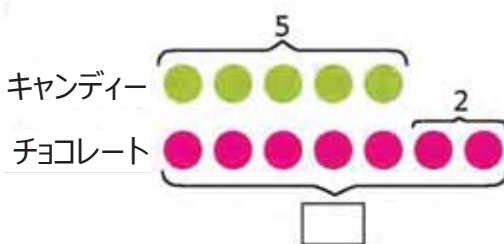
### 達成の目安：

2.4 2つの集合体の要素の数量の間に比較があり、「～より多い」が使われる時のたし算の問題を解くには、丸の図を使いましょう。

**ねらい：**「～より多い」が関係するたし算の問題を解くために丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**今回の授業では、丸の図を使って「～より多い」と関係するたし算の問題を解きます。繰り返しになりますが、この方法は視覚的なサポートとして役立ち、問題を解くため使う計算式をより簡単に特定できるようにします。

既知の情報を記し、求めている情報を示し、問題を求めることが重要になります。また、図を作成する順番も重要となります。例えば「考えてみよう」の問題では、最初にキャンディーを表わして何個あるのかを記します。それからチョコレートを表わし、これがキャンディーより2個多いことを明示します。最後は右図に示されている通り、チョコレートが全部で何個あるのかが分かり、よってこれが探していた情報だと特定されます。



丸の図を作成しながら、生徒は問題をどのように解くのかというヒントを見つけ出していく可能性があります。この場合では、使用する計算式はたし算であるということです。

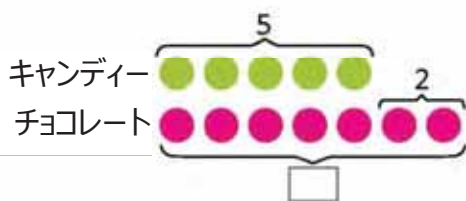
「理解しよう」のセクションは、丸の図を使ったこの種の問題を解くために行う過程をまとめています。「解いてみよう」と「家で解いてみよう」のセクションでは、このステップが1つずつ空欄で示され、生徒に対して手引となるという目的を持っています。

### 日付：

### 授業：2.4

- Ⓐ カルロスはキャンディーを5個持っています。  
キャンディーよりチョコレートを2個多く持っています。  
カルロスはチョコレートを何個持っているのでしょうか？

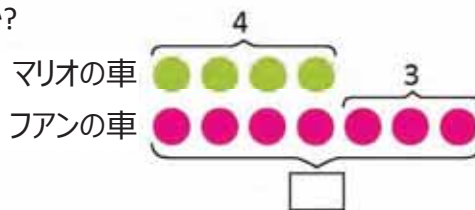
Ⓢ ①



- ② 式： $5 + 2$   
③  $5 + 2 = 7$   
答え：7個

- Ⓑ マリオはミニカーを4つ持っています。  
フアンはミニカーをマリオより3つ多く持っています。

① フアンはミニカーをいくつ持っているのでしょうか？



- ② 式： $4 + 3$   
③  $4 + 3 = 7$   
答え：7つ

宿題：123ページ

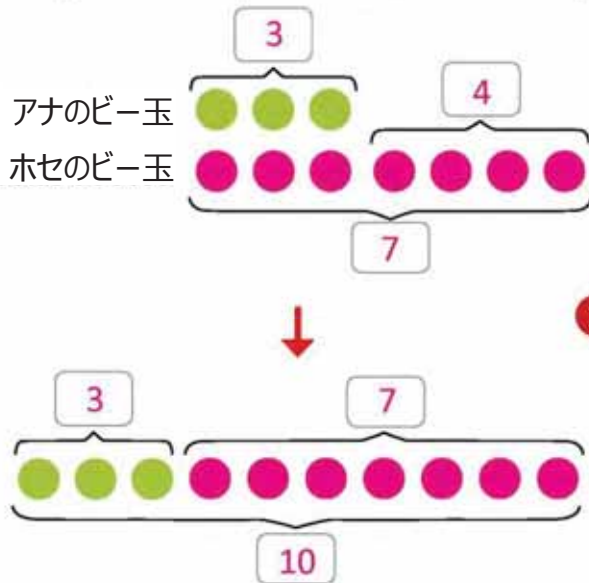
## 2.5 「～より多い」を使ってたし算をしましょう その2

### 考えてみよう

アナはビー玉を3個持っています。ホセはビー玉をアナより4個多く持っています。2人合わせてビー玉を何個持っていますか？

### 答えてみよう

① アナとホセのビー玉をそれぞれ丸で描きます。



② ホセのビー玉の数を計算します。

$$\underline{3 + 4 = 7}$$

③ 2人のビー玉の数を計算します。

$$\underline{3 + 7 = 10}$$

④ 2人合わせて持っているのは：

答え： 10 個



フリア

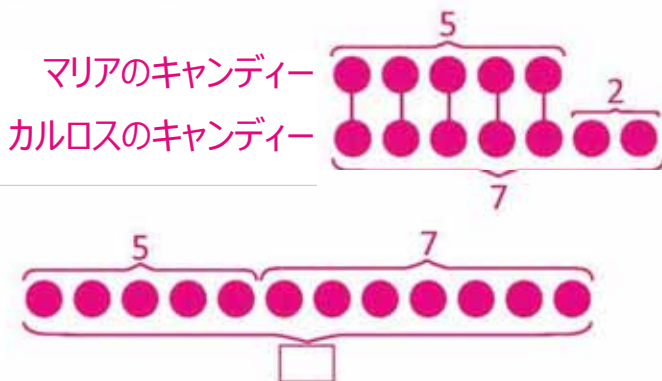
### 理解しよう

丸の図を使って2つの集団の対象物の合計を計算することができます。

### 解いてみよう

マリアはキャンディーを5個持っています。カルロスはマリアより2個多く持っています。2人でキャンディーを何個持っているのでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② カルロスのキャンディーの数を計算しましょう。

$$\underline{5 + 2 = 7}$$

③ 2人のキャンディーの数を計算しましょう。

$$\underline{5 + 7 = 12}$$

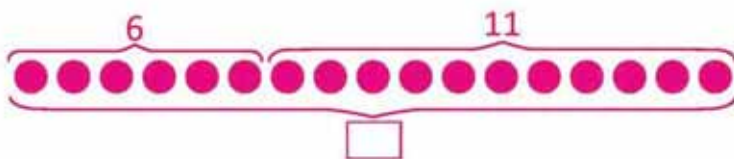
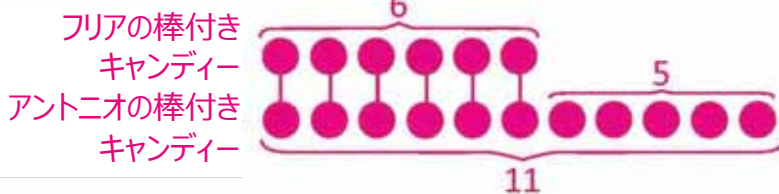
④ 2人合わせて持っているのは：

答え： 12 個

## 家で解いてみよう

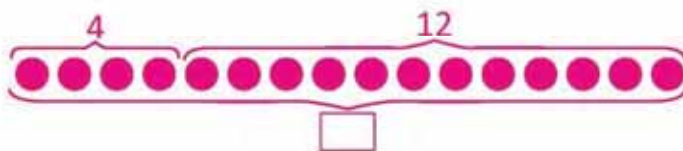
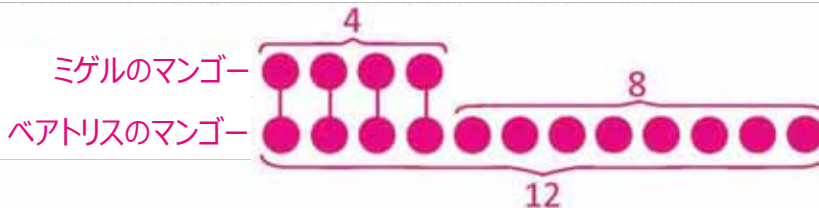
1. フリアは棒付きキャンディーを6本買います。アントニオは棒付きキャンディーをフリアより5本多く買います。2人で合わせて何本の棒付きキャンディーがあるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



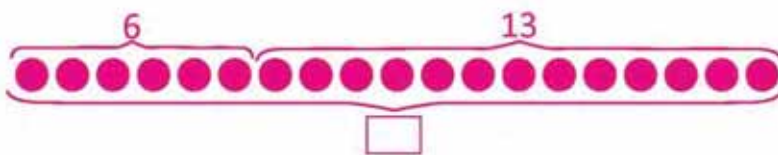
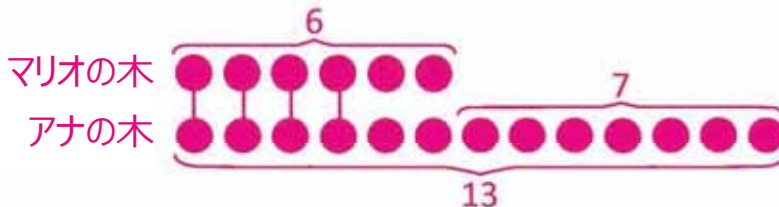
2. ミゲルはマンゴーを4個切ります。ベアトリスはマンゴーをミゲルより8個多く切ります。2人でマンゴーを何個切るでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



3. マリオは木を6本植えます。アナはマリオより7本多く植えます。2人で木を何本植えるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② アントニオの棒付きキャンディーの数を計算しましょう。

$$6 + 5 = 11$$

③ 2人の棒付きキャンディーの数を計算しましょう。

$$6 + 11 = 17$$

④ 2人合わせて持っているのは：

答え：17個

② ベアトリスのマンゴーの数を計算しましょう。

$$4 + 8 = 12$$

③ 2人のマンゴーの数を計算しましょう。

$$4 + 12 = 16$$

④ 2人合わせて持っているのは：

答え：16個

② アナの木の数を計算しましょう。

$$6 + 7 = 13$$

③ 2人で植える木を計算しましょう。

$$6 + 13 = 19$$

④ 2人合わせて植えるのは：

答え：19本

家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

2.5 「～より多い」が関係する問題に対し丸の図を使って、2つの集合体にある対象物の合計を計算しましょう。

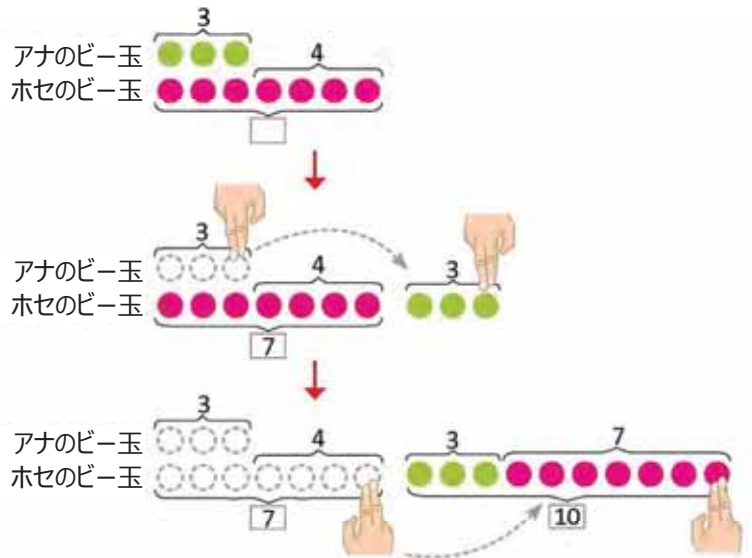
**ねらい：**丸の図を使いながら、「～より多い」という関係がある2つの集合体にある要素の合計を求めるための過程を定めます。

**重要なポイント：**今回の授業は「～より多い」という関係があるため、前回の授業で行った過程を使いますが、違いとしては、今回は過程が1つ多くなります。集合体のうちの1つが要素をどの位持っているかではなく、2つの集合体でどの位あるのかを計算することが望まれます。

まずは1つの集合体の要素の数量と、もう1つの集合体がこれよりもどの位その要素を多く持っているのかを分かるようにします。

この意味において、最終的に2つの集合体でどの位要素があるのかを計算できるよう、まずは2つ目の集合体がどの位要素を持っているのかを計算する前回の授業で定めた過程を行わなければなりません。

丸の図を使う時は、①で見られる通り、1つは2つ目の要素の数量を求めるため、もう1つは2つの集合体での合計を計算するために丸の図を2つ作成します。しかしながら、右のように見られる通り、2番目の図に移行する時に1番目の図で描いた丸を実際に動かすため、黒板で見せて行う方法は若干違ってきます。



**日付：**

**授業：2.5**

- ① アナはビー玉を3個持っています。  
ホセはビー玉をアナより4個多く持っています。  
2人合わせてビー玉を何個持っていますか？

② ホセのビー玉は：  
 $3 + 4 = 7$

③ 2人のビー玉は：  
 $3 + 7 = 10$

④ 答え：10個

- ① マリアはキャンディーを5個持っています。  
カルロスはキャンディーをマリアより2個多く持っています。  
2人でキャンディーを何個持っているでしょうか？

② カルロスのキャンディーは：  
 $5 + 2 = 7$

③ 2人のキャンディーは：  
 $5 + 7 = 12$

④ 答え：12個

**宿題：**125ページ

# レッスン 2

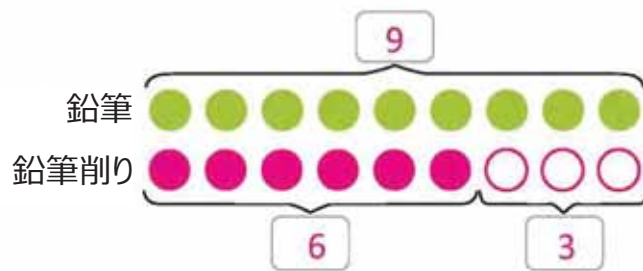
## 2.6 「～より少ない」を使ってひき算をしましょう その1

### 考えてみよう

マルタは鉛筆を9本持っています。また、鉛筆削りを鉛筆より3つ少ない数だけ持っています。マルタは鉛筆削りをいくつ持っているでしょうか？

### 答えてみよう

① 鉛筆と鉛筆削りをそれぞれ1つずつ丸で描きます。



② 計算式を求めます。

$$\underline{9 - 3}$$

③ 答えを計算します。

$$9 - 3 = 6$$

答え： 6 個

### 理解しよう

1人が持っている数が他方よりも少ない時、2人の物の数量を計算するために丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

カルメンは花を7本持っています。マリアが持っている花の数はカルメンより3本少ないです。マリアは花を何本持っていますか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう： 7 - 3

③ 答えを計算しましょう： 7 - 3 = 4

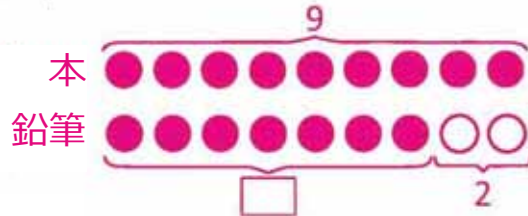
答え： 4 本



## 家で解いてみよう

1. ファンは本を 9冊持っていて、持っている鉛筆の数は本より 2つ少ないです。  
ファンは鉛筆を何本持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



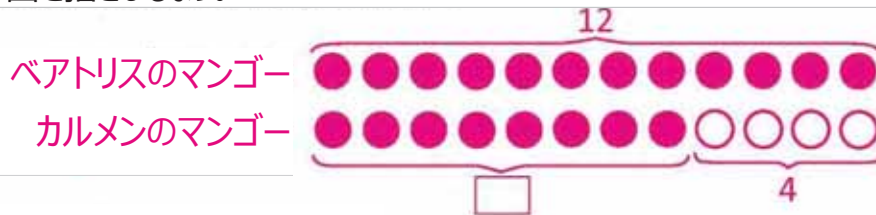
② 計算式を書きましょう：  $9 - 2$

③ 答えを計算しましょう：  $9 - 2 = 7$

答え： 7 本

2. ベアトリスはマンゴーを 12個持っていて、カルメンが持っているマンゴーの数はベアトリスより 4つ少ないです。カルメンはマンゴーを何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



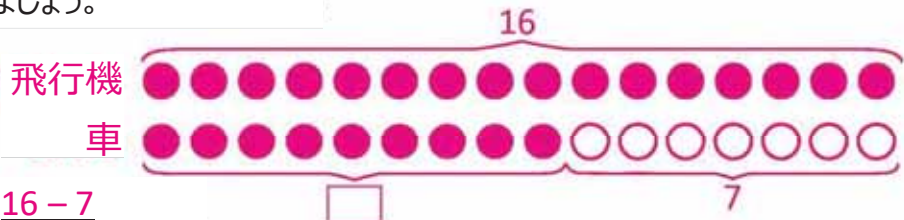
② 計算式を書きましょう：  $12 - 4$

③ 答えを計算しましょう：  $12 - 4 = 8$

答え： 8 個

3. マリオは飛行機を 16機持っていて、持っている車の数は飛行機の数より 7 だけ少ないです。  
マリオは車を何台持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：  $16 - 7$

③ 答えを計算しましょう：  $16 - 7 = 9$

答え： 9 台

家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

2.6 2つの集合体の要素の数量の間に比較があり、「～より少ない」が使われる時のひき算の問題を解くには、丸の図を使いましょう。

**ねらい：**「～より少ない」が関係するひき算の問題を解くために丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**この授業は授業 2.4 と似ていますが、今回は 2つの集合体の要素の数量にある「～より少ない」という関係についてということが異なります。

図を作成する際の違いとしては、1つの集合体の対象物が他方よりも少ないので、この関係性を色無し丸を使って表わすことです。つまり、図の作成には：

- 1つ目の集合体の要素の数量を丸で表わします。
- 「～より少ない」が用いられる問題文が示す数量に相当する丸を色無しで描き、その後に1つ目の集合体の数量を満たすまで残りの丸を描きます。

上に記載した過程は教師だけに向けられたもので、生徒が問題をどのように説くのかを考える時や教科書の解答を読む場合において、過程を見つけ出すことが望まれます。

**注意：**

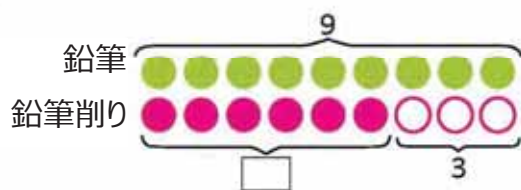
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：2.6**

**(A)** マルタは鉛筆を 9本持っています。  
また、鉛筆削りを鉛筆より 3つ少ない数だけ持っています。  
マルタは鉛筆削りをいくつ持っているでしょうか？

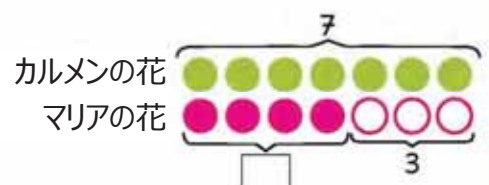
**(S)** ①



- ② 式：9 - 3
- ③ 9 - 3 = 6  
答え：6 個

**(R)** カルメンは花を 7本持っています。  
マリアが持っている花の数はカルメンより 3本少ないです。

① マリアは花を何本持っていますか？



- ② 式：7 - 3
- ③ 7 - 3 = 4  
答え：4 本

**宿題：**127ページ

## 2.7 「～より少ない」を使ってひき算をしましょう その2

### 考えてみよう

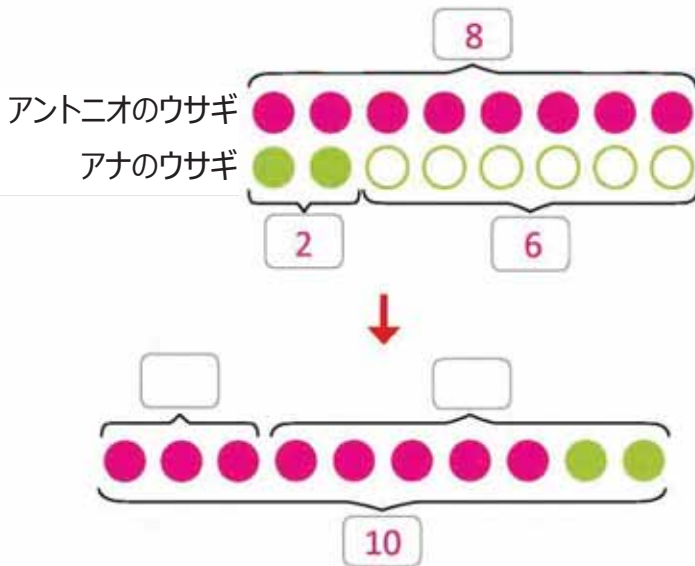
アントニオはウサギを8匹飼っています。アナが飼っているウサギの数はアントニオより6匹少ないです。2人でウサギを何匹飼っていますか？

### 答えてみよう

① アントニオとアナのウサギをそれぞれ1匹ずつ丸で描きます。



アナ



② アナのウサギの数を計算します。

$$8 - 6 = 2$$

③ 2人のウサギの数を計算します。

$$8 + 2 = 10$$

④ 2人合わせて飼っているのは：

答え： 10 匹

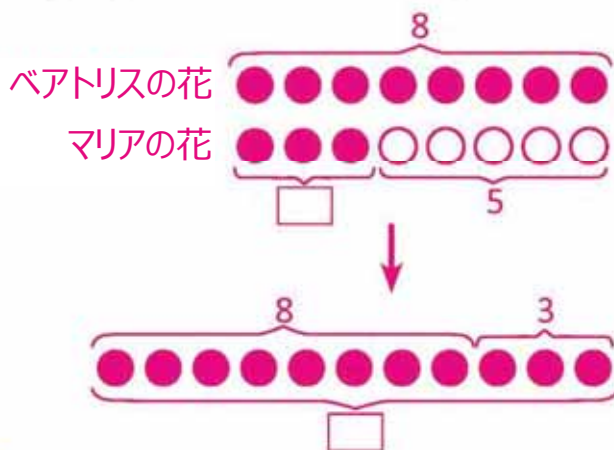
### 理解しよう

1人が持っているものが他方よりも少ない時、2つの集団のものの合計を計算するために丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

ベアトリスは花を8本持っています。マリアが持っている花の数はベアトリスより5本少ないです。2人で花をいくつ持っていますか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② マリアの花の数を計算しましょう。

$$8 - 5 = 3$$

③ 2人の花の数を計算しましょう。

$$8 + 3 = 11$$

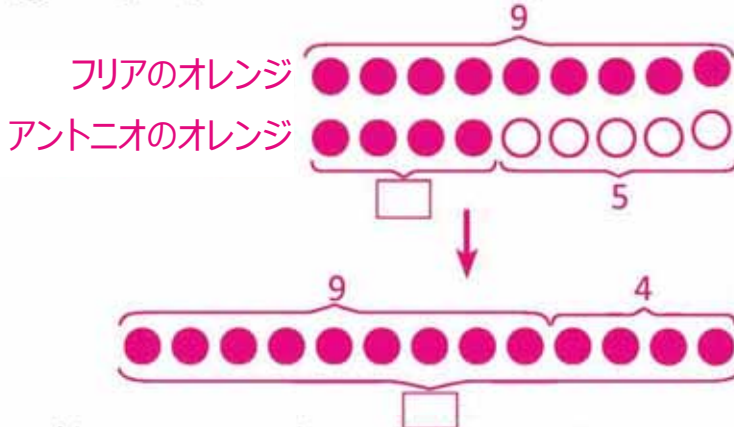
④ 2人合わせて持っているのは：

答え： 11 本

## 家で解いてみよう

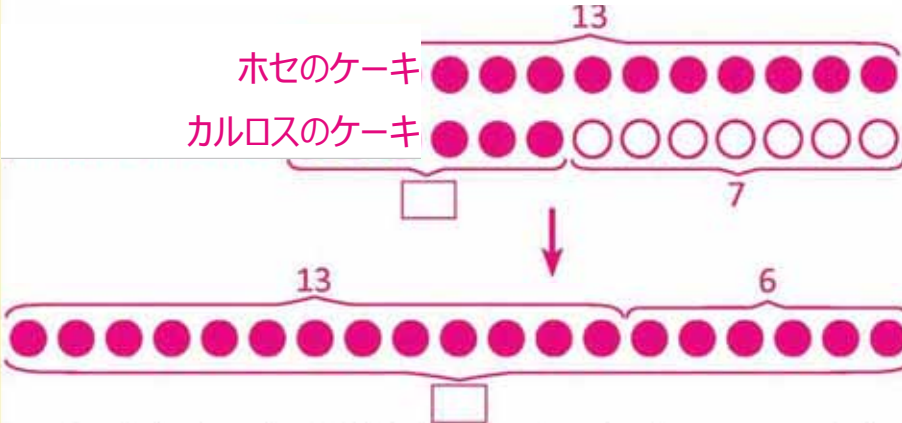
1. フリアはオレンジを 9個買います。アントニオが買うオレンジの数はフリアより 5 個少ないです。2人で何個のオレンジを買うでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



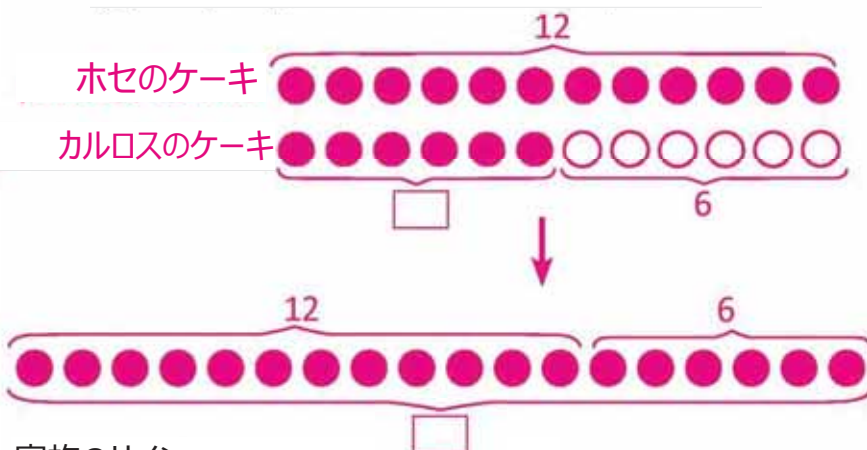
2. ホセはケーキを 13個焼きます。カルロスが焼く数はホセより 7 個少ないです。2人でケーキを何個焼くでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



3. マリオは木を 12本植えます。アナが植える数はマリオより 6本少ないです。2人で木を何本植えるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



家族のサイン : \_\_\_\_\_

② アントニオのオレンジの数を計算しましょう。

$$\underline{9 - 5 = 4}$$

③ 2人のオレンジの数を計算しましょう。

$$\underline{9 + 4}$$

④ 2人合わせて持っているのは :

答え : 13 個

② カルロスのケーキの数を計算しましょう。

$$\underline{13 - 7 = 6}$$

③ 2人のケーキの数を計算しましょう。

$$\underline{13 + 6 = 19}$$

④ 2人合わせて焼くのは :

答え : 19 個

② アナの木の数を計算しましょう。

$$\underline{12 - 6 = 6}$$

③ 2人で植える木を計算しましょう。

$$\underline{12 + 6 = 18}$$

④ 2人合わせて植えるのは :

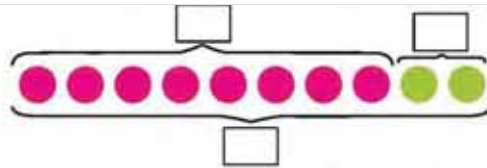
答え : 18 本

**達成の目安：**

2.7「～より少ない」が関係する問題に対し丸の図を使って、2つの集合体にある対象物の合計を計算しましょう。

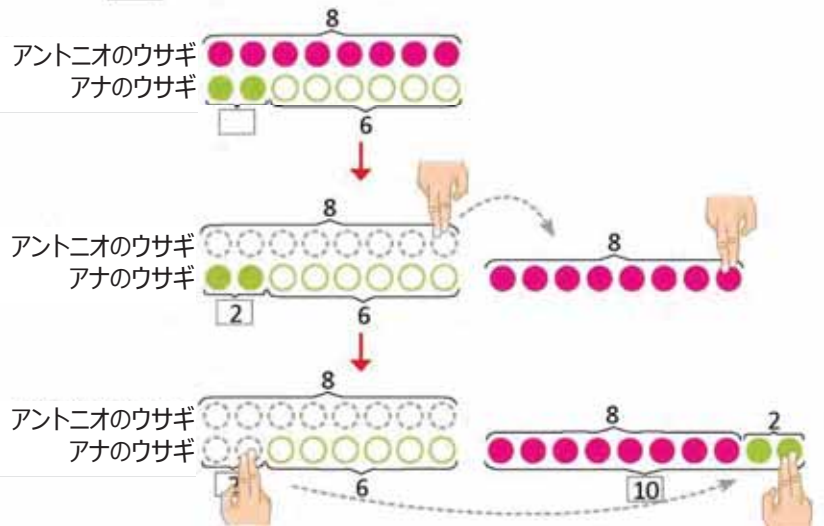
**ねらい：**丸の図を使いながら、「～より少ない」という関係がある2つの集合体にある要素の合計を求めるための過程を定めます。

**重要なポイント：**今回の授業の問題を解くために行った過程は授業 2.5 で行ったものと同じで、唯一注意すべきことは、集合体の要素の数量に「～より少ない」の関係があるので、今回はまずひき算を行うということです。セクション「答えてみよう」の2つ目の図には1つミスがあります。正しいのは以下のものです。



前述の通り、まずひき算を行います。この計算は前回の授業で定めた過程から特定することができます。それから次の計算はたし算ですが、これは1つ目の図で描いたすべての丸は1つにまとめられるので特定することができます。

黒板での丸の使用は教科書にあるものと若干異なるということを頭に入れておかなければなりません。右の図解で見られるように、2つ目の丸の図は1つ目から作られています。



**日付：**

**授業：2.7**

- Ⓐ アントニオはウサギを8匹飼っています。アナが飼っているウサギの数はアントニオより6匹少ないです。  
2人でウサギを何匹飼っていますか？

Ⓢ

① ② アナのウサギは：  
 $8 - 6 = 2$

③ 2人のウサギは：  
 $8 + 2 = 10$

④ 答え：10匹

④ 答え：10匹

- Ⓐ ベアトリスは花を8本持っています。マリアが持っている花の数はベアトリスより5本少ないです。2人で花をいくつ持っていますか？

① ② マリアの花は：  
 $8 - 5 = 3$

③ 2人の花は：  
 $8 + 3 = 11$

④ 答え：11本

**宿題：**129ページ

# レッスン 2

## 2.8 隠れた数字を足しましょう その1

### 考えてみよう

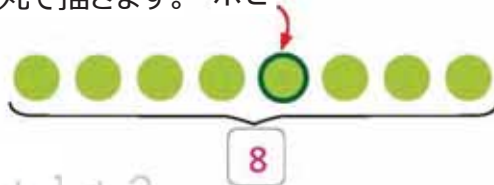
ホセの前に4人の子が、後ろに3人の子が列にいます。  
列に何人の子がいるでしょうか？

### 答えてみよう

- ① 子どもをそれぞれ1人ずつ丸で描きます。ホセ



カルメン



- ② 計算式を求めます。  $4 + 1 + 3$

- ③ 答えを計算します。  $4 + 1 + 3 = 8$

答え： 8 人

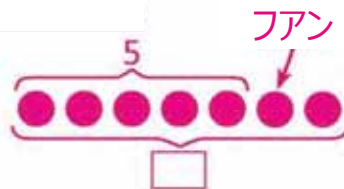
### 理解しよう

より簡単に情報を特定するために丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

1. ファンは列に並んでいて、前に5人、後ろに1人います。  
列には何人いるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



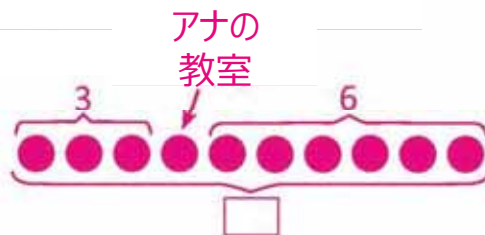
- ② 式：  $5 + 1 + 1$

- ③ 答えを計算しましょう：  $5 + 1 + 1 = 7$

答え： 7 人

2. 学校で、アナの教室の左側に教室が3つ、右側に6つあります。  
学校には教室がいくつあるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 式：  $3 + 1 + 6$

- ③ 答えを計算しましょう：  $3 + 1 + 6 = 10$

答え： 10 室

## 家で解いてみよう

1. カルロスが住んでいる通りにはカルロスの家の右側に家が6軒、左側にはカルロスの家の他に家が8軒あります。  
カルロスが住んでいる通りには家が何軒あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



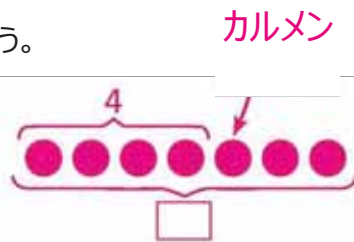
② 式: 8 + 1 + 6

③ 答えを計算しましょう:  $8 + 1 + 6 = 15$

答え: 15 軒

2. カルメンの前に4人、後ろに2人が列にいます。  
列には何人いるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 式: 4 + 1 + 2

③ 答えを計算しましょう:  $4 + 1 + 2 = 7$

答え: 7 人

3. 色鉛筆セットには黄色の左側に3色、右側に5色あります。  
色鉛筆セットは何色あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 式: 3 + 1 + 5

③ 答えを計算しましょう:  $3 + 1 + 5 = 9$

答え: 9 色

家族のサイン: \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

2.8 丸の図を使って、基準点の前と後ろにある数量が分かっている時の列に並んでいる1つの集合体の要素の合計を計算しましょう。

**ねらい：**基準点の前と後ろにある数が分かっている時の列に並んでいる1つの集合体の要素の数量を計算するために丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**今回の授業で取り組む問題の種類には、基準点の前にある要素の数量と後ろにある要素の数量という2つの情報が分かっているという特徴があります。

このような問題の興味深い点は、集合体の要素の合計を計算する際に基準点のカウントを数えることをしないということです。例えば「考えてみよう」の問題では、最初に列にいる子の合計は  $4 + 3$  であるとし、したがってホセは含まれていません。このような時に丸の図が役に立ち、このような「隠れた」情報を特定できます。

丸の図を作成する際は、分かっている情報と計算しなければならない情報を記すことが常に重要になります。また、「隠れた」情報について、これも同様に計算しなければならないということを思い出すために、常に示されるということに注目しましょう。

**注意：**

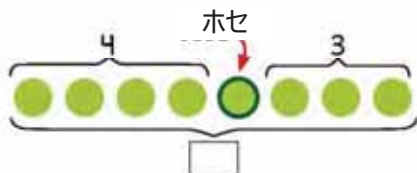
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：2.8**

Ⓐ ホセの前に4人の子が、後ろに3人が列にいます。列に何人の子がいるでしょうか？

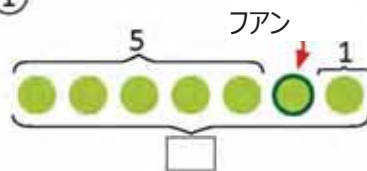
⑤ ①



② 式： $4 + 1 + 3$

③  $4 + 1 + 3 = 8$   
答え：8人

Ⓐ 1. ①



② 式： $5 + 1 + 1$

③  $5 + 1 + 1 = 7$   
答え：7人

2. 10 室

**宿題：**131ページ



## 2.9 隠れた数字を足しましょう その2

### 考えてみよう

アナとフリアは棒付きキャンディーを買うために前後になって列に並んでいます。その前には5人、後ろには3人います。列には何人いるでしょうか？

### 答えてみよう

- ① 人をそれぞれ1人ずつ丸で描きます。



- ② 計算式を求めます。  $5 + 2 + 3$

- ③ 答えを計算します。



答え： 10 人

### 理解しよう

丸の図で特定できる情報は2つ以上である場合もあります。

### 解いてみよう

1. カロスとマリオはププサを買うために前後になって列に並んでいます。その前には2人、後ろには4人います。列に何人の子がいるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 式：  $2 + 2 + 4$

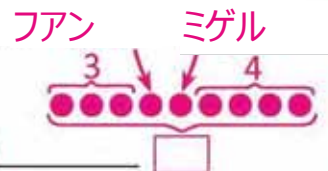
- ③ 答えを計算しましょう：

$$2 + 2 + 4 = 8$$

答え： 8 人

2. ファンとミゲルは映画の入場券を買うために前後になって並んでいます。その前には3人、後ろには4人います。列には何人いるでしょうか？

- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② 式：  $3 + 2 + 4$

- ③ 答えを計算しましょう：

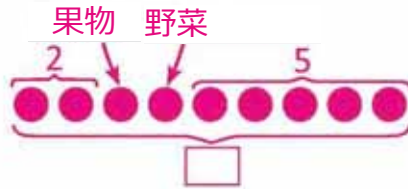
$$3 + 2 + 4 = 9$$

答え： 9 人

## 家で解いてみよう

1. 市場に果物の店と野菜の店が一緒に並んでいます。その左には他の店が2つ、右には5つあります。店は全部でいくつあるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 式:  $2 + 2 + 5$

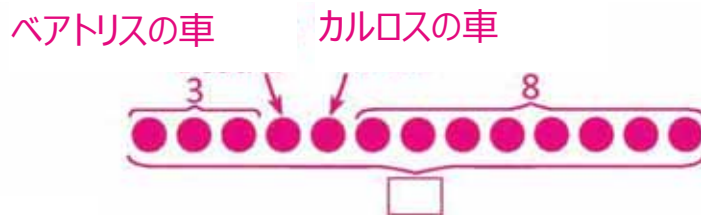
③ 答えを計算しましょう:

$$2 + 2 + 5 = 9$$

答え: 9 つ

2. ベアトリスの車とカルロスの車が並んでいます。その右側には車が8台、左側には3台あります。車は全部で何台あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 式:  $3 + 2 + 8$

③ 答えを計算しましょう:

$$3 + 2 + 8 = 13$$

答え: 13 台

3. カルメンの家とカルロスの家が並んでいます。その右側には家が9軒、左側には8軒あります。家は全部で何軒あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 式:  $8 + 2 + 9$

③ 答えを計算しましょう:

$$8 + 2 + 9 = 19$$

答え: 19 軒

家族のサイン: \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

2.9 丸の図を使って、基準点の前と後ろにある数量が分かっている時の列に並んでいる1つの集合体の要素の合計を計算しましょう。

**ねらい：**基準点の前と後ろにある数が分かっている場合の列に並んでいる1つの集合体の要素の数量を計算するために丸の図を使いましょう。

**重要なポイント：**今回の授業は前回と似ていますが、今回は「隠れた」情報が2つある点が異なっており、問題文で与えられている情報に対し2を足すこととなります。繰り返しになりますが、丸の図はこのような隠れた数を特定するのに役立ちます。

**注意：**

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

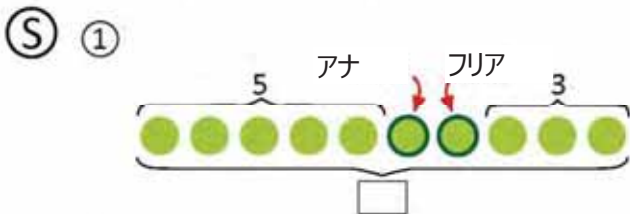
-----

-----

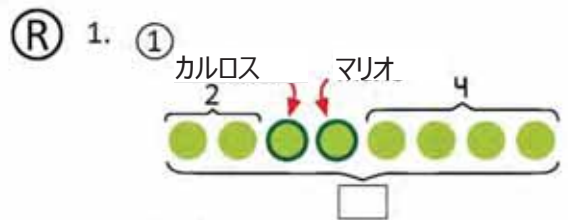
**日付：**

**授業：2.9**

Ⓐ アナとフリアは前後になって並んでいます。その前には5人、後ろには3人います。列には何人いるでしょうか？



- ② 式： $5 + 2 + 3$
- ③  $5 + 2 + 3 = 10$   
答え：10人



- ② 式： $2 + 2 + 4$
- ③  $2 + 2 + 4 = 8$   
答え：8人

2.9人

**宿題：**129ページ

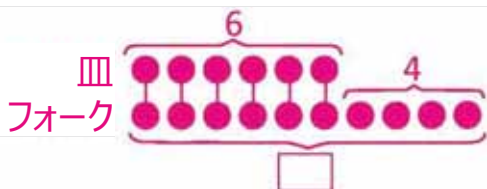
**達成の目安：**

2.10 丸の図を使って、～より多い、～より少ない、それから隠れた数字がある場合に関係するたし算とひき算の問題を解きましょう。

**2.10 学んだことを練習しましょう**

1. 皿が6枚あり、フォークの数は皿より4つ多いです。フォークはいくつあるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：6 + 4

③ 答えを計算しましょう：  
6 + 4 = 10

答え：10 本

2. 私は消しゴムを7個持っていて、鉛筆削りの数は消しゴムより5個少ないです。鉛筆削りを何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



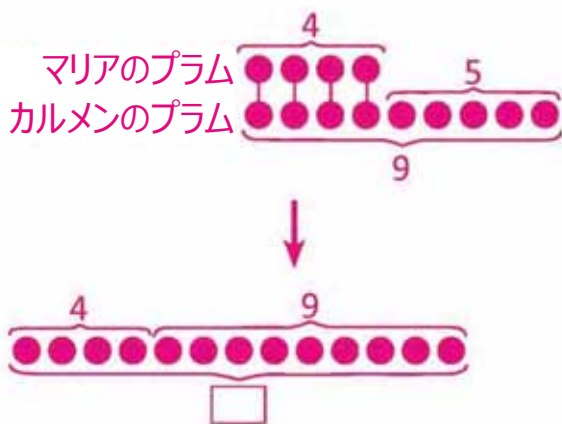
② 計算式を書きましょう：7 - 5

③ 答えを計算しましょう：  
7 - 5 = 2

答え：2 個

3. マリアはプラムを4個持っています。カルメンが持っているプラムの数はマリアより5個多いです。2人でプラムを何個持っているでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



② カルメンのプラムの数を計算しましょう。

4 + 5 = 9

③ プラムの合計の数を計算します。

4 + 9 = 13

④ 2人合わせて持っているのは：

答え：13 個

4. ラウラの車の左側に車が2台、右側に6台あります。車は全部で何台あるでしょうか？

① 適合する丸の図を描きましょう。



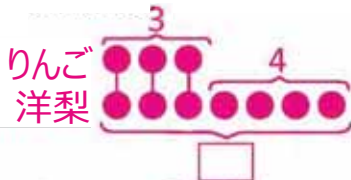
② 式：2 + 1 + 6

③ 答えを計算しましょう：  
2 + 1 + 6 = 9

答え：9 台

## 家で解いてみよう

1. フアンはりんごを 3個持っていて、持っている洋梨の数はりんごより 4個多いです。洋梨を何個持っているでしょうか？
- ① 適合する丸の図を描きましょう。

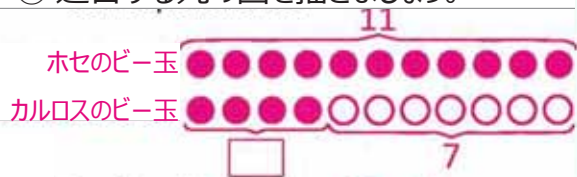


② 計算式を書きましょう：3 + 4

③ 答えを計算しましょう：3 + 4 = 7

答え：7 個

2. ホセはビー玉を 11個買い、カルロスが買う数はホセより 7個少ないです。カルロスはビー玉を何個持っているでしょうか？
- ① 適合する丸の図を描きましょう。

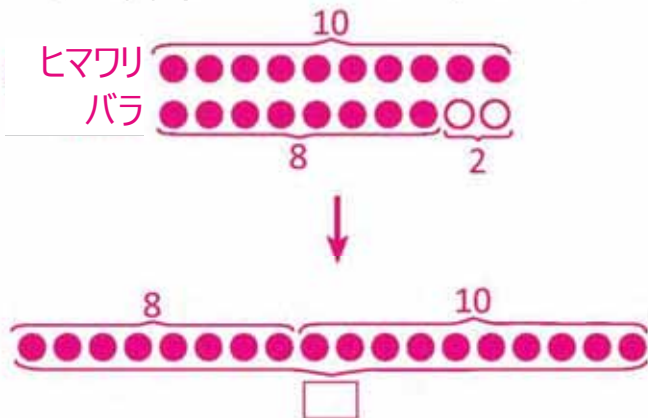


② 計算式を書きましょう：11 - 7

③ 答えを計算しましょう：11 - 7 = 4

答え：4 個

3. 私はヒマワリを 10本持っていて、持っているバラの数はヒマワリより 2本少ないです。花を全部で何本持っているでしょうか？
- ① 適合する丸の図を描きましょう。



- ② バラの数を計算しましょう。

$$\underline{10 - 2 = 8}$$

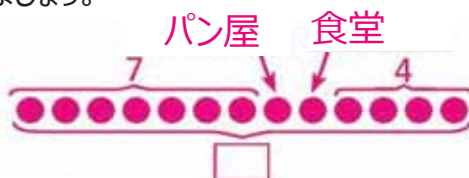
- ③ 花の合計の数を計算します。

$$\underline{10 + 8 = 18}$$

- ④ 全部であるのは：

答え：18 本

4. パン屋と食堂が並んでいます。その左には他の店が 7つ、右には 4つあります。店は全部でいくつあるでしょうか？
- ① 適合する丸の図を描きましょう。



② 計算式を書きましょう：7 + 2 + 4

③ 答えを計算しましょう：7 + 2 + 4 = 13

答え：13 店

家族のサイン： \_\_\_\_\_

達成の目安：

2.11 ユニットに関する問題を解きましょう。

2.11 学んだことを練習しましょう

1. 店に並ぶ列でアナは 5 番目におり、その後ろには 6 人います。列には何人いるでしょうか？



$$5 + 6 = 11$$

答え： 11 人

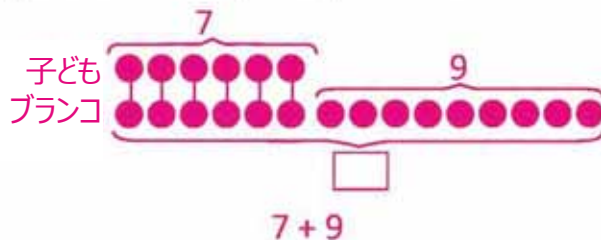
2. 水泳の競技に 12 人の子がいます。カルロスは 5 番目にいます。その後ろには何人の子がいるでしょうか？



$$12 - 5 = 7$$

答え： 7 人

3. 7 人の子がそれぞれブランコに座っていて、空いているブランコは 9 つあります。ブランコは全部でいくつあるでしょうか？

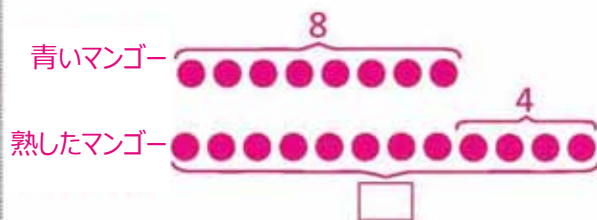


$$7 + 9$$

$$7 + 9 = 16$$

答え： 16 個

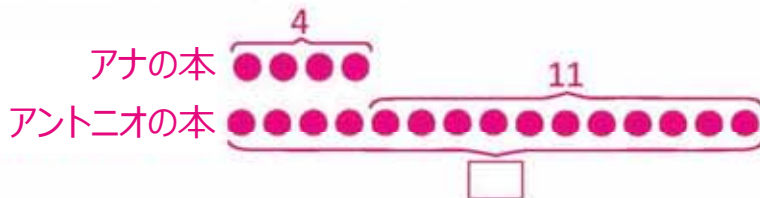
4. マンゴーの木に青い実が 8 個あり、熟した実の数は青い実より 4 個多です。熟したマンゴーは何個あるでしょうか？



$$8 + 4 = 12$$

答え： 12 個

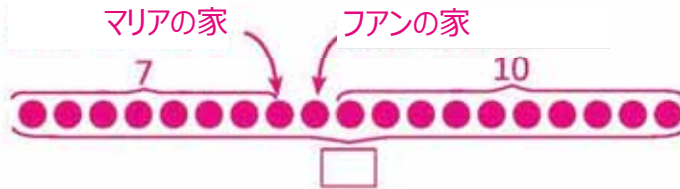
5. アナは本を 4 冊持っています。アントニオが持っている本の数はアナより 11 冊多です。2 人で本を何冊持っていますか？



$$4 + 11 = 15$$

答え： 15 冊

6. マリアの家とフアンの家は隣同士です。その左側には家が7軒、右側には10軒あります。家は全部で何軒あるでしょうか？

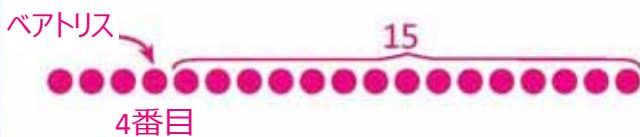


$$7 + 2 + 10 = 19$$

答え： 19 軒

## 家で解いてみよう

1. 列の中でベアトリスは4番目にいて、その後ろには15人います。列には何人いるでしょうか？



$$4 + 15 = 19$$

答え： 19 人

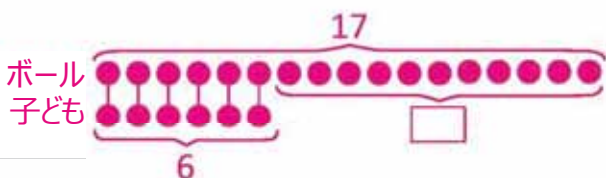
2. 16階建ての建物があり、アントニオは6階に住んでいます。アントニオが住んでいる階から上は何フロアあるでしょうか？



$$16 - 6 = 10$$

答え： 10 フロア

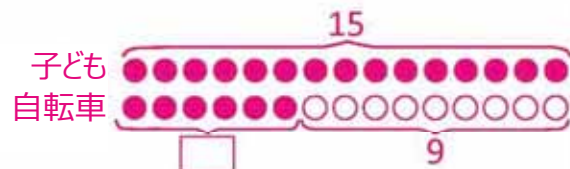
3. 17個のボールがあり、6人の子がそれぞれ1つずつ取ります。使っていないボールは何個残るでしょうか？



$$17 - 6 = 11$$

答え： 11 個

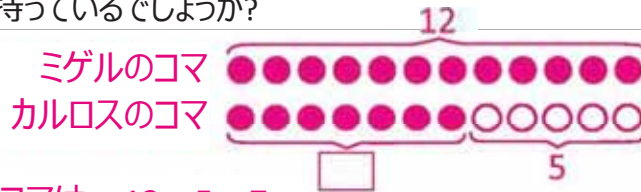
4. 公園には15人の子がいて、自転車の数は子どもの数より9少ないです。自転車は何台あるでしょうか？



$$15 - 9 = 6$$

答え： 6 台

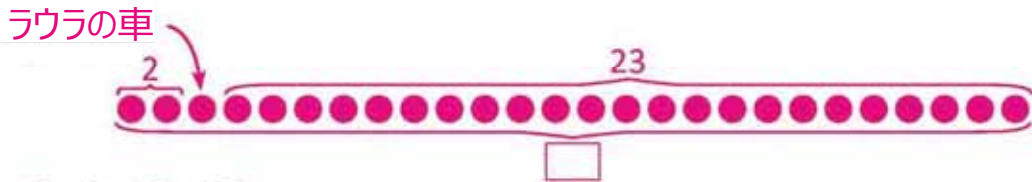
5. ミゲルはコマを 12個持っています。カルロスが持っているコマの数はミゲルより 5個少ないです。2人でコマを何個持っているでしょうか？



カルロスさんのコマは： $12 - 5 = 7$   
 2人のコマは： $12 + 7 = 19$

答え：19 個

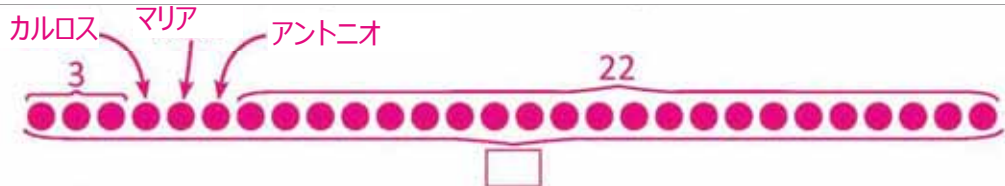
6. ラウラの車の左側には車が 2台、右側には 23台あります。車は全部で何台あるでしょうか？



$2 + 1 + 23 = 26$

答え：26 台

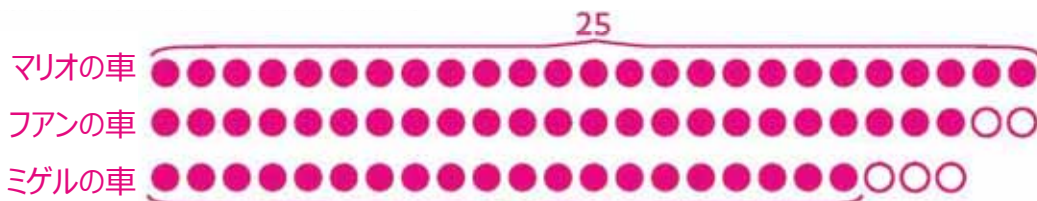
7. カルロスの家、マリアの家、アントニオの家は隣同士で並んでいます。その左側には家が 3軒、右側には 22軒あります。家は全部で何軒あるでしょうか？



$3 + 3 + 22 = 28$

答え：28 軒

8. マリオは車を25台持っています。ファンが持っている車の数はマリオより2台少なく、ミゲルの数はファンより3台少ないです。ミゲルは車を何台持っているでしょうか？



ファンの車は： $25 - 2 = 23$   
 ミゲルの車は： $23 - 3 = 20$

答え：20 台











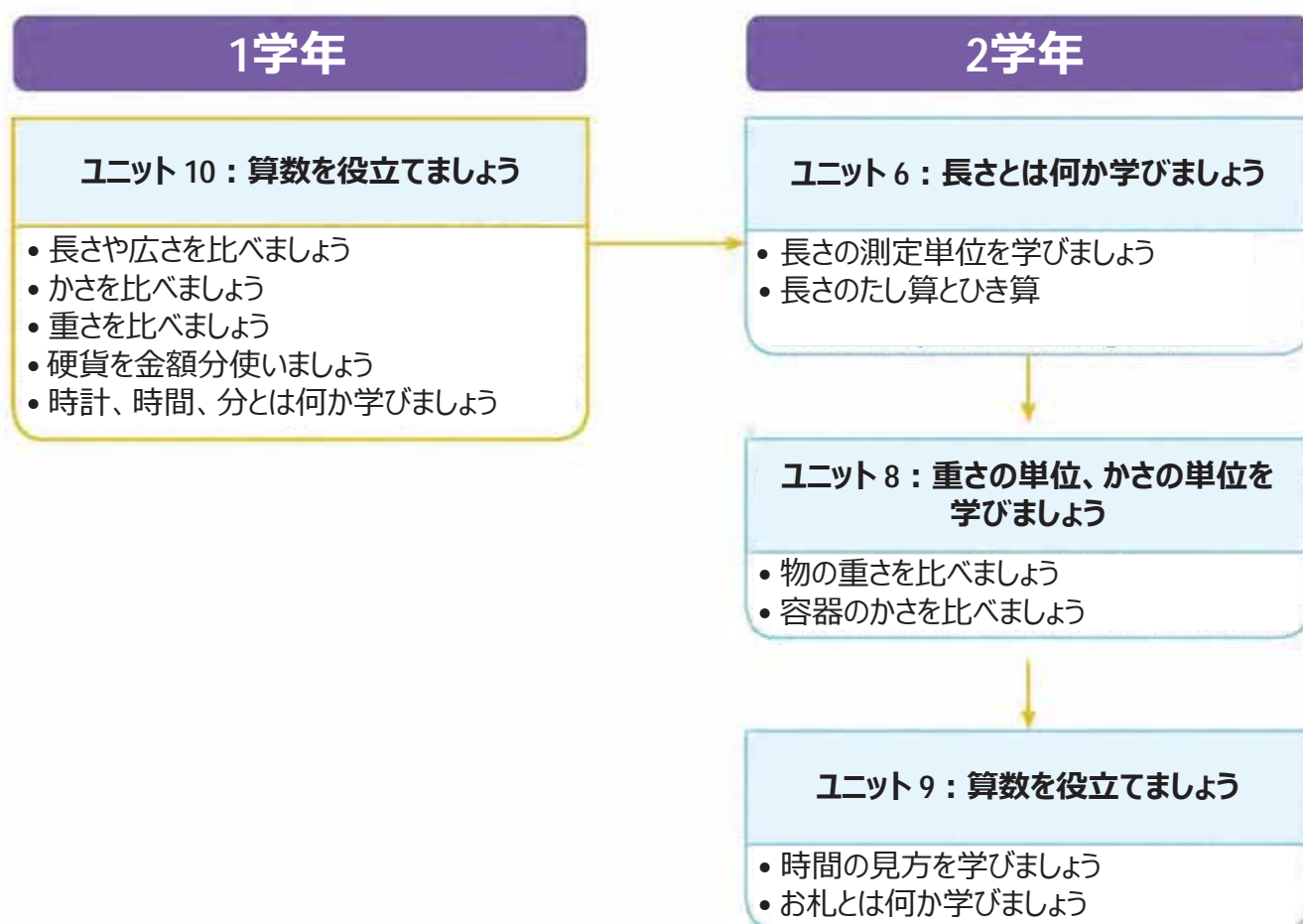
# ユニット10

## 算数を役立てましょう

### 1 このユニットのねらい

- 物の長さ、広さ、かさ、大きさ、重さを比較して、日常生活における計量関係を表現できるようになる。
- エルサルバドル通貨の様々な硬貨を使って金額を表し、日常生活に役立てる。
- 針時計の指す時間を見て、日常生活の時間を適当に言い表せるようになる。

### 2 学習の流れと範囲



3 このユニットの構成

レッスン	授業	タイトル
<b>1</b> 長さや広さを 比べましょう	1	物の直接比較をしましょう
	2	物の間接比較をしましょう
	3	体の部位や他の物を使って測りましょう
	4	2つの広さを比べましょう
<b>2</b> かさを比べましょう	1	2つの容器のかさを比べましょう (1)
	2	2つの容器のかさを比べましょう (2)
	3	箱を比べましょう
<b>3</b> 重さを比べましょう	1	2つの物の重さを比べましょう
<b>4</b> 硬貨を金額分 使いましょう	1	硬貨を区別しましょう
	2	1、5、10、25 セントで金額を数えましょう
	3	1、5、10、25 セントと1ドルで金額を数えましょう
<b>5</b> 時計を見て、時間、分の 読み取り方を学びましょう	1	時計を見て、○ 時間ちょうどの読み取り方を学びましょう
	2	○ 時半の読み取り方を学びましょう
	3	分の読み取り方を学びましょう
	4	いろんな時間を読み取りましょう
	1	ユニットテスト

授業総数

+ユニットテスト

15

## 4 各レッスンの要点

### レッスン1

#### 長さや広さを比べましょう (全4コマ)

この課では、長さや広さを2つの方法で比べます。直接比較と間接比較です。次のように、長さの直接比較をする場合は、物を並べて置きます。広さの直接比較をする場合は、物を重ね合わせます。



間接比較をするには、任意単位として、物でも体の部位でも、何を使っても構いません。

長さや広さの定義づけはしませんが、直感的に取り組むようにします。

### レッスン2

#### かさを比べましょう (全3コマ)

直接比較や間接比較で、かさを比べます。直接比較の場合は、一方の容器に入った水をもう一方の（空の）容器に移し替えて、溢れるか溢れないかを基準にします。

間接比較の場合は、任意単位として、この場合は他の容器を使います。2つの容器に入った水を比較対象として移し替えて、両方の水かさを比べるのです。



直接比較



間接比較

## レッスン3

### 重さを比べましょう（全1コマ）

2つの物の重さの直接比較をするには、秤を使います。傾いた方が重く、浮いた方が軽いというふうに判断します。

## レッスン4

### 硬貨を金額分使いましょう（全3コマ）

この課では、エルサルバドル通貨（ドル）の硬貨について学びます。それぞれ何ドルかを学んだら、その硬貨で金額分を集めます。

また、ドルとセントの同値関係を明らかにします。

## レッスン5

### 時計、時間、分とは何か学びましょう（全4コマ）

本ユニットの最終課では、針時計の針が、それぞれどのように使われているのかを明らかにします。長い針や短い針といった言葉を用いますが、その正式名称については2学年で学びます。

○ 時ちようど、○ 時半、○ 時 △ 分など、時間の読み取り方を身に付けますが、本課で最後に学ぶのは、長い針が3、6、9を指しているときの時間の書き表し方（○ 時 15 分後、○ 時半などの表現）です。



# レッスン

# 1

## 長さや広さを比べましょう

### 1.1 物の直接比較をしましょう

#### 考えてみよう

次の物を見てみましょう。

2つの物のうち、長い方に **X** をつけましょう。

a.



b.



c.

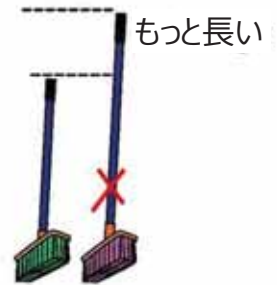
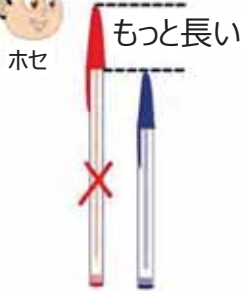


#### 答えてみよう

a. ペンの端をそろえて立てます。

b. リボンを伸ばして、端をそろえて置きます。

c. お互いに端をそろえて立てます。



#### 理解しよう

2つの物のうちどちらが長いか比べるには、お互いに伸ばしたり重ねたりしながら、端をそろえて置きます。

#### 解いてみよう

1. 長い方に **X** をつけましょう。

a.



b.



c.



# レッスン

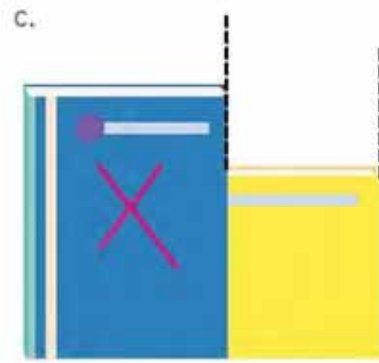
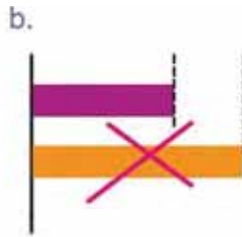
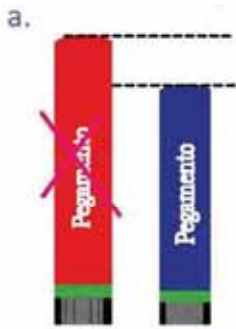
# 1

2. 友達と自分の定規や鉛筆を比べてみましょう。



## 家で解いてみよう

1. 長い方に **X** をつけましょう。



2. 絵を見て答えましょう。

a. この方法でノートを比べられますか? いいえ。



どうしたら、比べられますか?

ノートの底と底、角と角をそろえます。

b. この方法でペンを比べられますか? いいえ。



どうしたら、比べられますか?

長さを比べるには、ペンの先をそろえて置きます。

### 達成の目安：

1.1 2つの物の長さの直接比較をして、「もっと長い」と表現しましょう。

**重要なポイント：**物の比べ方を、生徒自身で見い出すことが肝要です。つまり、端をそろえたり、並べたり、伸ばしたりして、物を置く必要があります。問題は、日常で身に付けた基礎知識（例えば「長い」という言葉など）を用いて、直感的に解かせてください。一方で、ユニット1で学んだように、物の位置も利用します。

生徒が「解いてみよう」と「家で解いてみよう」の1.を解くにあたって、教科書にそのまま書き込んでも構いません。つまり、身の回りの物を使う必要はありません。「家で解いてみよう」の2.における問題の主旨は、位置がそろっていないければ、どちらの物が長いが見極められないということに、生徒が気がつくことです。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。「考えてみよう」の場合、問a.の場合は、自分のペンを2本使ってみよう生徒に指示を出す、問b.では、長さ違いの2本のリボンを生徒に配る、問c.では、教壇で実演するといった方法があります。

**教材：**ペン2本、リボン2本、ほうき2本（それぞれ異なるサイズを選ぶこと）。

**メモ：**

---

---

---

---

---

---

---

---

**日付：**

**授業：**1.1

Ⓐ 2つのうち長い方に ~~X~~ をつけましょう。



どちらが長いかわかるには、同じ場所に端をそろえて置きます。

Ⓓ 長い方に ~~X~~ をつけましょう。



**宿題：**141 ページ

# レッスン 1

## 1.2 物の間接比較をしましょう

### 考えてみよう

アナとベアトリスのように、リボンや紐で、机を数カ所測りましょう。

- ①と②の長さは、どのようにすれば比べられますか？
- どちらが長いでしょうか？



### 答えてみよう

- テープの端をそろえて、それぞれ長さを比べます。



- ①の方が長いです。

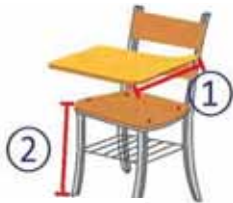


### 理解しよう

テープ、紐、毛糸を使えば、物の部位をそれぞれ測って、その長さを比べることができます。

### 解いてみよう

机の部位①と②を測って、比べましょう。



どちらが長いでしょうか？

答え：\_\_\_\_\_ この問いの答えは、生徒が測った机によって変わります。

### 家で解いてみよう

自分のベッドの部位①と②を測って、比べましょう。



どちらが長いでしょうか？

答え：\_\_\_\_\_ この問いの答えは、生徒が測ったベッドによって変わります。

## 達成の目安：

1.2 テープや紐による間接比較で、長さを比べましょう。

**重要なポイント：**この授業では、長さの間接比較をします。物の測定に適当な物をそのまま使い、物の長さを比較する方法です。具体的には、リボン、紐、針金、毛糸などを使います。ただし、定規や物差しは次学年以降で使いますので、この授業では使わないでください。①では、前回の授業で学んだことが実践されている点に注目しましょう。

板書にあたっては、生徒が測った物の寸法で、どれが一番長いかを決めても構いません。

「解いてみよう」で指示した部位を、授業中すでに比較済みであれば、次の図のように、他に比較できる部位を測るよう、生徒に指示を出してください。



本棚やロッカーなど、他の物を測るよう指示を出しても構いません。

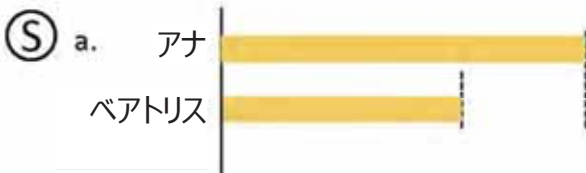
**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。「考えてみよう」の問いに取り組むにあたって、リボン、紐、毛糸などの切れ端を2つずつ生徒に配って、机を測るよう指示を出しても構いません。2人がけの机であれば、2人1組で取り組むようにしましょう。

**教材：**各生徒、または2人1組につき、リボン、紐、毛糸の切れ端を2つ。

日付：

授業：1.2

① リボンや紐で、机の部位を測りましょう。



b. ①の方が長いです。

リボンなどで間接比較をすれば、長さを比べることができます。

③ 机の部位 ① と ② を測って、比べましょう。

どちらが長いでしょうか？

答え： \_\_\_\_\_

宿題：142 ページ

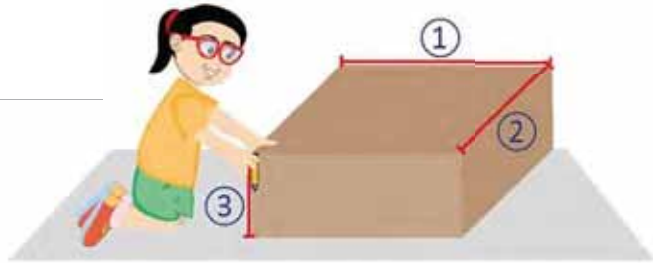
# レッスン 1

## 1.3 体の部位や何か他の物を使って測りましょう。

### 考えてみよう

絵のように、カルメンが箱の寸法を比べています。

- a. ①、②、③ の長さは、どのようにして比べられるでしょうか？
- b. どこが一番長いでしょうか？



### 答えてみよう

それぞれ、鉛筆を使って測ります。



- a. ① の長さ： \_\_\_\_\_
- ② の長さ： \_\_\_\_\_
- ③ の長さ： \_\_\_\_\_

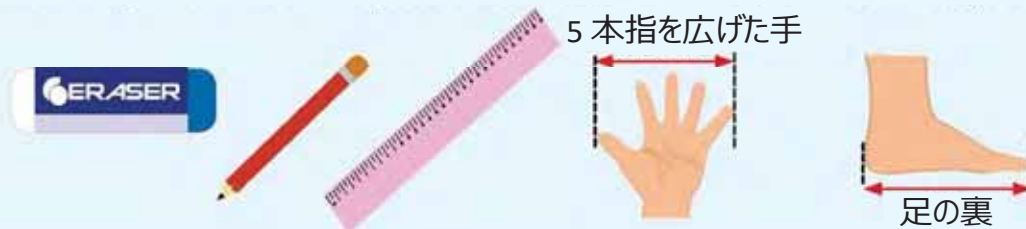
答えは、測った箱の大きさによって変わります。

- b. 一番長い部位： \_\_\_\_\_

### 理解しよう

物の部位を測るには、鉛筆、消しゴム、定規など、何か他の物が使えます。

(5本指を広げた) 手や足の裏など、体の部位を使うこともできます。



### 解いてみよう

5本指を広げて、机の部位①と②を測りましょう。



どちらが長いでしょうか？

答え： \_\_\_\_\_ この問いの答えは、生徒が測った机によって変わります。

### 家で解いてみよう

足の裏で、自分の部屋の①と②を測りましょう。



この問いの答えは、生徒が測った部屋によって変わります。

どちらが長いでしょうか？ 答え： \_\_\_\_\_

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

1.3 鉛筆、消しゴム、体の部位などの任意単位を使って、長さを比べましょう。

**重要なポイント：**引き続き、長さの比較に取り組みます。この場合は、任意単位として、身の回りの物や体の部位などを使います。まずは、長さを測るために利用する物を選ばなければなりません。「考えてみよう」の問 a. を解く前に、鉛筆（など、最初に選んだ物）を使って箱の各部位を測るよう、生徒に指示を出してください。鉛筆で各部位の長さを測る方法を、生徒が考えられるように、十分な時間をとることを推奨します。

生徒の理解に支障や混乱が生じる状況としては、正確に測れないときが挙げられます。例えば、箱が鉛筆 3 本より少し長い場合などです。箱の各部位に鉛筆数本分の違いがあったとしても、問題ありません。ただし、同じ長さであった場合は、鉛筆の位置を他にも検討して、どの部位が一番長いのかを確かめます。何か他の物、5 本指を広げた手、足の裏などを使った場合でも、同じことが言えます。

他に懸念される状況としては、2 人の生徒が、箱の同じ部位を測ったにも関わらず、その結果が異なる場合が挙げられます。これは、生徒が選んだ物の長さによって変わります。長さを測るときに大切なのは、他の生徒が測った長さではなく、もう1つ別の箱を測って、その長さを比べることです。

「理解しよう」では、体の部位でも物を測れることを説明しています。「答えてみよう」に取り組んだ後、まだ時間があれば、5 本指を広げたり足の裏を使ったりして、もう一度箱を測っても構いません。

「家で解いてみよう」では、絵の指示に従って部屋の寸法を測りますが、均一な形状であれば、自宅のどこを測っても構いません。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。長めの箱を選んで、授業中に測っても構いません。箱を用意して自分で測るよう、生徒全員に指示を出すのもいいでしょう。

**教材：**段ボール箱、鉛筆。

**日付：**

**授業：**1.3

- Ⓐ a. 箱の部位 ①、②、③ の長さは、どのようにして比べられるでしょうか？  
b. どこが一番長いでしょうか？

- Ⓒ a. ① の長さ： \_\_\_\_\_  
② の長さ： \_\_\_\_\_  
③ の長さ： \_\_\_\_\_

b. 一番長い部位： \_\_\_\_\_

体の部位でも測ることができます。

- Ⓓ 5 本指を広げて、机の部位 ① と ② を測りましょう。

どちらが長いでしょうか？

答え： \_\_\_\_\_

**宿題：**143 ページ

# レッスン 1

## 1.4 2つの広さを比べましょう

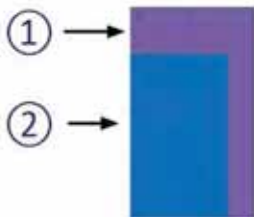
### 考えてみよう

フリアは、タオルを2枚持っています。どちらのタオルが大きいですか？



### 答えてみよう

タオルを2枚とも広げて、重ねて、比べます。



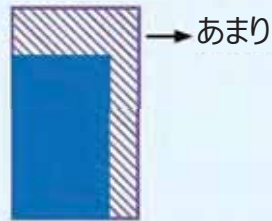
どちらのタオルが大きいですか？

答え：①



### 理解しよう

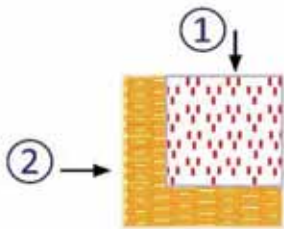
2つの物を比べるには、重ねて置きます。余りの方がある方が、もっと大きいことになります。



### 解いてみよう

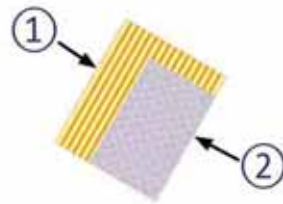
どちらが大きいですか？

a.



答え：②

b.

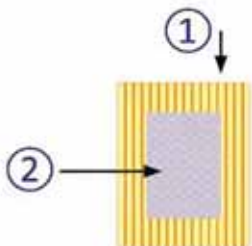


答え：①

### 家で解いてみよう

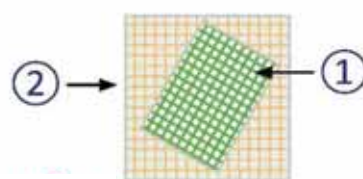
どちらが大きいですか？

a.



答え：①

b.



答え：②

家族のサイン： \_\_\_\_\_



**達成の目安：**

1.4 長方形の物 2 つの広さの直接比較をして、「もっと大きい」や「もっと小さい」と表現しましょう。

**重要なポイント：**これまでの授業では、長さを比べる手順を身に付けました。この授業では、広さの直接比較をします。

「解いてみよう」では、教科書のように、サイズ違いの画用紙を用意して、黒板に貼っても構いません。

「家で解いてみよう」では、図が並んでいないことに注目してください。小さな図が、a. では大きな図の中央に、b. では少し傾けてあります。ここでの意図は、図と図を重ねると、下の図に必ず余りが出るということに、生徒が自分で気がつくことです。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。授業を進めるにあたって、サイズ違いのタオルを 2 枚用意しましょう。タオルの代わりに長方形の画用紙を用いても構いません。

**教材：**サイズ違いのタオル 2 枚、または寸法違いの画用紙 2 枚。

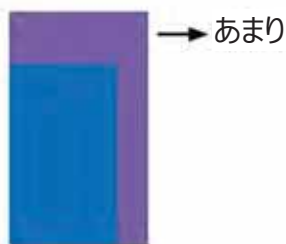
**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：** 1.4

- Ⓐ どちらのタオルが大きいでしょうか？
- Ⓢ タオルを 2 枚とも広げて、重ねて、比べます。



Ⓐ どちらが大きいでしょうか？

a. 

答え： ②                      答え： ①

**宿題：** 144 ページ

# レッスン

# 2

## かさを比べましょう

### 2.1 容器 2 つのかさを比べましょう (1)

#### 考えてみよう

絵を見て答えましょう。どちらのカップの方が、水が多いでしょうか？



#### 答えてみよう

カップ②の水をカップ①に移し替えます。



アントニオ



カップ①の水をカップ②に移し替えることもできます。



かさを比べるには、一方に水を入れ替えて、もう一方を空にします。



カップ①に余裕があるので、①には水がもっと入ります。

#### 理解しよう

容器に入る水の量を、**かさ**と言います。

2つの容器①と②のかさを比べるには、

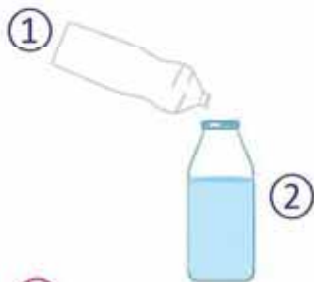
- 容器①の水を②に移し替えます。
- 余裕があれば①のかさが少なく、水が溢れば①のかさが多いということです。



#### 解いてみよう

答えましょう。

a. かさが多いのはどちらでしょうか？



答え：②

b. かさが少ないのはどちらでしょうか？



答え：①

家族のサイン： \_\_\_\_\_

# レッスン 2

c. かさが多いのはどちらでしょうか？



答え：①

d. かさが少ないのはどちらでしょうか？



答え：①

## 家で解いてみよう

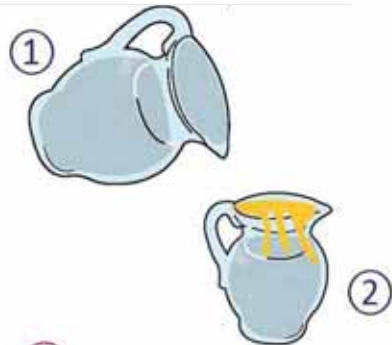
答えましょう。

a. かさが多いのはどちらでしょうか？



答え：②

b. かさが少ないのはどちらでしょうか？



答え：②

c. かさが少ないのはどちらでしょうか？



答え：②

d. かさが多いのはどちらでしょうか？



答え：②

## 達成の目安：

2.1 容器 2 つのかさの直接比較をして、かさ「もっと多い」や「もっと少ない」と表現しましょう。

**重要なポイント：**容器2つの直接比較をして、どちらのかさが多く、どちらが少ないのか判断します。生徒が「考えてみよう」の答えを出すにあたって、①のカップ2つのうちどちらの方が水が入るかは、どちらの方が大きいかよく見ることで、常識的に判断がつかます。また、一方のカップに入った水を、もう一方に移し替えることで、直接比較をすることもできます。「もっと」という言葉は、どちらの方が大きいか、水がより多く入るか、という考え方を身に付けるのに役立ちます。

その後「答えてみよう」で示すのは、どのカップにもっと水が入るかを求める方法です。片方のカップに水を入れていることに注目しましょう。ここでは、小さいカップに水が入っていることを考慮します。どちらに水が多く入るのか見極めるには、片方に水を移し替えるのです。また、アルマジロが別の考え方を示しています。大きなカップに水が入っていると考える方法です。

「理解しよう」では、前述の2つの考え方が要約されています。まず一方のカップからもう一方へ水を移し替えて、次に容器のかさを見極めます。

「解いてみよう」と「家で解いてみよう」の絵では、一方の容器の水がもう一方に入るのか、溢れてしまうのかに重きを置きます。それぞれ容器が異なることに注目しましょう。問いの中には、水が入る量が多い方と少ない方があります。生徒が正しく解答できているか、しっかり確認してください。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。サイズ違いのカップを2つ用意して、授業中「考えてみよう」の課題に取り組んでも構いません。

**教材：**サイズ違いのカップ2つ、水。

日付：

授業：2.1

Ⓐ どちらのカップに、水が多く入るでしょうか？

- Ⓔ 容器①と②のかさを比べるには、
- 容器①の水を②に移し替えます。
  - 余裕があれば、①のかさが少なく、水が溢れば、①のかさが多いということです。

Ⓕ 答えましょう。  
a. かさが多いのはどちらでしょうか？

答え：②

b. かさが少ないのはどちらでしょうか？

答え：①

宿題：146 ページ

# レッスン 2

## 2.2 容器 2 つのかさを比べましょう (2)

### 考えてみよう

絵を見ましょう。

- a. どの容器のかさが多いでしょうか?
- b. どの容器のかさが少ないでしょうか?



### 答えてみよう

同じサイズのコップで比べます。



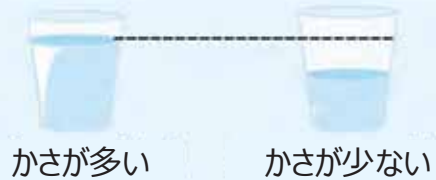
- a. 容器①のかさが多いです。
- b. 容器②のかさが少ないです。



### 理解しよう

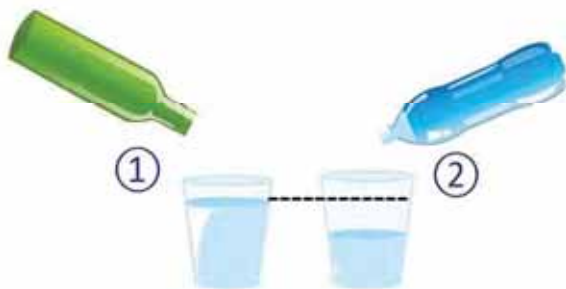
2 つの容器を比べるには、同じサイズの容器を使います。

一方の容器のかさが多いと、水かさが増えます。



### 解いてみよう

絵を見て答えましょう。



容器①のかさが多いです。

### 家で解いてみよう

絵を見て答えましょう。



容器①のかさが少ないです。

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

2.2 容器 2 つのうち、どちらのかさが多いのか、任意単位を使って、間接比較で見極めましょう。

**重要なポイント：**容器2つのかさをあらためて比較します。この場合は、任意単位を使います。生徒が「考えてみよう」の問いに取り組むと、容器のかさが多いか少ないかを、サイズで見分けられるようになります。「考えてみよう」に挙げた考え方によって、答え合わせをしつつ、さらに、両方の容器のかさを比べる方法を学びます。

「考えてみよう」では、両方の容器の水を同時に移し替えます。これにあたって、同じサイズの容器をさらに2つ用意しましょう。この手順では、間接比較をするということです。次に、水を移した容器2つに水がどの程度入るのか、水かさを見比べます。これは直接比較です。ここで用いた手順とユニット1レッスン2の4時限目で取り組んだ内容が、類似していることに注目してください。

「考えてみよう」の問 b. は、a. の答えが分かった時点ですぐに求められます。これを生徒自身が見い出せるよう、その余地を与えてください。測定単位として選んだ物の水かさを比べなおしても構いません。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。授業中に「考えてみよう」や「考えてみよう」の課題に取り組ましましょう。

**教材：**サイズ違いの容器 2 つ、同じサイズの透明の容器 2 つ、水。

日付：

授業：2.2

- Ⓐ a. どの容器のかさが多いでしょうか？  
b. どの容器のかさが少ないでしょうか？

- Ⓒ 2 つの容器のかさを比べるには、測定単位として別の容器を使います。

- Ⓓ 答えましょう。  
容器 ① のかさが多いです。

宿題：147 ページ

# レッスン 2

## 2.3 箱を比べましょう

### 考えてみよう

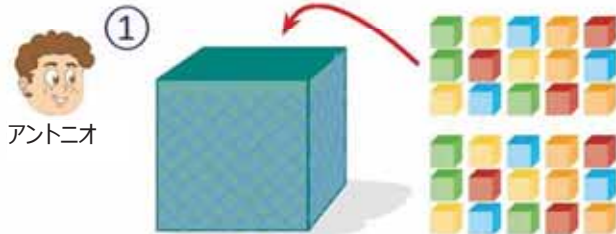
ダビッドとお兄さんは、おもちゃを片付けようとしています。

- どの箱が大きいでしょうか？
- どの箱が小さいでしょうか？



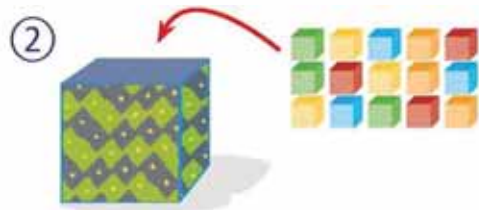
### 答えてみよう

どちらの箱にも、おもちゃを入れます。



箱 ① には、30 個入ります。

- 箱 ① が大きいです。



箱 ② には、15 個入ります。

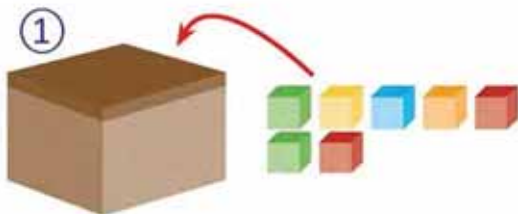
- 箱 ② が小さいです。

### 理解しよう

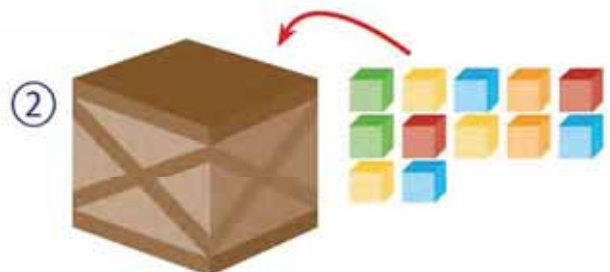
2つの箱を比べるには、同じサイズの物を使って、入る量が多い方と少ない方を見比べます。

### 解いてみよう

- どの箱が大きく、どの箱が小さいでしょうか？



箱 ① には、7 個入ります。



箱 ② には、12 個入ります。

箱 ② が大きく、箱 ① が小さいです。

2. カルメンは、箱を3つ持っています。絵を見て答えましょう。



箱①には、3個入ります。

箱②には、7個入ります。

箱③には、13個入ります。

箱①と箱②：

a. 箱②が大きいです。

b. 箱①が小さいです。

箱③と箱②：

c. 箱③が大きいです。

d. 箱②が小さいです。

箱①と箱③：

e. 箱③が大きいです。

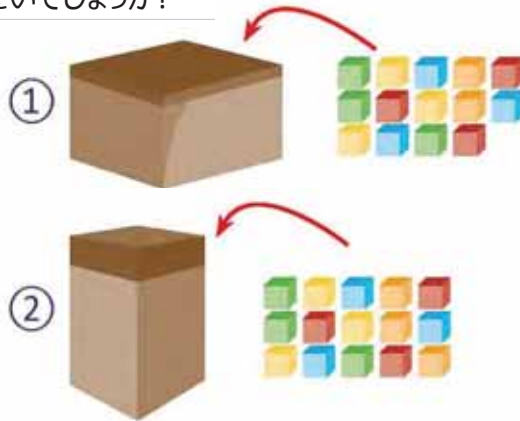
f. 箱①が小さいです。

この問いの答えは、生徒が何を選んだかによって変わります。

この問いの答えは、生徒が何を選んだかによって変わります。ただし、ここで肝要なのは、①と②が比較済みにつき、①と③を比較した方がよいということに注目することです。

## 家で解いてみよう

どの箱が大きく、どの箱が小さいでしょうか？



箱①には、14個入ります。

箱②には、15個入ります。

箱②が大きく、箱①が小さいです。



## 達成の目安：

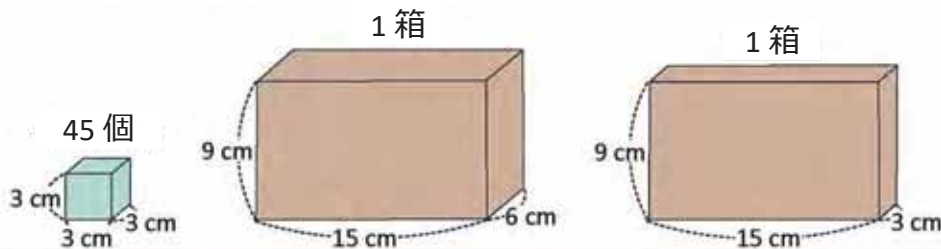
2.3 箱 2 つの大きさを、同じサイズの立方体で間接比較しましょう。

**重要なポイント：**この授業では、箱2つの大きさを、同じサイズの立方体で間接比較することで、入る量が多いのはどちらか、少ないのはどちらかを見極めます。ここでの意図は、前回と同じように、測定単位として何か他の物を使って、2つの箱の大きさを測ることです。

体積という用語を定義することはありませんが、同じサイズの立方体が箱にいくつ入るのか直感的に見極めます。この体積という概念については、6学年で直方体の体積の求め方を説明するときに用います。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。サイズ違いの箱を2つ、同じサイズの立方体をいくつか用意してください。立方体の数は、箱のサイズに合わせてください。箱の中身をいっぱいにする数にしなければならないからです。このような理由から、用意するのは立方体と段ボール板だけとすることを推奨します。段ボール板を使えば、立方体が収まる寸法の箱を作れます。立方体の用意に手間取るようでしたら、こちらも自作して構いません。

続いて、箱と立方体を作れる寸法の例を出して、「考えてみよう」の問いに取り組むようにしてください。



**教材：**サイズ違いの箱 2 つ、同じサイズの立方体

**日付：**

**授業：**2.3

- Ⓐ a. どの箱が大きいですか？  
b. どの箱が小さいですか？

- Ⓔ どちらの箱にも、おもちゃを入れます。

箱 ① には、30 個入ります。箱 ② には、15 個入ります。

- a. 箱 ① が大きいです。  
b. 箱 ② が小さいです。

- Ⓕ 1. どの箱が大きく、どの箱が小さいでしょうか？

箱 ① には、7 個入ります。

箱 ② には、12 個入ります。

箱 ② が大きく、

箱 ① が小さいです。

**宿題：**149 ページ

# レッスン

# 3

## 重さを比べましょう

### 3.1 2つの物の重さを比べましょう

#### 考えてみよう

ダビッドはサッカーボールを、お兄さんはテニスボールを持っています。

- どちらのボールが重いでしょうか？
- どちらのボールが軽いでしょうか？



#### 答えてみよう

測りを使って、ボールの重さを比べます。



- 秤が右に傾いているので、ボール②の方が軽いです。
- 秤が左に傾いているので、ボール①の方が重いです。



マリオ

#### 理解しよう

2つの物の重さを比べるには、秤の傾きを見ます。



#### 解いてみよう

1. どちらが重いでしょうか？



スイカは、オレンジより重いです。

2. どちらが軽いでしょうか？



②の方が①より軽いです。

#### 家で解いてみよう

1. どちらが軽いでしょうか？



②りんごは、レタスより軽いです。

2. どちらが重いでしょうか？



②の方が①より重いです。

215 - 219 ページの硬貨を切り取りましょう。

## 達成の目安：

3.1 2つの物の重さを、秤で直接比較しましょう。

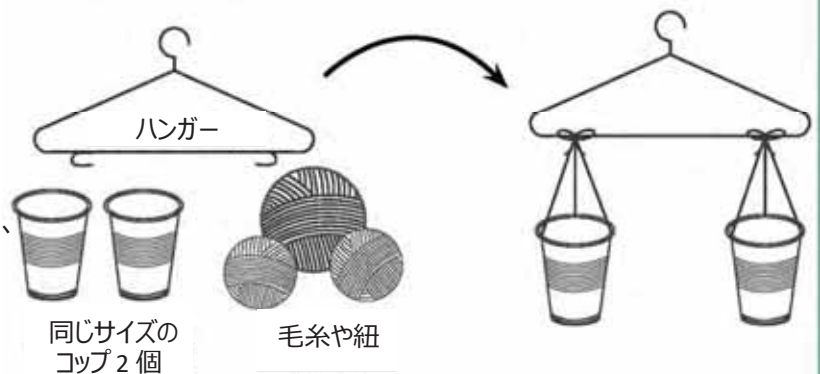
**重要なポイント：**ここでも生徒に求められるのは、2つの物のうちどちらが重いのか、直観的に見極めることです。物を秤に乗せて、傾いた側が重く、浮いた側が軽い、というように区別させてください。生徒が秤を見たことがあると仮定しますが、そうでなければ、授業を始める前に簡単に説明しても構いません。次の授業では、教科書215、217、219ページにある切り絵の硬貨を使用します。生徒には、これらを切り取った状態で持参するよう、指示を出してください。

**指導案：**授業を実践の場とすることを推奨します。秤とサイズ違いの物2つを使って、授業を進めます。2つの物の重さについては、秤の傾きを十分に確認できる物が好ましいので、差異の大きい物を選んでください。右図のような資材で、予備の秤を作るのもいいでしょう。次の手順で用意してください。

1.毛糸（または紐）を、1本 12 cm で 6つに切り分ける。

2.毛糸 3本を、コップ上部に等間隔で結ぶ。

3.コップを、ハンガーの両端に等間隔に並ぶよう、細心の注意を払って結ぶ。



予備の秤の使用時は、ハンガーを自分の指にぶら下げた状態で、比較対象を別々にコップに入れてください。そうすると、ハンガーの傾きが見て取れるでしょう。

**教材：**秤、サイズ違い・重さ違いのボール 2個。

**日付：**

**授業：** 3.1

- Ⓐ a. どちらのボールが重いでしょうか？  
b. どちらのボールが軽いでしょうか？

- Ⓢ 秤でボールの重さを比べます。
- a. 秤が右に傾いているので、  
ボール②の方が軽いです。
- b. 秤が左に傾いているので、ボール①の方が重いです。

- Ⓘ 1. どちらが重いでしょうか？  
スイカは、オレンジより重いです。
2. どちらが軽いでしょうか？  
②の方が①より軽いです。

215 - 219 ページの硬貨を切り取りましょう。

**宿題：** 150 ページ

# レッスン

# 4

## 硬貨を金額分使いましょう

### 4.1 硬貨を区別しましょう

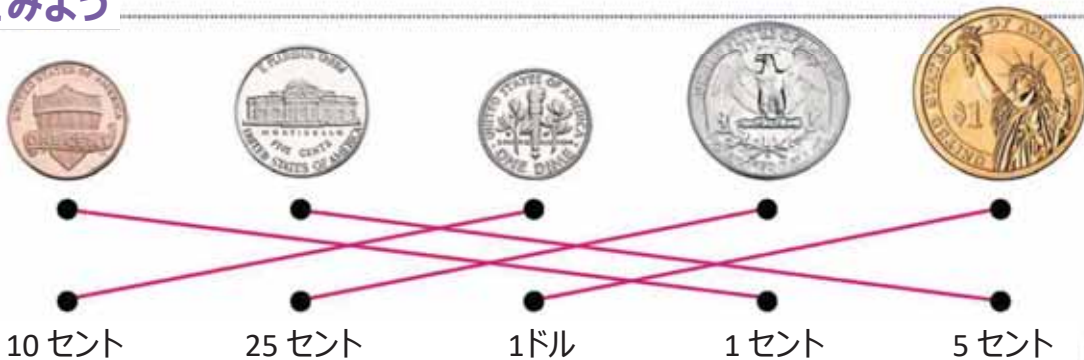
#### 考えてみよう

硬貨と金額を線で結びましょう。

#### 答えてみよう



ホセ



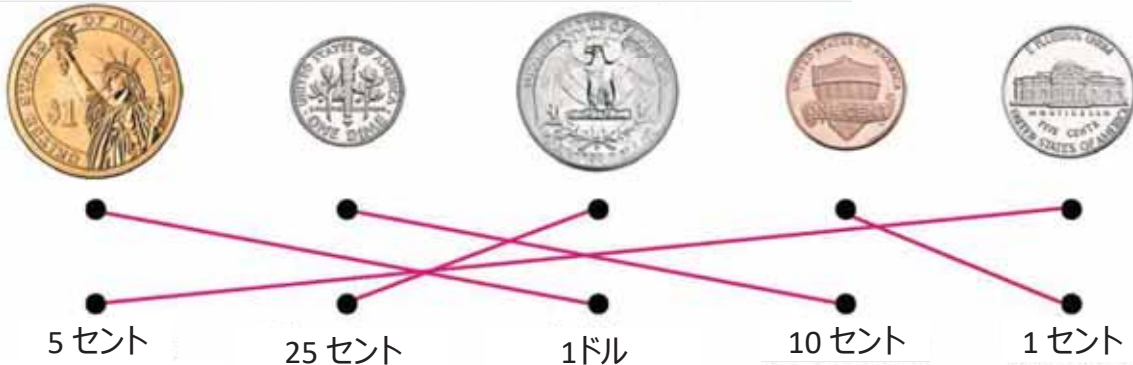
#### 理解しよう

ドル硬貨は、5種類あります。  
色、大きさ、金額など、いろんな特徴があります。



#### 解いてみよう

硬貨と金額を線で結びましょう。



#### 家で解いてみよう

該当する硬貨に **X** をつけましょう。

a. 10セント



b. 1セント



c. 10セント



家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

4.1 エルサルバドル通貨の硬貨を区別しましょう。

**重要なポイント：**生徒は硬貨を使いこなせるようになるでしょう。この授業では、生徒が各硬貨の特徴、例えば、サイズ、色、絵柄などをしっかり把握できるように専念してください。

ドルマークについては、説明を控えることが肝要です。この説明には小数を用いる必要がありますが、少数はこの学年では取り扱わないためです。

**指導案：**教科書215、217、219ページの硬貨を、切り取って使わせてください。どの硬貨にも表面と裏面があるので、両面の外観が異なることが見て取れるようになっています。硬貨を拡大印刷して、プラスチックや透明の粘着テープなどを使って、裏貼りすることを推奨します。本手引き書の363、365、367ページにあります。

切り取った硬貨を名札付きの封筒に入れて、自宅で使わないときは教室に保管しておくよう、各生徒に指示を出すことを推奨します。

**教材：**教科書215、217、219ページの硬貨の切り絵、本手引き書363、365、367ページの硬貨の切り絵。

**メモ：**

---

---

---

---

---

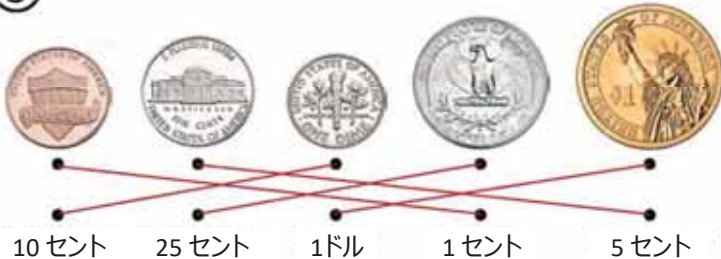
---

**日付：**

**授業：** 4.1

**Ⓐ** 硬貨と金額を、それぞれ線で結びましょう。

**Ⓔ**



**Ⓕ** 硬貨と金額を、それぞれ線で結びましょう。

---

**宿題：** 151 ページ

# レッスン 4

## 4.2 1、5、10、25 セントで金額を数えましょう

### 考えてみよう

アナとミゲルは硬貨を持っていて、それぞれ 30 セントのキャンディーを買おうとしています。キャンディーを買うのに使う硬貨に、**X** をつけましょう。

アナのお金



ミゲルのお金



### 答えてみよう

アナのお金で 30 セント集めるには、次のようにします。



アントニオ

ミゲルのお金で 30 セント集めるには、次のようにします。



### 理解しよう

金額を集めるには、価値の異なる硬貨を集めます。例えば、30 セント集めるには、次のようにします。



# レッスン

# 4

## 解いてみよう

1. 該当する硬貨に、**X**をつけましょう。

a. 15 セント集める場合



b. 30 セント集める場合



c. 25 セント集める場合



d. 50 セント集める場合



2. 次の金額を集めるにあたって、必要な硬貨の枚数を書き出しましょう。

a. 10 セント集める場合



b. 19 セント集める場合



c. 21 セント集める場合



d. 45 セント集める場合



# レッスン 4

## 家で解いてみよう

1. 該当する硬貨に、**X**をつけましょう。

a. 18 セント



b. 26 セント



c. 35 セント



d. 40 セント



e. 50 セント



f. 72 セント



2. 次の金額を集めるにあたって、必要な硬貨の枚数を書き出しましょう。

a. 20 セント



b. 38 セント



c. 45 セント



d. 55 セント



e. 60 セント



f. 80 セント





## 達成の目安：

4.2 1、5、10、25セントで金額を集めましょう。

**重要なポイント：**この授業ではまず、30セントのキャンディーを買うためにアナが貯めたお金とミゲルが貯めたお金を数えます。この課題においては、切り絵の硬貨を参考にして、アナとミゲルのお金からそれぞれ 30セントを集めるよう、生徒に指示を出しても構いません。この問いの主旨は、硬貨を様々に組み合わせれば金額を集められると、生徒に見い出させることです。2人1組を作り、1人がアナのお金で、もう1人がミゲルのお金で金額を集め、それぞれの硬貨を使ったのか比べさせましょう。

「答えてみよう」では、「考えてみよう」の解答をひとつずつ提示していますが、生徒の解答がこれらと異なる場合があります。よって、生徒の解答が正しいかどうか、しっかり確認する必要があります。

「解いてみよう」や「家で解いてみよう」の 1. には解答が1つしかありませんが、2. については、本手引き書の解答以外にも何通りもあります。ここでも、生徒の解答が正しいかどうか、しっかり確認してください。問題で指示された金額を集め、教科書の空欄を埋めるにあたって、硬貨の切り絵を使うよう、指示を出しても構いません。板書計画上の解答も、生徒の解答によって様々です。

**教材：**切り取った硬貨

**メモ：**

---

---

---

---

---

---

**日付：**

**授業：**4.2

**(A)** アナのお金で30セント、ミゲルのお金で30セント集めましょう。

**(S)** アナのお金：



ミゲルのお金：



**(R)** 2. 次の金額を集めるにあたって、必要な硬貨の枚数を書き出しましょう。

a. 10セント集める場合



b. 19セント集める場合



c. 21セント集める場合



**宿題：**154 ページ

# レッスン

# 4

## 4.3 1、5、10、25 セントと1ドルで金額を集めましょう

### 考えてみよう

フリア、カルロス、マルタは、100セント集めると1ドルになることを知っています。みんなのお金に **X** をつけて、それぞれ1ドル集めましょう。

フリアのお金



カルロスのお金



マルタのお金



### 答えてみよう

- フリアのお金から1ドル集めるには、25セントを2枚、10セントを4枚、5セントを2枚使います。
- カルロスのお金から1ドル集めるには、25セントを3枚、10セントを2枚、5セントを1枚使います。
- マルタのお金から1ドル集めるには、25セントを4枚使います。



ベアトリス

### 理解しよう

- 1ドル集めるには、次の方法があります。
- 25セントが2枚、10セントが4枚、5セントが2枚。
  - 25セントが3枚、10セントが2枚、5セントが1枚。
  - 25セントが4枚。

# レッスン 4

## 解いてみよう

1. 硬貨を囲んで、1ドル集めましょう。

a.



b.



c.



2. 1ドル集める方法をいくつか書き出しましょう。

a.



b.



c.



d.



# レッスン 4

## 家で解いてみよう

1. 硬貨を囲んで、1ドル集めましょう。



2. 1ドル集める方法をいくつか書き出しましょう。

a.



b.



c.



d.



3. カロリーナは、お店で1ドルのお菓子を買いたくて、お金を貯めました。1ドル貯めるには、何セント足りないでしょうか？右の硬貨のうち、1ドル集めるのに足りない分を囲みましょう。

貯めたお金



合計で 45 セントあります。  
55 セント足りません。

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

4.3 1、5、10、25セントで1ドル集めましょう。

**重要なポイント：**この授業では、1、5、10、25セントだけで1ドル集めるというケースに限定して取り組みます。まずは、「考えてみよう」の問いで触れたように、1ドルが何セントに等しいのかを理解する必要があります。よって、ここで生徒に求めるのは、100セントになる硬貨の組み合わせを作ることです。

「解いてみよう」の問 1b. には、解答が 2つあります。25セントが 3枚、10セントが 1枚、5セントが 3枚の場合と、25セントが 3枚、5セントが 5枚の場合です。「解いてみよう」と「家で解いてみよう」の問 2. には、複数の解答があります。また、「家で解いてみよう」の問 3. は難易度が高く、1ドル（100セント）集めるのに必要な硬貨の枚数を求めなければなりません。

**誤字の訂正：**この授業では、硬貨の合計枚数と金額に指定はありませんが、集める金額は1ドルのみとしてください。

**教材：**切り取った硬貨

**メモ：**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

**日付：**

**授業：**4.3

- Ⓐ 100 セント集めると 1 ドルになります。  
硬貨に印をつけて、1 ドル集めましょう。
- Ⓢ
- フリアの場合：1 ドル集めるには、25 セントを 2 枚、10 セントを 4 枚、5 セントを 2 枚使います。
  - カルロスの場合：1 ドル集めるには、25 セントを 3 枚、10 セントを 2 枚、5 セントを 1 枚使います。
  - マルタの場合：1 ドル集めるには、25 セントを 4 枚使います。

- Ⓡ 2. 1 ドル集めるにあたって、必要な硬貨の枚数を書き出しましょう。

a.

				
0	0	0	4	
b.	0	0	10	0
c.	0	20	0	0

**宿題：**157 ページ

# レッスン

# 5

## 時計、時間、分とは何か学びましょう

### 5.1 時計を見て、○ 時間ちょうどの読み取り方を学びましょう

#### 考えてみよう

フアンの生活を見てみましょう。何時に何をしていますか？



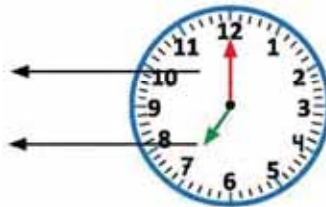
#### 答えてみよう

時間は、時計で確認できます。



長い針

短い針



針 ↓ は、6 を指しています。

針 ↑ は、12 を指しています。

答え：フアンは、6 時に起きます。

針 ↙ は、7 を指しています。

針 ↑ は、12 を指しています。

答え：フアンは、7 時に学校に着いています。

#### 理解しよう

時計の短い針は、時間を指しています。

長い針が 12 を指しているとき、○ 時ちょうどと言います。例えば、フアンは 6 時ちょうどに起きます。

#### 解いてみよう

1. 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



答え：8 時ちょうど

b.



答え：11 時ちょうど

c.



答え：5 時ちょうど

# レッスン

# 5

d.



答え：3 時ちょうど

e.



答え：9 時ちょうど

f.



答え：4 時ちょうど

2. 次の時間を指すように、時計に針を書き加えましょう。

a. 1 時ちょうど



b. 10 時ちょうど



c. 12 時ちょうど



## 家で解いてみよう

1. 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



答え：6 時ちょうど

b.



答え：2 時ちょうど

c.



答え：11 時ちょうど

2. 次の時間を指すように、時計に針を書き加えましょう。

a. 3 時ちょうど



b. 7 時ちょうど



c. 4 時ちょうど



3. フリアは、いつもお昼の同じ時間に遊びに出かけます。時計によると、何時に出かけていますか？



答え：5 時ちょうど

家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

5.1 針時計を読み取って、○ 時ちょうどと書き出しましょう。

**重要なポイント：**この授業では、時計による時間の読み取り方について、その基礎を学びます。今回は、○ 時ちょうどのみを読み取りますが、この場合、針がどこを指しているのか、生徒が自分で見出すことが肝要です。

午前や午後といった時間帯にはこだわらず、その略表記 a.m. や p.m. についても言及しないでください。これについては、次学年以降で取り組みます。また、各針の名称についても言及せず、「短い針」や「長い針」とだけ表現してください。

生徒の理解に支障や混乱が生じる状況としては、時計が 12 時ちょうどを指しているとき、つまり、針が両方とも 12 を指しているときが挙げられます。これについては、時計の針がどこを指すべきか、生徒をよく尋ねて確認することを推奨します。

「答えてみよう」では、○ 時ちょうどという表現は使いません。この表現は「解いてみよう」で用います。「理解しよう」では、時計の使用と ○ 時ちょうどという表現について、最も重要なポイントを要約しています。

「解いてみよう」の 1a. と 1b. では、「ちょうど」という文言を、生徒がなぞって書けるようにしています。この文言を書き忘れないように指導することで、残りの問いでも必ず書かせるためです。また、2. で生徒に求められるのは、時計に短い針を書き加えることで、指示された時間を表すことです。





**指導案：**大きな時計の電池を抜いて、授業中、実践形式で使っても構いません。

**教材：**針時計

日付：

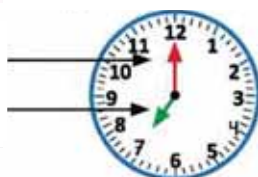
授業：5.1

Ⓐ ファンは、何時に何をしていますか？

Ⓔ 針  は、6 を指しています。針  は、7 を指しています。  
針  は、12 を指しています。針  は、12 を指しています。



長い針  
短い針



答え：ファンは、6時に起きます。  
短い針は、時間を指しています。

答え：ファンは、7時に学校に着いています。

Ⓕ 1. 時計の指している時間を書き出しましょう。

a.



答え：8時ちょうど

b. 答え：11時ちょうど  
c. 答え：5時ちょうど

2. 時計の針を書き加えましょう。

a. 1時ちょうど



宿題：159 ページ



# レッスン 5

## 5.2 ○ 時半を読み取り方を学びましょう

### 考えてみよう

フアンの生活を見てみましょう。

- 何時に起きていますか？
- 何時に朝ごはんを食べていますか？
- 何時に学校に着きますか？



### 答えてみよう



カルメン

a. フアンは、6 時ちょうどに起きます。

b. 長い針が 6 を、短い針が 6 と 7 の間を指しているので、フアンは 6 時半に朝ごはんを食べています。

c. フアンは、7 時ちょうどに学校に着いています。



### 理解しよう

短い針が 2 つの数字の間を指しているとき、小さい方の時間を指します。

長い針が 6 を指しているとき、○ 時半と読みます。

時計の針は、必ず右回りに動きます。



6 時半



### 解いてみよう

1. 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



答え： 10 時半

b.



答え： 1 時半

c.



答え： 4 時半

# レッスン

# 5

2. 時計が指示された時間を指すように、針を補いましょう。

a. 3時半



b. 7時半



c. 5時半



3. 時計が指示された時間を指すように、針を書き加えましょう。

a. 2時半



b. 9時半



c. 12時半



## 家で解いてみよう

1. 次の時計が指す時間を、○ 時ちょうどと読み書きしましょう。

a.



答え：8時半

b.



答え：3時半

c.



答え：10時半

2. 時計が指示された時間を指すように、針を補いましょう。

a. 11時半



b. 1時半



c. 7時半



d. 4時半



e. 9時半



f. 12時半



家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

5.2 針時計を読み取って、○ 時半と書き表しましょう。

**重要なポイント：** 前回の授業では、針時計における ○ 時ちよどの区別の仕方を学びました。この ○ 時ちよどという時間には、長い針が必ず 12 を、短い針が必ず ○ 時の数字を指している、という特徴があります。この授業では、長い針が必ず 6 を指しています。時間の読み取りにあたっては、短い針をあらためて確かめることになりません。

このように ○ 時ちよどではない場合、短い針は数字を指していません。「理解しよう」のように、短い針を挟んだ数字のうち、小さい方を基準にします。

この授業ではまず、時計が指すように、日々異なる時間に行う活動を 3つ挙げます。○ 時ちよどが 2度現れますが、前回の授業のおさらい・復習になりますので、○ 時ちよどと ○ 時半で針の位置に違いがあることを、見出しやすくなるでしょう。

「解いてみよう」の 2. では、長い針がすでにあると仮定して、短い針を書き加える必要があります。3. については、短い針がすでにあると仮定して、長い針を書き加えます。

## 教材：針時計

メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

日付：

授業：5.2

- Ⓐ a. フアンは、何時に起きていますか？  
b. 何時に朝ごはんを食べていますか？  
c. 何時に学校に着きますか？
- Ⓑ a. フアンは、6 時ちよどに起きます。  
b. フアンは、6 時半に朝ごはんを食べています。  
c. フアンは、7 時ちよどに着いています。

- Ⓒ 1. a. 10 時半  
b. 1 時半  
c. 4 時半

2. a.



3. a.



宿題：161 ページ

# レッスン 5

## 5.3 分の読み取り方を学びましょう

### 考えてみよう

カルロスは、1日にいろいろなことをします。

- 何時に宿題をしていますか？
- 何時に切り絵をしていますか？



### 答えてみよう

短い針が、1と2の間を指しています。  
長い針が、目盛り4つ分進んでいます。



アントニオ



答え：カルロスは、1時4分に宿題をしています。

短い針が、1と2の間を指しています。  
長い針が、目盛り25個分進んでいます。



答え：カルロスは、1時25分に切り絵をしています。

### 理解しよう

時計の長い針が分を指し、目盛り1つが1分を表しています。

- 時間を読み取るには、短い針で時間を、長い針で分を読み取ります。
- 分を読み取るには、長い針が、12から目盛りいくつ分進んでいるか数えます。

### 解いてみよう

1. 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



6時19分

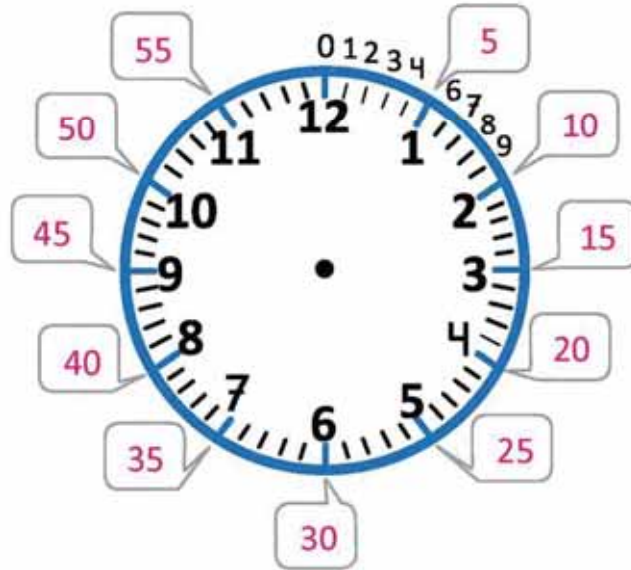
b.



5時52分

# レッスン 5

2. 空欄に当てはまる数字を書きましょう。



## 家で解いてみよう

1. 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



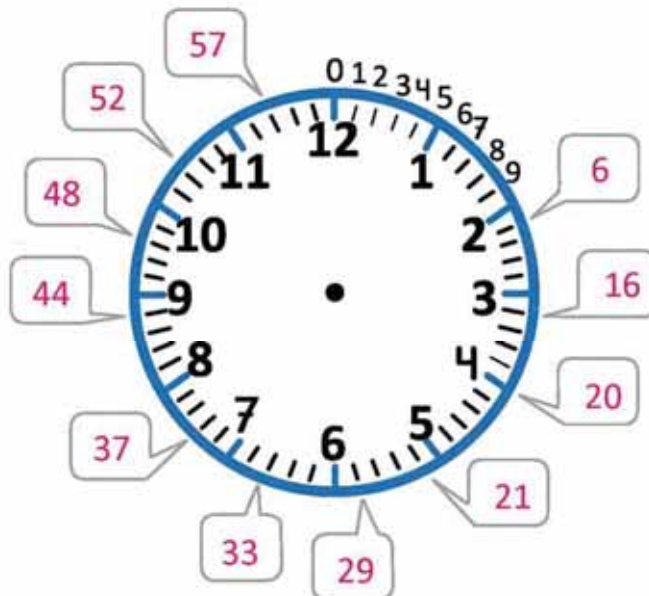
2 時 44 分

b.



2 時 0 分

2. 空欄に当てはまる数字を書きましょう。



家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

5.3 針時計を読み取って、時間と分を書き表しましょう。

**重要なポイント：**この授業では、針時計における分の読み取り方を学びます。この授業も、日々異なる時間で行う一連の活動を挙げるところから始まります。その活動には、○ 時ちょうどに行うものが2つ、そうでないものが2つあります。ここで生徒に求めるのは、短い針を挟んだ数字のうち小さい方が時間を表しているということ、直感的に見い出すことです。長い針が 12 も 6 も指していないため、時間の読み取り方が分からなくなることでしょ。そこが、分の読み取り方を教えるタイミングです。

「理解しよう」には、○ 時ちょうどでも ○ 時半でもない場合の、時間の読み取り手順が明示されています。その手順は、次の通りです。

- 短い針を挟んだ数字のうち小さい方を、時間とする。
- 長い針が 12 から進んだ目盛りの数を、分とする。

時計の針の動きについて重要なのは、長い針の動きに合わせて、短い針も動くということです。例えば、1時4分と1時25分では、短い針の位置は同じではありません。

生徒が間違えやすいのは、針を混同して、長い針が時間を指していると勘違いすることです。よって、授業中はいつも、針とその役割をしっかりと説明しなければなりません。2つの針をサイズで区別して、混同しないようにすることも、大切です。

教材：針時計

日付：

授業：5.3

- Ⓐ a. カルロスが、何時に宿題をしていますか？  
b. 何時に切り絵をしていますか？

- Ⓢ a. 短い針が、1と2の間を指しています。  
長い針が、目盛り4つ分進んでいます。

答え：カルロスは、  
1時4分に宿題を  
しています。

- b. 短い針が、1と2の間を  
指しています。  
長い針が、目盛り25個分  
進んでいます。

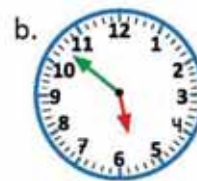
答え：1時25分に切り絵  
をしています。



- Ⓡ 1. 時計の指している時間を書き出しましょう。



6 時 19 分



5 時 52 分

宿題：163 ページ

# レッスン 5

## 5.4 いろんな時間を読み取りましょう

### 考えてみよう

次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



b.



c.



### 答えてみよう



- カルロス
- a. 3時30分です。
  - b. 10時15分です。
  - c. 4時45分です。

### 理解しよう

長い針が3、6、9を指しているとき、他にも時間の言い表し方があります。

- 3時30分 → 3時半
- 10時15分 → 10時15分後
- 4時45分 → 5時15分前、または、5時15分前

### 解いてみよう

次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



12時15分前

b.



12時半

c.



4時15分後

### 家で解いてみよう

次の時計の指す時間を書き出しましょう。

a.



9時半

b.



8時15分後

c.



5時15分前

**達成の目安：**

5.4 時間を読み書きして、「15 分前」、「15 分後」、「半」と表現しましょう。

**重要なポイント：**この授業では、針時計の長い針が 3、6、9 を指しているケースに限定して、時間の読み取りをします。本課の 2 時限目では ○ 時半という表現を学びましたので、これが ○ 時 30 分に等しいことが分かるでしょう。同様に、○ 時 15 分と △ 時 45 分にも取り組み、それぞれ ○ 時 15 分後、○ 時 15 分前という表現を身に付けます。

「解いてみよう」で生徒に求めるのは、こうした表現を使い、分を書き出さないようにすることです。ただし、分の数字で答えを出したとしても、不正解ではありません。問いでは、解答表記を指定していないからです。この場合、15 分後、15 分前、半といった表現を教えてください。

非常に間違いやすいケースとしては、長い針が 9 を指しているとき、短い針を挟んだ 2 つの数字のうち、大きい方を時間の数字として書き出さなければならない場合が挙げられます。例えば、「考えてみよう」の c. は 4 時 45 分ですが、15 分前という表現を用いる場合は、5 を使って、5 時 15 分前としなければなりません。この場合、次の時間になるまでに何分足りないか、と表現しても構いません。

**教材：**針時計。

**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：**5.4

**(A)** 次の時計の指す時間を書き出しましょう。

- (S)** a. 3 時 30 分です。  
b. 10 時 15 分です。  
c. 4 時 45 分です。

他の表現もあります。

- a. 3 時半  
b. 10 時 15 分後  
c. 5 時 15 分前

**(R)** 時計の指している時間を書き出しましょう。

a.



12 時 15 分前

b.



12 時半

c. 4 時 15 分後

**宿題：**164 ページ











# ユニット11

学んだことを応用してみましょう。

## 1 このユニットのねらい

- 2から10までの数を使って数を数えます。ある数ごとにとびながら数え、その数を繰り返して足すたし算をしていきます。使う数は100までの数だけです。

## 2 学習の流れと範囲

### 1学年

#### ユニット4：20までの数を理解しましょう。

- 11から20までの数を理解しましょう。
- 数を順番に並べて数直線上に表しましょう。
- とび数えをしましょう。

#### ユニット11：学んだことを 応用してみましょう。

- まとまりごとに数えましょう。
- 同じ数を何回も足してみましょう。
- たし算とひき算を練習しましょう。

### 2学年

#### ユニット5：かけ算を始めましょう。

- かけ算を理解しましょう。
- 2、3、4、5の段の九九を理解しましょう。

#### ユニット7：かけ算を続けましょう。

- 1、6、7、8、9、10の段の九九を理解しましょう。
- かけ算を使いましょう。

3 このユニットの構成

レッスン	授業	タイトル
<b>1</b> まとまりごとに 数えましょう。	1	数えましょう。
	2	2とびで数えましょう。
	3	5とびで数えましょう。
	4	10とびで数えましょう。
	5	学んだことをやってみましょう。
	6	6とびと7とびで数えましょう。
	7	8とびと9とびで数えましょう。
	8	学んだことをやってみましょう。

<b>2</b> 同じ数を何回も 足してみましょう。	1	2を何回も足しましょう。
	2	5を何回も足しましょう。
	3	10を何回も足しましょう。
	4	3または4を何回も足しましょう。
	5	6または7を何回も足しましょう。
	6	8または9を何回も足しましょう。
	7	学んだことをやってみましょう。

レッスン	授業	タイトル
<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</p> <p>たし算とひき算を 練習しましょう。</p>	1	縦書きでたし算をしましょう。
	2	縦書きでひき算をしましょう。
	3	たし算とひき算をしましょう。
	4	ピラミッドでたし算をしましょう。
	5	欠けている数字を書きましょう。
	6	問題を解きましょう。
	7	学んだことをやってみましょう。
	8	学んだことをやってみましょう。
	9	学んだことをやってみましょう。
	1	ユニットテスト
	2	学期テスト
	3	学年末テスト

## 授業総数

24

- + ユニットテスト
- + 学期テスト
- + 学年末テスト

## 4 各レッスンの要点

### レッスン1

#### まとめごとに数えましょう。(全8コマ)

この課では2から10までの数を使って数を数えますが、その際、その数ごとにとびながら数えます。使う数は100までの数だけです。

これは、ユニット4レッスン2の補講になります。このユニット4第2課では、2から5までの数の場合を学習しました。その際、20までの数だけを使いました。

この課では、ある数ごとにとびながら数を数えますが、この数え方で本当に見せたいのは、それぞれの場合の特徴です。例えば、2ごとにとんで数える時、0から始めると、全部の数の終わりに来る数字は、0か、2か、4か、6か、8になります。0から数え始める場合、特徴が最もよく現れるのは、2の場合（すでに述べた通りです）、5の場合（どの数も終わりに0または5が来ます）、10の場合（どの数も終わりに0が来ます）であると言えるでしょう。これらの特徴は、後の段階で、偶数または2、5、10で割り切れる数について学習する際に有益なものとなります。

数ごとにとんで数えることは、前の数に同じ数を足していくことではなく、マス目の数の中で数をとびとびに数えていくということです。

この課では学習を進めるために、第1課の1にあるような、0から100までの数をマス目に書き込んだ大きな表を作成し、黒板に貼っておくことを推奨します。再使用できるように、また、長い間持たせるために、プラスチックか粘着テープで補強しておくといよいでしょう。また、生徒一人一人に方眼紙を用意させ、必要な時に何度でも書き込んだり消したりできるように粘着テープで補強させておくことを推奨します。

### レッスン2

#### 同じ数を何回も足してみましょう。(全7コマ)

この課で学習を進める際、基礎になるのはこのユニットのレッスン1です。同じ数を何回も足すのに、ある数ごとに数えることを応用するからです。

この課で学習を進める際、特に6、7、8、9の時のように、さらに難しくなる場合には、生徒達に0から100までの数を書いた方眼紙を引き続き使わせることもできます。

### レッスン3

#### たし算とひき算を練習しましょう。(全9コマ)

このユニットの最後の課となりますが、99までの数でのたし算とひき算の復習に使います。

前後の設問と関係があつたりなかつたりする様々な設問が出ます。さらに、数のピラミッドを用いる授業が2回あります。このピラミッドには、書かれているそれぞれの数がそのすぐ下にある2つの数を足した値に等しいという特徴があります。2回のうち1回でたし算を、もう1回でひき算を学習させます。数のピラミッドを用いる授業では、生徒達の数学的で論理的な考え方を伸ばすことができます。



# レッスン

# 1

まとめごとに数えましょう。

## 1.1 数えましょう。

### 考えてみよう

次の表は0から始まっています。次の設問に答えましょう。

- 3つの数字ごとに数を数えて緑色の丸で囲みましょう。
- 4つの数字ごとに数を数えて~~X~~をつけましょう。

それぞれどんな特徴がありますか。

<del>0</del>	1	2	<del>3</del>	<del>4</del>	5	6	7	<del>8</del>	9
10	11	<del>12</del>	13	14	15	<del>16</del>	17	<del>18</del>	19
<del>20</del>	21	22	23	<del>24</del>	25	26	27	<del>28</del>	29
30	31	<del>32</del>	33	34	35	<del>36</del>	37	38	39
<del>40</del>	41	42	43	<del>44</del>	45	46	47	<del>48</del>	49
50	51	<del>52</del>	53	<del>54</del>	55	<del>56</del>	57	58	59
<del>60</del>	61	62	63	<del>64</del>	65	66	67	<del>68</del>	69
70	71	<del>72</del>	73	74	75	<del>76</del>	77	78	79
<del>80</del>	81	82	83	<del>84</del>	85	86	87	<del>88</del>	89
90	91	<del>92</del>	93	94	95	<del>96</del>	97	98	99
<del>100</del>									

### 答えてみよう



アントニオ

a. 3とびの数は次の通りです。

0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30, 33, 36, 39, 42, 45, 48, 51, 54, 57, 60, 63, 66, 69, 72, 75, 78, 81, 84, 87, 90, 93, 96, 99.

b. 4 とびの数は次の通りです。

0, 4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92, 96, 100.

0から数えると、3とびの数字はマス目3つごとに現れ、4 とびの数はマス目4つごとに現れます。

# レッスン

# 1

## 理解しよう

0から100までで、3とびの数は次の通りです。

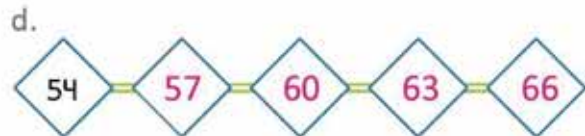
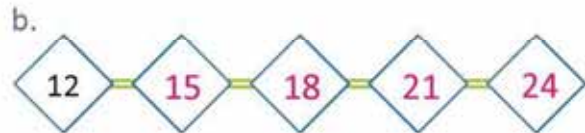
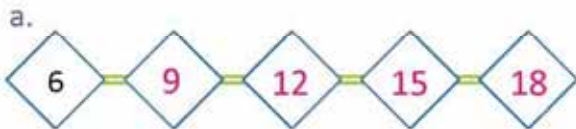
0, 3, 6, 9, 12, 15, 18, 21, 24, 27, 30, 33, 36, 39, 42, 45, 48, 51,  
54, 57, 60, 63, 66, 69, 72, 75, 78, 81, 84, 87, 90, 93, 96, 99.

0から100までで、4 とびの数は次の通りです。

0, 4, 8, 12, 16, 20, 24, 28, 32, 36, 40, 44, 48, 52,  
56, 60, 64, 68, 72, 76, 80, 84, 88, 92, 96, 100.

## 解いてみよう

1. 数字を3とびで書きましょう。

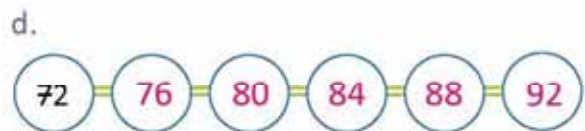
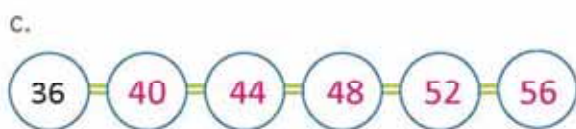
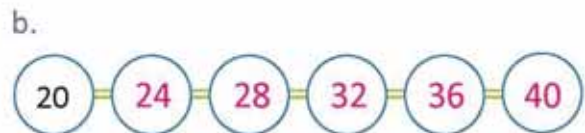
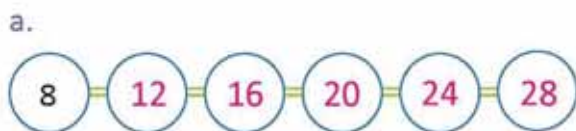


2. 数字を4 とびで書きましょう。

0	4	8	12	16	20	24	28	32	36	40
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----

## 家で解いてみよう

1. 数字を4 とびで書きましょう。



2. 数字を3とびで書きましょう。

0	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42
---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

**達成の目安：**

1.1 マス目に書いた数を補助に使う、3ごとと4ごとに数を数えます。

**重要なポイント：**授業の始めに、生徒達は、0から100までの数を書いた表を使って、0から始めて3ごとと4ごとに数に印をつけていくこととなります。授業が3ごとに数を数えましょうではなく、3ごとに数に目印をつけましょうで始まることに注意しましょう。このプロセスを経ることで、生徒達は、それぞれの場合の特徴について聞いている「分析しましょう」の設問に答えるための手がかりを得ることとなります。

「分析しましょう」のa. からb. のプロセスを経た後、大切なことは、生徒達に大きな声で数えさせて、数え方を覚えさせることです。

設問の部分で3ごとまたは4ごとに数えさせる項目がありますが、どの数で始めようと、このタイプの設問で内容をしっかり把握させることができます。生徒達がそれぞれの数を続けて書いている時に、大きな声で数を言わせることが大切です。ここで生徒達が難しさを感じているようなら、生徒達に「分析しましょう」の表が使えることを示唆しましょう。

**指導案：**ボンド紙または厚紙の用紙を使って「分析しましょう」の表を作成して、数字を書きしておくことを推奨します。長持ちさせるために透明な粘着テープで補強するといいでしょ。ユニット6で、同様のマス目の表を作成しましたが、決まった数字は書いておきませんでした。このユニット6の授業では授業の進展に合わせて表を埋めていくことになっていたからです。この授業では、あらかじめ書いておくことを推奨します。授業に合わせて一定の数字に目印をつけていくことが求められているからです。

また、生徒達に自分の方眼紙を用意させておくといいでしょ。各授業で目印をつけて必要な時に消すことができるように透明な粘着テープで補強させておきます。

**教材：**透明な粘着テープで補強し、0から100までの数字を書いた、マス目の表

**日付：**

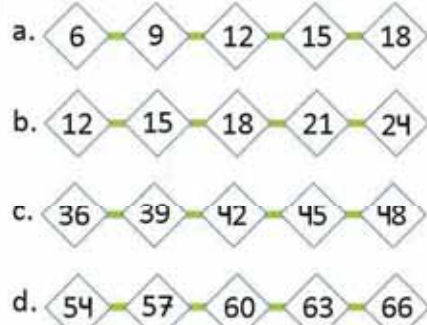
**授業：1.1**

- (A) a. 3つの数字ごとに数を数えて○で囲みましょう。  
b. 4つの数字ごとに数を数えて×をつけましょう。

(S)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

- (R) 1. 数字を3とびで書きましょう。



2. 数字を4とびで書きましょう。

0	4	8	12	16	20	24	28	32	36
---	---	---	----	----	----	----	----	----	----

宿題：167ページ

# レッスン 1

## 1.2 2とびで数えましょう。

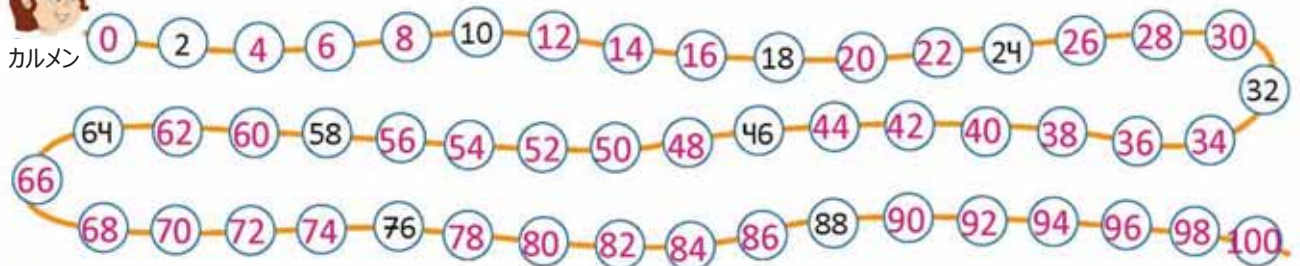
### 考えてみよう

100までの数字を2とびで書きましょう。

### 答えてみよう



表を完成させます。



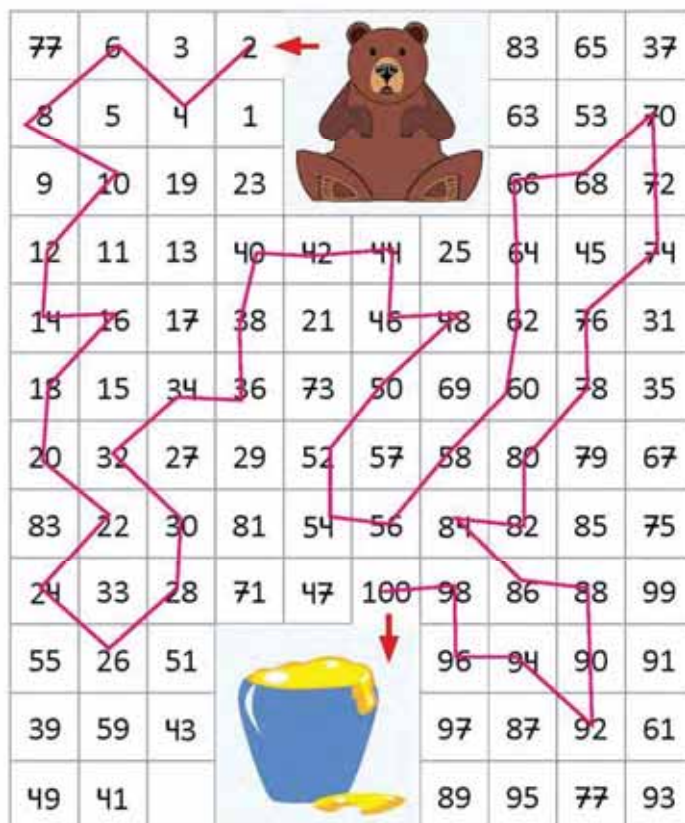
### 理解しよう

0から100までの2とびの数は次の通りです。

0, 2, 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18, 20, 22, 24, 26, 28, 30, 32, 34, 36,  
38, 40, 42, 44, 46, 48, 50, 52, 54, 56, 58, 60, 62, 64, 66, 68, 70,  
72, 74, 76, 78, 80, 82, 84, 86, 88, 90, 92, 94, 96, 98, 100.

### 解いてみよう

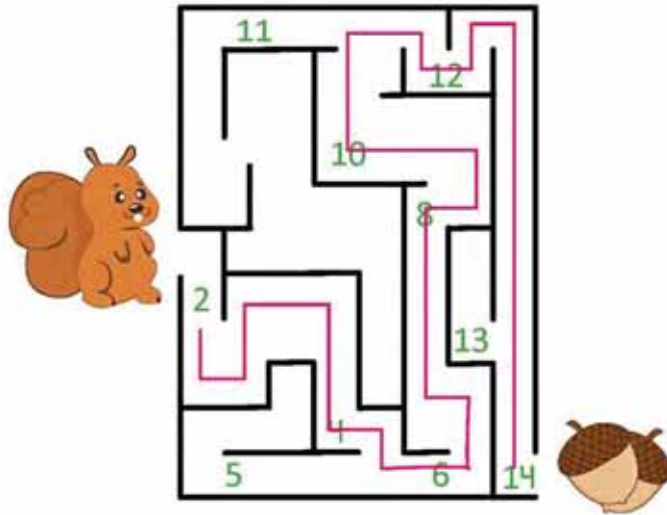
数を2とびでたどって、蜜にたどり着く道を見つけましょう。



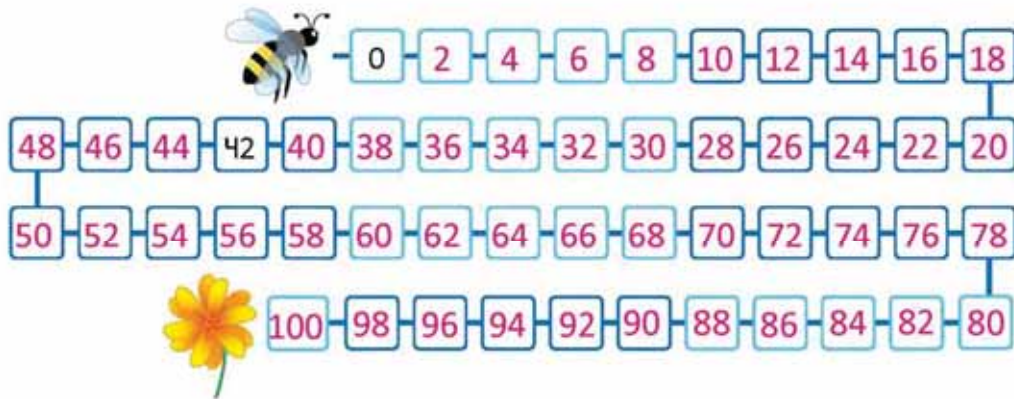
# レッスン 1

## 家で解いてみよう

1. リスがどんぐりにたどり着けるように2とびで数をたどりましょう。



2. ハチが花にたどり着けるように2とびで数を書きましょう。



3. 数字を2とびで書きましょう。

- a. (2) (4) (6) (8)
- c. (32) (34) (36) (38)
- e. (52) (54) (56) (58)
- g. (76) (78) (80) (82)

- b. (12) (14) (16) (18)
- d. (48) (50) (52) (54)
- f. (24) (26) (28) (30)
- h. (92) (94) (96) (98)

**達成の目安：**

1.2 0から100までの数を2とびで数えます。

**ねらい：** 0から100までの数を2とびで数えさせ、2を繰り返して足すことに役立てます。

**重要なポイント：** ユニット4で、0から20までの数を2とびで数える授業を1回行いました。この授業では同じ数え方で100まで数えます。もし生徒達が「分析しよう」の設問を解くのが難しいようなら、前の授業で使った表を使うように指示してもよいでしょう。

生徒達に書いている数字を大きな声で読み上げさせることが大切であることに、ここであらためて注意しましょう。こうすると数の連続をよりよく覚えられるからです。0から数えた時の2ごとの数字の特徴が数字のすべてが0か、2か、4か、6か、8のいずれかで終わることにさらに注意させます。この特徴で後に偶数を覚えることができます。

「解いてみよう」の設問の目的は、確実に2ごとに数えさせることです。生徒達は、クマから出ている矢印から道に目印をつけていて、2ごとの数字をたどらなければなりません。正しい道に目印をつけているか、また、大きな声で読み上げているかを確認します。

「家で解いてみよう」の設問の1. では、2ごとの数字を通過して道をたどりながら迷路を完成させなければなりません。3. では、2ごとに数を数えますが、始まりの数字が決まっているわけではありません。

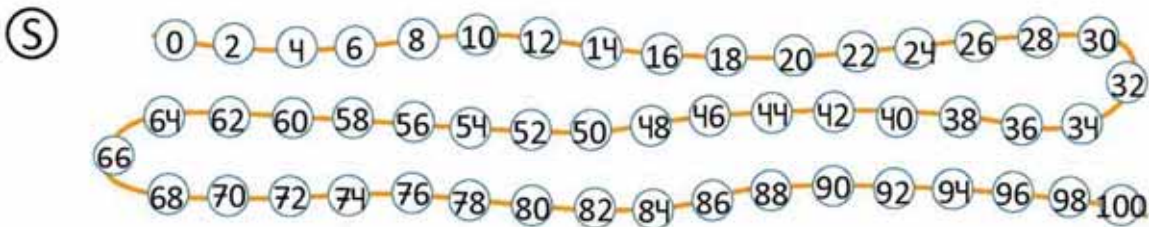
**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：** 1.2

(A) 100までの数字を2とびで書きましょう。



(R) 数を2とびでたどって、蜜にたどり着く道を見つけましょう。

**宿題：** 168ページ

# レッスン 1

## 1.3 5とびで数えましょう。

### 考えてみよう

数字を5とびで書きましょう。

### 答えてみよう

表を完成させます。



カルロス



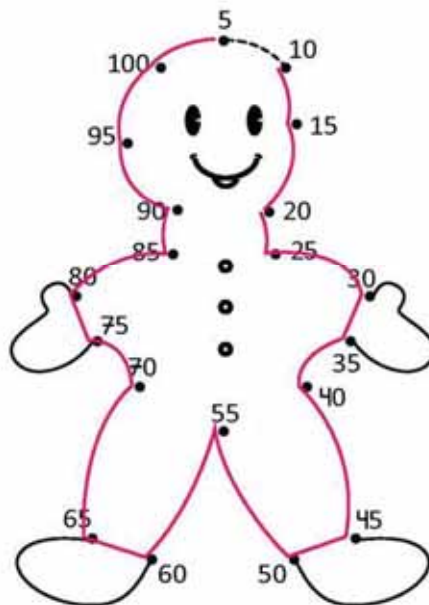
### 理解しよう

0から100までの5とびの数は次の通りです。

0, 5, 10, 15, 20, 25, 30, 35, 40, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100.

### 解いてみよう

1. 5とびで数を数えながら点を結びましょう。



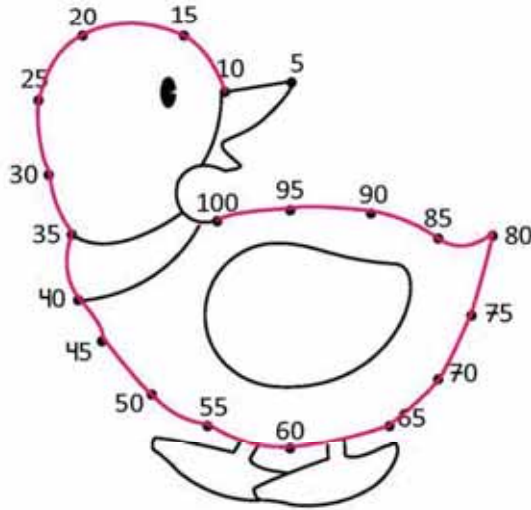
2. 数字を5とびで書きましょう。





# レッスン 1

## 家で解いてみよう

1. 5とびで数を数えながら点を結びましょう。



2. 数を5とびでたどって、チーズにたどり着く道を見つけましょう。

			5	2	9	24	46	26	30
			6	10	4	23	22	27	28
			1	12	25	3	11	18	29
49	48	47	25	20	8	19	13	31	32
62	35	30	21	14	7	16	17	34	33
53	40	61	44	43	42	41	85	51	36
54	45	63	89	52	75	80	39	90	37
50	57	58	88	70	86	93	95	97	98
64	55	60	65	84	56	94	96	100	99
87	83	59	82	81	78	77			
66	67	91	71	38	79	76			
	68	69	72	73	74	92			



**達成の目安：**

1.3 0から100までの数を5とびで数えます。

**ねらい：** 0から100までの数を5とびで数えさせ、5を繰り返して足すことに役立てます。

**重要なポイント：** ユニット4で、0から20までの数を5とびで数える授業を1回行いました。この授業では同じ数え方で100まで数えます。

この授業では、0から数え始めることになること、また、0から100までの数を完全に書いた表がないことに注意します。つまり、生徒達は、数を全部書いていかねばならないこととなりますが、それがどの数なのかを認識するのに、0から100までの数を書いておいた別の表を使うこともできます。数を書いている間、生徒達に大きな声でその数を読み上げさせることが大切です。これが覚える助けになります。また、すべての数字を書き終わったら、全員でその数を大きな声で読み上げさせることを推奨します。

0から始めて5とびで数える場合に目にするのできる重要な特徴は、すべて終わりに来る数字が0または5になることです。この特徴は、後の段階で5で割り切れる数の法則を把握する際に有用なものとなります。

「解いてみよう」の設定の1. では、5とびで数を数えながら点を順番どおりにつないで絵を描かねばなりません。一方、2. では、5とびの数を書かねばなりません。したがって難度が高くなります。

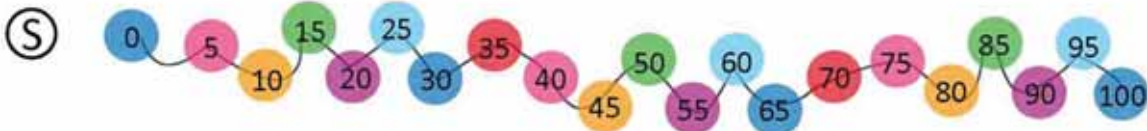
**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----

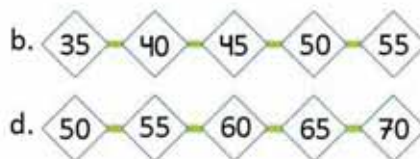
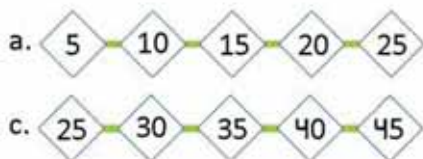
**日付：**

**授業：1.3**

(A) 数字を5とびで書きましょう。



(R) 2. 数字を5とびで書きましょう。



**宿題：171ページ**

# レッスン 1

## 1.4 10とびで数えましょう。

### 考えてみよう

0から始めて数を数えて、10ごとの数字に色をつけましょう。  
どんな特徴がありますか？

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

### 答えてみよう



色をつけたすべての数字が0で終わっています。

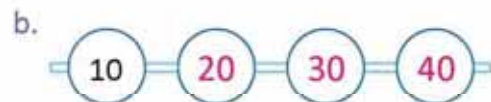
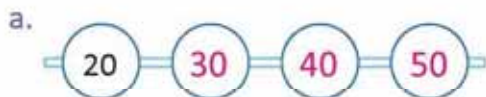
アントニオ

### 理解しよう

0から100までの10とびの数は次の通りです。0, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100.

### 解いてみよう

1. 数字を10とびで書きましょう。



# レッスン 1

2. 数字を10とびで書きましょう。

a. 40から100。

40, 50, 60, 70, 80, 90, 100.

b. 100から0。

100, 90, 80, 70, 60, 50, 40, 30, 20, 10, 0.

## 家で解いてみよう

1. 100までの数字を10とびで書きましょう。

0, 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100.

2. 数字を10とびで書きましょう。

a. 100から10。

100, 90, 80, 70, 60, 50, 40, 30, 20, 10.

b. 10から50。

10, 20, 30, 40, 50.

c. 30から80。

30, 40, 50, 60, 70, 80.

d. 20から70。

20, 30, 40, 50, 60, 70.

家族のサイン : \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

1.4 0から100までの数を10とびで数えます。

**ねらい：** 0から100までの数を10とびで数えます。これは、10を繰り返して足すたし算をする基礎になります。

**重要なポイント：** この授業では、0から100までの数を書いたマス目表が提示されます。この表の10ごとの数に色をつけていかねばならないこととなります。「分析しましょう」の設問に対する答えですが、第一の欄がすべて色付きになること、すべての数字の一の位が0になること、10ごとの数はマス目を10個いくごとに現れることが挙げられます。上記の特徴はすべて重要ですが、最も重要なのは2番目の特徴です。つまり、すべての数字が0で終わることです。このことは、10で割り切れる数または10の累乗である数を覚えるのに有用ですので最も重要なのです。

「解いてみよう」の項では、最初の設問で、0で始まらないという難しさの中で、10とびの数を完成させなければなりません。しかしながら、「考えてみよう」の表を補助に使うことができます。設問2. では、10とびの数を列記することになりますが、特別な数で始まっています。設問1. に似ていますが、この場合、始めの数が列記されている数の中に書かれていませんし、数をいくつ書けばいいのか分かりません。設問2b. では、数を後の数から前の数へと書いていかねばなりません。100で始まり0で終わります。したがって、難度が高くなると言えるでしょう。

**教材：** 透明な粘着テープで補強し、0から100までの数字を書いた、マス目の表

**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：** 1.4

**(A)** 0から始めて数を数えて、10ごとの数字に色をつけましょう。どんな特徴がありますか？

**(S)**

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100	色をつけたすべての数字が0で終わっています。								

**(R)** 1.数字を10とびで書きましょう。

- a. 20 30 40 50
- b. 10 20 30 40
- c. 50 60 70 80
- d. 60 70 80 90

2a. 40, 50, 60, 70, 80, 90, 100.

2b. 100, 90, 80, 70, 60, 50, 40, 30, 20, 10, 0.

**宿題：** 173 ページ

### 達成の目安：

1.5 2から5までの数と10で数を数えますが、その際、その数ごとにとびながら数えます。使う数は100までの数だけです。これに関する問題を解きます。

## 1.5 学んだことをやってみましょう。

1. 次の表は0から始まっています。次の設問に答えましょう。

a. 5つの数字ごとに数を数えて青い色の丸で囲みましょう。

b. 3つの数字ごとに数を数えて

✕をつけましょう。

数を大きな声で読みましょう。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

2. 書き入れましょう。

a. 3とびの数。



b. 4とびの数。



c. 10とびの数。



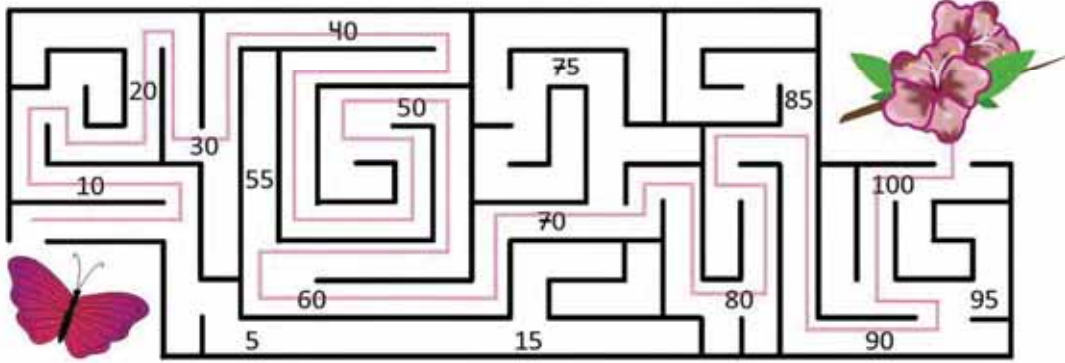
d. 2とびの数。



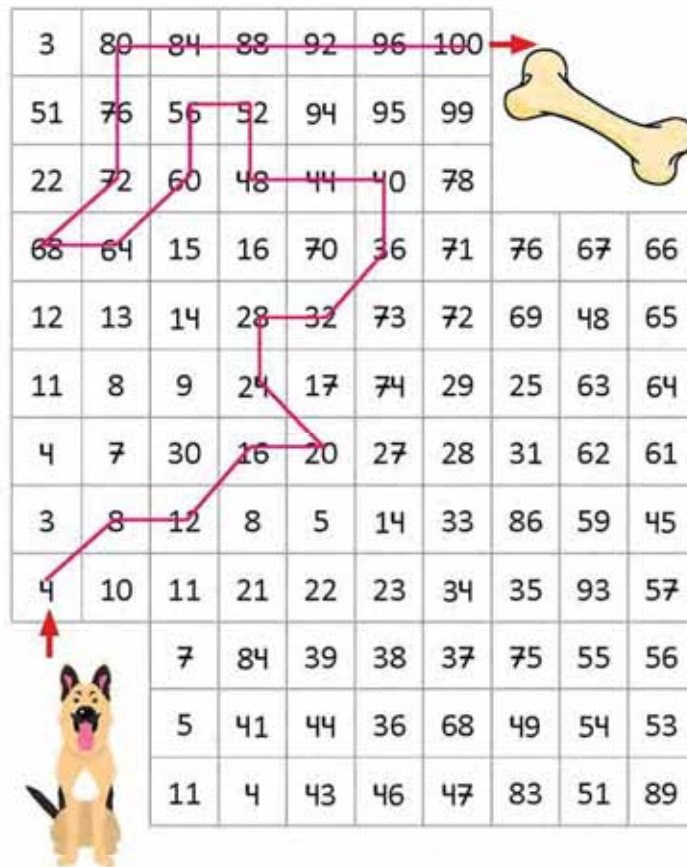
# レッスン 1

## 家で解いてみよう

1. 10とびで数を数えて、蝶が花にたどり着くのを助けましょう。



2. 4とびで数を数えて、犬が骨にたどり着くのを助けましょう。

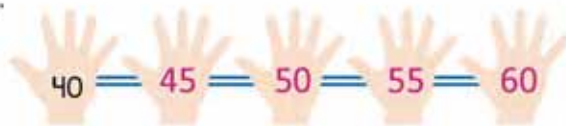


3. 数字を5とびで書きましょう。

a.



b.



# レッスン

# 1

## 1.6とびと7とびで数えましょう。

### 考えてみよう

1.6つの数字ごとに数を数えて囲みましょう。

2.7つの数字ごとに数を数えて囲みましょう。

### 答えてみよう



アントニオ

1.

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

2.

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

### 理解しよう

0から100までの6とびの数は次の通りです。

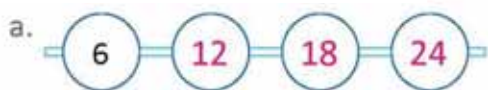
0, 6, 12, 18, 24, 30, 36, 42, 48, 54, 60, 66, 72, 78, 84, 90, 96.

0から100までの7とびの数は次の通りです。

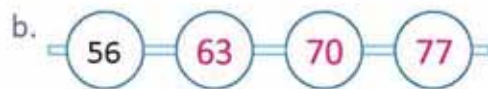
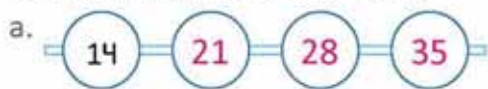
0, 7, 14, 21, 28, 35, 42, 49, 56, 63, 70, 77, 84, 91, 98.

### 解いてみよう

1.数字を6とびで書きましょう。



2.数字を7とびで書きましょう。

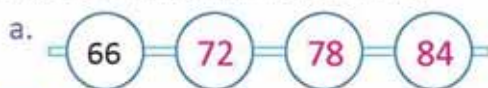


### 家で解いてみよう

1.数字を7とびで書きましょう。



2.数字を6とびで書きましょう。



**達成の目安：**

1.6 0から100までの数を6とびと7とびで数えます。

**ねらい：** 0から100までの数を6とびと7とびで数えさせ、6や7を繰り返して足すたし算をする際に役立てます。

**重要なポイント：** この授業では、0から100までの数を書いた表を2つ提示して、一方の表では6ごとの数字を囲ませ、もう一方では7ごとの数字を囲ませます。この表で6とびと7とびで数を数えさせます。この場合の難度は高くなります。数が都度大きくなるからです。したがって、どのようにして問題を解いているかをこれまでより注意して確認することを推奨します。また、数字に印をつける時は鉛筆を使わせるとよいでしょう。間違えた時に簡単に消せるからです。

設問を解かせる時、生徒達に0から100までの数字を書いた表を手元に用意させておいて自ら調べさせることもできます。また、数を完成させていくごとに、いつも数を大きな声で読ませるとよいでしょう。

**教材：** 透明な粘着テープで補強し、0から100までの数字を書いた、マス目の表

**メモ：**

---



---



---



---



---



---



---

**日付：**

**授業：1.6**

**(A)** 1. 6つの数字ごとに数を数えて囲みましょう。2. 7つの数字ごとに数を数えて囲みましょう。 **(R)**

**(S)**

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

- 1a. 6, 12, 18, 24  
 1b. 36, 42, 48, 54  
 2a. 14, 21, 28, 35  
 2b. 56, 63, 70, 77

**宿題：** 176 ページ



# レッスン 1

## 1.7 8とびと9とびで数えましょう。

### 考えてみよう

- 8とびで数えて、数えたところにある数に印をつけましょう。
- 9とびで数えて、数えたところにある数に印をつけましょう。

### 答えてみよう

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

①

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									



ベアトリス

### 理解しよう

0から100までの8とびの数は次の通りです。

0, 8, 16, 24, 32, 40, 48, 56, 64, 72, 80, 88, 96.

0から100までの9とびの数は次の通りです。

0, 9, 18, 27, 36, 45, 54, 63, 72, 81, 90, 99.

### 解いてみよう

- 数字を8とびで書きましょう。



- 数字を9とびで書きましょう。



### 家で解いてみよう

- 数字を9とびで書きましょう。



- 数字を8とびで書きましょう。



家族のサイン： \_\_\_\_\_

## 達成の目安：

1.7 0から100までの数を8とびと9とびで数えます。

**ねらい：**100までの数を8とびと9とびで数えさせ、8や9を繰り返して足すたし算をする際に役立てます。

**重要なポイント：**この授業では、始めに0から100までを書いた2つの表を提示し、一方の表では8ごとに数字に印をつけさせ、もう一方では9ごとに数字に印をつけさせます。生徒達に印をつける時に大きな声で数を読ませ、最後にすべての数字に印をつけた時に繰り返し読ませることをここであらためて推奨します。

①では、印をつけた数がどのようになっているかに注意させるといいでしょう。0の位置、99の位置、そして残りの数が同じ対角線上にあることに注意させます。生徒達は、この特徴を掴むと、9とびで数えずに残りの数に印をつけていくことができます。

設問を解く際、生徒達は「答えてみよう」で完成させた表を補助に使うことができます。

**教材：**透明な粘着テープで補強し、0から100までの数字を書いた、マス目の表

**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：**1.7

**(A)** 1. 8とびで数えて、数えたところにある数に印をつけましょう。

2. 9とびで数えて、数えたところにある数に印をつけましょう。

**(S)**

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99
100									

**(R)**

1. 8, 16, 24, 32,  
40, 48, 56

2. 18, 27, 36, 45,  
54, 63, 72

**宿題：**177 ページ

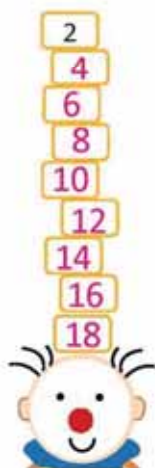
**達成の目安：**

1.8 2から10までの数で数を数えますが、その際、その数ごとにとびながら数えます。使う数は100までの数だけです。これに関する問題を解きます。

**1.8 学んだことをやってみましょう。**

1. 数を書きましょう。

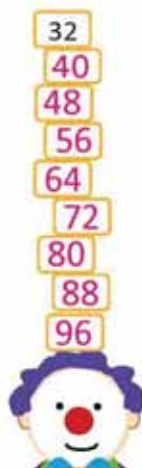
a. 2とびで



b. 6とびで



c. 8とびで



d. 5とびで



2. 数字を7とびで書きましょう。



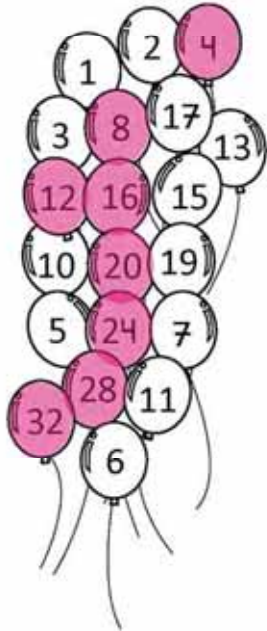
3. ハチは9とびの数を結んで飛びます。巣にたどり着く手助けをしましょう。

			1	2	3	24	49	26	31
			10	51	4	23	22	33	28
			11	8	5	20	21	59	29
			12	7	6	19	85	31	32
			50	18	46	36	14	92	16
			53	52	45	44	79	42	41
			37	55	56	54	73	91	67
			66	89	53	88	25	86	93
			64	61	58	72	84	30	94
			65	13	43	82	81	78	77
			57	83	70	71	80	90	76
			81	68	69	87	62	74	99

## 家で解いてみよう

1. 数字に色をつけましょう。

a. 4とびで数えた数字に



b. 6とびで数えた数字に



1b. では、6が2つあります。生徒達はどちらの6に色をつけても構いません。

c. 10とびで数えた数字に



2. フリアはホセがいるところに行きます。3とびに数えていくことにします。道になるように印をつけましょう。

12	85	8	3				63	78	45
13	10	14	5				62	43	46
75	21	9	5				41	40	47
92	20	12	15	1	36	37	32	39	48
22	19	35	18	21	24	58	57	50	80
23	30	31	42	49	27	59	93	51	52
24	29	15	87	86	30	33	36	54	53
25	26	27	88	83	11	70	39	65	66
94	60	90	89	82	81	33	42	84	67
95	17	74				79	45	48	68
9	99	100				63	60	51	69
97	61	69				73	57	54	18

# レッスン

# 2

同じ数を何回も足しましょう。

## 2.1 2を何回も足しましょう。

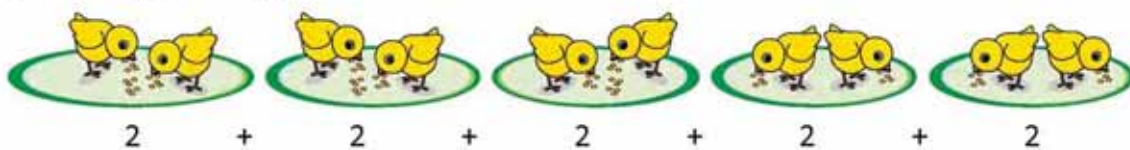
### 復習しよう

数字を2とびで書きましょう。



### 考えてみよう

ひよこは何羽いるでしょうか？



### 答えてみよう

2とびで足していきます。



カルメン

$$2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 10$$

答え：10羽

### 理解しよう

2を何回も足すということは、2とびで数えるということです。

### 解いてみよう

1. 和を求めましょう。

a.  $2 + 2 = 4$

b.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 10$

c.  $2 + 2 + 2 + 2 = 8$

d.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 12$

e.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 20$


f.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 14$

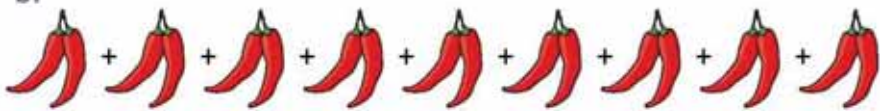
g.  $2 + 2 + 2 = 6$

h.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 18$

i.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 16$

2.2を何回も足して和を求めましょう。

a.  = 26

b.  = 18

## 家で解いてみよう

1.和を求めましょう。

a.  $2 + 2 + 2 + 2 = 8$

b.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 24$

c.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 12$

d.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 16$


e.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 20$

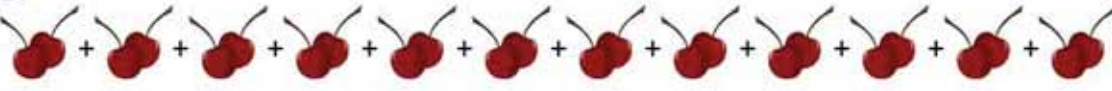
f.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 20$


g.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 10$

h.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 28$

2.2を何回も足して和を求めましょう。

a.  = 18

b.  = 24

c.  = 12

## 達成の目安：

2.1 2とびで数を数えながら、2を何回も足すたし算をします。使う数は100までの数だけです。

**ねらい：**2とびで数を数えながら、2を何回も足すたし算をします。かけ算を同じ数を続けて足すたし算に結びつけるのに役立ちます。

**重要なポイント：**この授業では、2を何回も足すたし算をします。この時、2とびで数えることが基本となります。このため、それを示すタイプの設定問を始めに提示して、この数え方を思い出させます。次に2羽のひよこの組をいくつか見せます。ここで、全部で何羽のひよこがいるかを計算させます。生徒達が求められている答えを出すよう計算する時に、1つずつ数えるのではなく、2とびで数えるようにすることがこの部分の主題となっていることに注意しましょう。設定問の本当の目的は、1つずつ数えるよりも2とびで数えた方が簡単で効率的であることを生徒達に認識させ理解させることにあります。

設定問を解く際、生徒達は「考えてみよう」の設定問を解く時に数えたように数えていくことができます。足す回数が増えていくごとに数も大きくなっていきます。例えば、「解いてみよう」の1e. は、次のようになります。

$$\begin{array}{cccccccccccccccc} 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & = & 20 \\ & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright \\ & & 2 & & 4 & & 6 & & 8 & & 10 & & 12 & & 14 & & 16 & & 18 & & 20 & & & & \end{array}$$

メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

日付：

授業：2.1

Ⓡ 数字を2とびで書きましょう。

2 4 6 8 10 12 14 16 18 20

Ⓐ ひよこは何羽いるでしょうか？

Ⓢ 2とびで足していきます。

$$\begin{array}{cccccccc} 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & + & 2 & = & 10 \\ & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \curvearrowright & & \\ & & 2 & & 4 & & 6 & & 8 & & 10 \end{array}$$

答え：10羽のひよこ。

Ⓡ 1.和を求めましょう。

a.  $2 + 2 = \boxed{4}$

b.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 = \boxed{10}$

c.  $2 + 2 + 2 + 2 = \boxed{8}$

d.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = \boxed{12}$

e. 20      f. 14      g. 6

h. 18      i. 16

2a. 26

2b. 18

宿題：181ページ

# レッスン 2

## 2.2 5を何回も足しましょう。

### 復習しよう

数字を5とびで書きましょう。



### 考えてみよう

全部で指は何本ありますか？

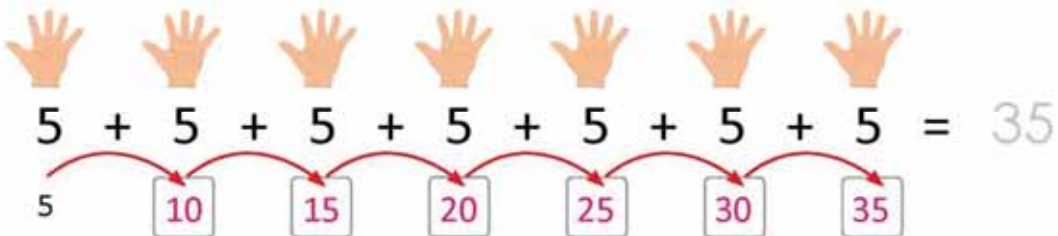


### 答えてみよう

5とびで足していきます。



カルロス



答え： 35 本

### 理解しよう

5を何回も足すということは、5とびで数えるということです。

### 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $5 + 5 + 5 + 5 = 20$

b.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 45$

c.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 70$

d.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 35$

### 家で解いてみよう

1. 和を求めましょう。

a.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 45$

b.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 50$

c.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 80$

2. 全部で指は何本ありますか？

$50 = 50$

家族のサイン： \_\_\_\_\_



## 達成の目安：

2.2 5とびで数を数えながら、5を何回も足すたし算をします。使う数は100までの数だけです。

**ねらい：**5とびで数を数えながら、5を何回も足すたし算をします。かけ算を同じ数を続けて足すたし算に結びつけるのに役立ちます。

**重要なポイント：**この授業は前の授業と同様で、5とびで数えさせる設問を始めに提示します。このような数え方を思い出させるためです。さらに、「分析しましょう」の設問を解くための手がかりを示します。前の授業の基本を生徒達が理解しているなら、この授業はやりやすくなります。1つずつ数えるよりも5とびで数える方がいいことを生徒達がすでに分かっているからです。

設問を解く時、生徒達は、提示されたたし算を計算するために5とびの数をメモしながら、前の授業で習ったように数えていけるでしょう。このことにあらためて注意しましょう。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 日付：

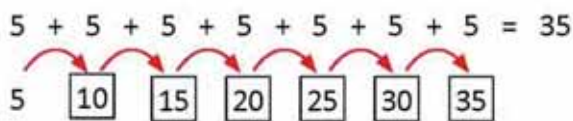
## 授業：2.2

Ⓡe 数字を5とびで書きましょう。



Ⓐ 全部で指は何本ありますか？

Ⓢ 5とびで足していきます。



答え：35本の指。

Ⓡ 和を求めましょう。

a.  $5 + 5 + 5 + 5 = \boxed{20}$

b.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = \boxed{45}$

c. 70

d. 35

宿題：182ページ

# レッスン 2

## 2.3 10を何回も足しましょう。

### 復習しよう

10とびで数えて、当てはまる数を書き入れましょう。



### 考えてみよう

色は全部で何色ありますか？



### 答えてみよう

10とびで足していきます。



$$10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 = 60$$

10 20 30 40 50 60

答え： 60 色。

### 理解しよう

10を何回も足すということは、10とびで数えるということです。

### 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 =$

b.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 =$

c.  $10 + 10 + 10 =$

d.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 =$

### 家で解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $10 + 10 + 10 + 10 =$

b.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 =$

c.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 =$

d.  $10 + 10 =$

家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

2.3 10とびで数を数えながら、10を何回も足すたし算をします。使う数は100までの数だけです。

**ねらい：** 10とびで数を数えながら、10を何回も足すたし算をします。

**重要なポイント：** 前の授業と同じように授業を行います。今回用いる数は10です。たし算は100になるまで行うことができることになっているので、10回を超えてたし算をすることはできません。

1ずつ数えるよりも10とびで数えて足す方が効率がいいことを示すことがこの部分の主題となっていることに、ここであらためて注意しましょう。

**メモ：**

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

**日付：**

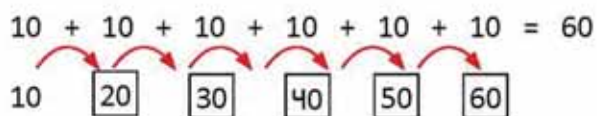
**授業：2.3**

⑩ 10とびで数えて、当てはまる数を書き入れましょう。

10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

① 色は全部で何色ありますか？

② 10とびで足していきます。



答え：60色。

③ 和を求めましょう。

a.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 = \boxed{50}$

b.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 = \boxed{70}$

c.  $10 + 10 + 10 = \boxed{30}$

d.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 = \boxed{60}$

宿題：183ページ

# レッスン

# 2

## 2.4 3または4を何回も足しましょう。

### 復習しよう

数えながら色をつけましょう。  
3とびで数えましょう。

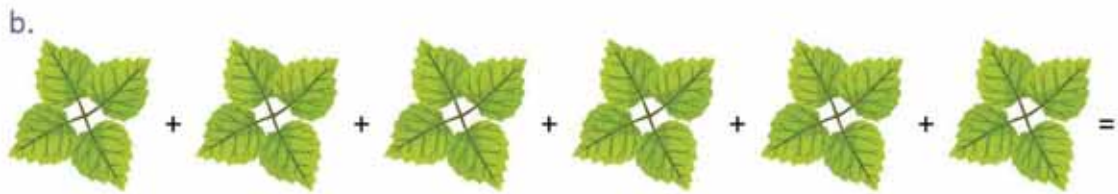
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

4とびで数えましょう。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

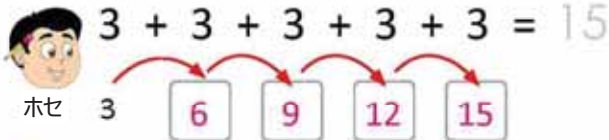
### 考えてみよう

和を求めましょう。

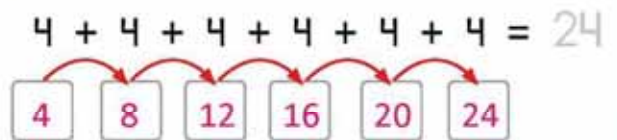


### 答えてみよう

a. 3とびで足していきます。



b. 4とびで足していきます。



### 理解しよう

- 3を何回も足すということは、3とびで数えるということです。
- 4を何回も足すということは、4とびで数えるということです。

### 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $3 + 3 + 3 + 3 = 12$

b.  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 27$

c.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 40$

d.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 24$

### 家で解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 24$

b.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 28$

c.  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 21$

d.  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 15$

**達成の目安：**

2.4 3とびと4とびで数を数えながら、3または4を何回も足すたし算をします。使う数は全部で100までです。

**ねらい：** 3とびと4とびで数を数えさせながら、3または4を何回も足すたし算をさせます。

**重要なポイント：** この授業では、始めの設問で2枚の表を提示し、3とびで数えた場合と4とびで数えた場合の数に色をつけていきます。この設問は、これらの数とびで数える方法を思い出させ、「考えてみよう」の設問を解くことを容易にします。2つの設問を解かせるのに同じ表を使わせることもできますし、表を2枚作って、1枚をいずれかの設問用に使わせることもできます。表には49までの数字しか書いてありませんが、ここで求められていることは、その数とびに数える方法を思い出させることだけです。100まで数字を書くと時間がかかります。このことに注意しましょう。

「考えてみよう」の設問では、トマトの組と葉の組が提示されています。それぞれの組には、トマトが3個、葉が4枚あります。生徒達が3とびと4とびに数えることが望まれます。生徒達は、「復習しよう」の表を補助として使うことができます。

**メモ：**

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

**日付：**

**授業：2.4**

**(Re)** a.3とびに色をつけましょう。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

b.4とびに色をつけましょう。

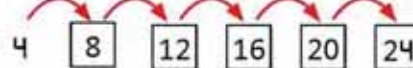
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49

**(A)** トマトと葉の合計を求めましょう。

**(R)** 和を求めましょう。

**(S)**  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 15$

$4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 24$



- a. 12      b. 27
- c. 40      d. 24

宿題：184 ページ

## 2.5 6または7を何回も足しましょう。

### 復習しよう

書き入れましょう。

a. 6とびで数えた数

6	12	18	24	30	36
---	----	----	----	----	----

b. 7とびで数えた数

7	14	21	28	35	42	49	56
---	----	----	----	----	----	----	----

### 考えてみよう

それぞれの答えを求めましょう。

a.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 =$

b.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$

### 答えてみよう

a. 6とびで数えて足していきます。



ホセ

$$6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 = 36$$

6   12   18   24   30   36

b. 7とびで数えて足していきます。

$$7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 = 56$$

7   14   21   28   35   42   49   56

### 理解しよう

- 6を何回も足すということは、6とびで数えるということです。
- 7を何回も足すということは、7とびで数えるということです。

### 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $6 + 6 + 6 + 6 =$  24

b.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 =$  48

c.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$  49

d.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$  63

### 家で解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 =$  36

b.  $7 + 7 + 7 + 7 =$  28

c.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 =$  48

d.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$  42

e.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 =$  30

f.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$  63

家族のサイン： \_\_\_\_\_



# レッスン 2

## 2.6 8または9を何回も足しましょう。

### 復習しよう

書き入れましょう。

a. 8とびで数えた数



b. 9とびで数えた数



### 考えてみよう

それぞれの答えを求めましょう。

a.  $8 + 8 + 8 + 8 =$

b.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 =$

### 答えてみよう

a. 8とびで数えて足していきます。



フリア

$$8 + 8 + 8 + 8 = 32$$

b. 9とびで数えて足していきます。

$$9 + 9 + 9 + 9 + 9 = 45$$

### 理解しよう

- 8を何回も足すということは、8とびで数えるということです。
- 9を何回も足すということは、9とびで数えるということです。

### 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $8 + 8 + 8 + 8 + 8 =$  40

b.  $8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 =$  56

c.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 =$  54

d.  $9 + 9 + 9 =$  27

### 家で解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 =$  64

b.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 =$  63

c.  $8 + 8 + 8 =$  24

d.  $9 + 9 + 9 + 9 =$  36

e.  $8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 =$  48

f.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 =$  72





### 達成の目安：

2.7 2から10までの数を使って、その数を何度も足すたし算に関する問題を解きます。たし算は、その数とびに数えなが  
らします。使う数は100より小さい数が100だけです。

## 2.7 学んだことをやってみましょう。

1. 該当する合計の数と結びましょう。

$3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3$	●	50
$5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5$	●	14
$8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8$	●	18
$4 + 4 + 4$	●	48
$2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2$	●	60
$10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10$	●	36
$6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6$	●	30
$9 + 9 + 9 + 9$	●	16
$7 + 7$	●	12

2. 和を求めましょう。

a.  = 14

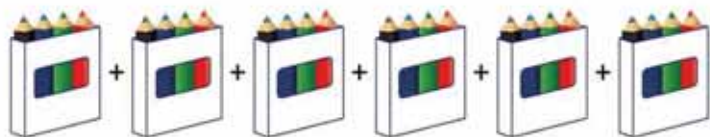
b.  = 15

c.  = 24

3. 全部で指は何本ありますか？

 = 35

4. 色は全部で何色ありますか？

 = 24

## 家で解いてみよう

1. 該当する合計の数と結びましょう。

$3 + 3 + 3$	$28$
$6 + 6 + 6 + 6 + 6$	$64$
$8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8$	$30$
$7 + 7 + 7 + 7$	$18$
$4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4$	$9$
$10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10$	$54$
$2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2$	$28$
$5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5$	$30$
$9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9$	$100$

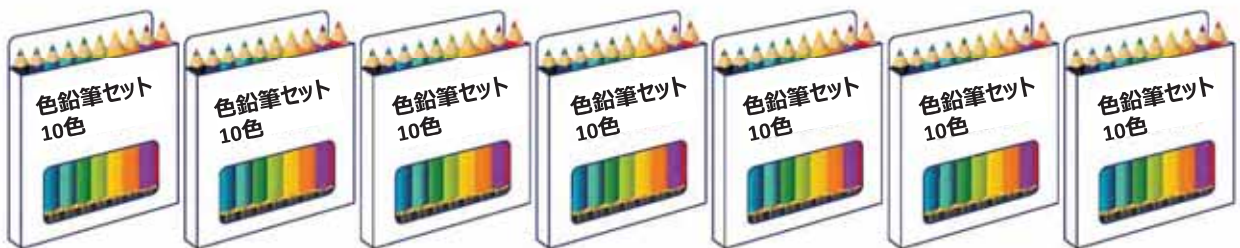
2. 和を求めましょう。

a.  = 24

b.  = 16

c.  = 35

3. 色は全部で何色ありますか? 70



# レッスン

# 3

たし算とひき算を練習しましょう。

## 3.1 縦書きでたし算をしましょう。

### 考えてみよう

公園の入場者は次の通りだったとのことです。

曜日	午前	午後
月曜日	子ども4人	子ども8人
火曜日	子ども10人	子ども3人
水曜日	子ども8人	子ども6人
木曜日	子ども20人	子ども30人
金曜日	子ども30人	子ども25人
土曜日	子ども11人	子ども23人
日曜日	子ども5人	子ども34人



1日に何人の子どもが入場したでしょうか？

### 答えてみよう

1日の子ども的人数を足します。

月曜日

式： $4 + 8$

$4 + 8 = 12$

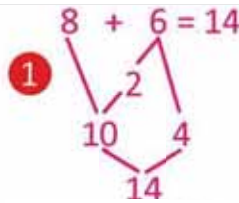
火曜日

式： $10 + 3$

$10 + 3 = 13$

水曜日

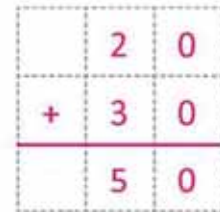
式： $8 + 6$



答え：14人の子ども

木曜日

式： $20 + 30$



答え：50人の子ども

金曜日

式： $30 + 25$



答え：55人の子ども

土曜日

式： $11 + 23$



答え：34人の子ども

日曜日

式： $5 + 34$



答え：39人の子ども



ベアトリス

# レッスン

# 3

## 解いてみよう

カルメンはお祭りで綿あめを売っています。一週間のそれぞれの日にカルメンは綿あめをいくつ売ったでしょうか？



曜日	午前	午後	合計
月曜日	3	5	8
火曜日	10	6	16
水曜日	9	6	15
木曜日	40	20	60
金曜日	18	50	68
土曜日	32	12	44
日曜日	45	3	48

4	0	1	8	3	2	4	5		
+	2	0	+	5	0	+		3	
-----		-----		-----		-----		-----	
6	0	6	8	4	4	4	8		

## 家で解いてみよう

ファンさんはサーカスのチケットを売っています。次のことが分かっています。

曜日	午前	午後	合計
月曜日	7	2	9
火曜日	10	8	18
水曜日	5	8	13
木曜日	70	10	80
金曜日	60	32	92
土曜日	14	43	57
日曜日	7	32	39



1週間のそれぞれの日にチケットをいくつ売ったでしょうか？

7	0	6	0	1	4		7		
+	1	0	+	3	2	+	3	2	
-----		-----		-----		-----		-----	
8	0	9	2	5	7	3	9		

**達成の目安：**

3.1 たし算をして身近な問題を解きます。繰り上げはしません。使う数は99までの数だけです。

**ねらい：** たし算の総復習など、教科書に従ってあらゆるたし算をします。使う数は99までの数だけです。

**重要なポイント：** この授業では、午前と午後に遊園地に入った子どもの人数を書いた表を始めに提示します。1日に何人入場したかを求めます。生徒達は、問題を解くには、1日あたりのたし算をしなければならないこととなります。午前中に入場した子どもと午後に入場した子どもを足さなければなりません。ここですることは復習です。そのためこの授業には「理解しましょう」がないことに注意しましょう。

この授業では、様々なたし算をすることになります。すべて教科書に沿ったものです。さらに、縦書きでたし算をしなければならないところでは、マス目で表記します。縦書きでたし算をする場合、生徒達が正しく数字を並べているか確認することが大切です。記号を書いているか、足す数と結果との間を分ける線を書いているかを確認します。

水曜日のたし算については、①のように、生徒達はユニット5で導入した形式を使うことができます。この形式を使うことで計算をより上手にできるようになりますが、単に計算結果を書き留めているだけという状態になってしまうこともあり得ます。このタイプのたし算をする際に避けたいことは、問題を解くための方法を見つけようとするあまり、指で数えたり、1つずつ数えたりすることです。間違いをしかねないのは、日曜日の場合です。1桁の数を2桁の数に足すわけですが、縦書きでこのたし算をする時に1桁の数を十の位に書いてしまうことがあり得るのです。

「解いてみよう」と「家で解いてみよう」は、授業で扱う設問と同じ構造になっていて、縦書きの計算のために表を提示しています。全部の表を使うことができますし、生徒達が必要だと思う方を使うこともできます。

**日付：**

**授業：3.1**

Ⓐ 1日に何人の子どもが入場したでしょうか？

Ⓔ 1日の子どもの人数を足します。

月曜日 式：4 + 8 答え：12人の子ども	火曜日 式：10 + 3 答え：13人の子ども	水曜日 式：8 + 6 答え：14人の子ども	木曜日 式：20 + 30 答え：50人の子ども
------------------------------	-------------------------------	------------------------------	--------------------------------

金曜日 式：30 + 25 答え：55人の子ども	土曜日 式：11 + 23 答え：34人の子ども	日曜日 式：5 + 34 答え：39人の子ども
--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------

3	0	1	1	5
+	2	2	3	3
5		3		9

Ⓕ 一週間のそれぞれの日にカルメンは綿あめをいくつ売ったでしょうか？

曜日	午前	午後	合計
月曜日	3	5	8
火曜日	10	6	16
水曜日	9	6	15
木曜日	40	20	60
金曜日	18	50	68
土曜日	32	12	44
日曜日	45	3	48

**宿題：** 190ページ

# レッスン

# 3

## 3.2 縦書きでひき算をしましょう。

### 考えてみよう

子馬に乗るために9人の子どもが列に並んでいます。ホセが5番目に並んでいるとします。何人の子どもがホセの後ろにいるでしょうか？

### 答えてみよう

丸の図を用います。

① 丸1つが子ども1人を表わします。



② 計算式を書きます： $9 - 5$

③ 答えを計算します。  $9 - 5 = 4$

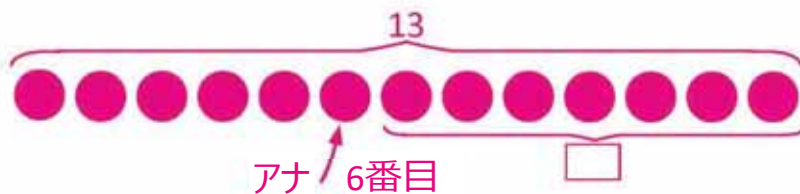
答え：4人

### 理解しよう

順序数のひき算をするには、丸の図を使うことができます。

### 解いてみよう

1. 料理したトウモロコシを買うために13人の人が列に並んでいます。アナは6番目にいます。アナの後ろには何人いるでしょうか？



式： $13 - 6$

$$13 - 6 = 7$$

答え：7人

2. フリアは、保存用ココナッツが入った袋を40袋と、保存用ナンセが入った袋を10袋を持っています。保存用ココナッツの袋は、保存用ナンセの袋より、何袋多いでしょうか？

式： $40 - 10$

$$40 - 10 = 30$$

答え：30袋

3. お祭りに97人の子どもが来て、いろいろな遊具に乗ります。

a. 子馬には24人の子どもが乗ります。何人の子どもが残りますか？

式：97 - 24

	9	7
-	2	4
<hr/>		
	7	3

答え：73 人

b. コーヒーカップに30人の子どもが乗っています。何人の子どもが残っていますか？

式：73 - 30

	7	3
-	3	0
<hr/>		
	4	3

答え：43 人

## 家で解いてみよう

1. フリアは72セント持っています。バナナトーストを1枚50セントで買うとすると、何セント残りますか？

式：72 - 50

	7	2
-	5	0
<hr/>		
	2	2

答え：22 セント

2. アントニオは95セント持っています。ビスケットを1枚23セントで買うとすると、何セント残りますか？

式：95 - 23

	9	5
-	2	3
<hr/>		
	7	2

答え：72 セント





# レッスン

# 3

## 3.3 たし算とひき算をしましょう

### 考えてみよう

次の問題を解きましょう。

a.  $12 + 7 - 5 = 14$

b.  $18 - 9 + 1 = 10$

### 答えてみよう

a.  $12 + 7 - 5$ を計算するには、

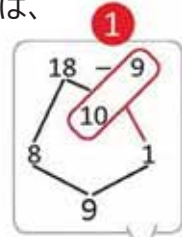


カルロス



つまり、 $12 + 7 - 5 = 14$ になります。

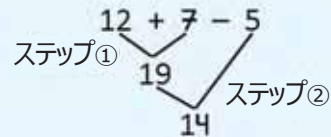
b.  $18 - 9 + 1$ を計算するには、



つまり、 $18 - 9 + 1 = 10$ になります。

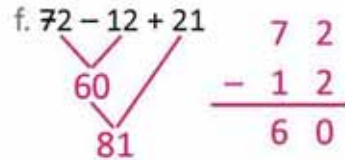
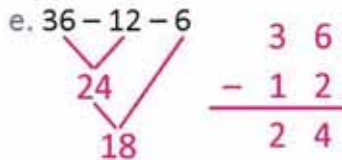
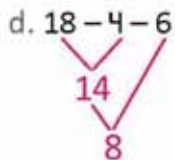
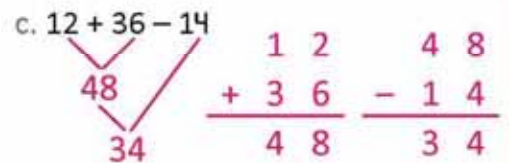
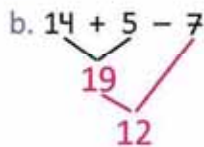
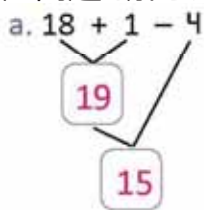
### 理解しよう

たし算やひき算をするには、現れる順番に計算していくことを思い出しましょう。



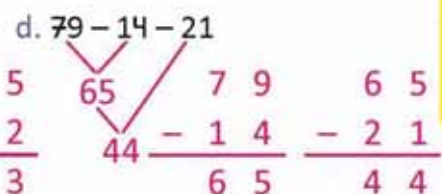
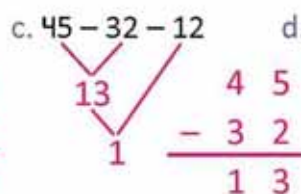
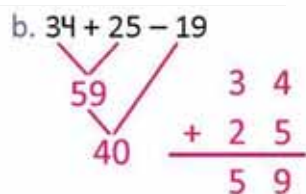
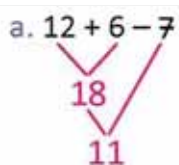
### 解いてみよう

次の問題を解きましょう。



### 家で解いてみよう

次の問題を解きましょう。



**達成の目安：**

3.3 3つの数でたし算やひき算をします。繰り上げも繰り下げもしません。計算結果は99より小さい数になります。

**ねらい：** 99よりも小さい数でたし算やひき算をします。縦書きや横書きで計算をさせます。

**重要なポイント：** この授業では、3つの数で横書きでたし算やひき算をします。99より小さい数を使います。ユニット3と5でこのタイプの計算をしましたが、この時は20までの数で計算しました。そこで、この授業では、これらのユニットで学習したことをユニット7に結びつけます。そのため、たし算やひき算をするのに縦書きで計算しなければならない場合があります。「解いてみよう」の設問 c. と f. がその例です。

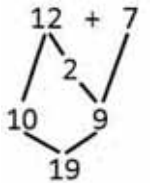
前の段落でも述べましたが、この授業で提示する設問を解くには、ユニット3、5、7で学習したすべての手順が必要となります。「答えてみよう」では、単にたし算やひき算の答えが提示されているだけですが、生徒達は、空いているスペースやノートの紙を使って、もっと詳しく計算することが求められます。例えば、「考えてみよう」の設問 a. では、 $12 + 7$  を詳細に計算するには、右に示した手順で行い、次に、 $19 - 14$  では縦書きで計算することになります。この手順は「答えてみよう」には示されていません。しかし①で、ユニット3で導入した形式が使えることを示唆する手がかりが示されています。上記の通りですが、縦書きの計算が使えることを生徒達が自分で見つけ出すことが望ましいです。

この授業で思い出させる最も大切なことの1つに、得られた結果を正しい書き方で書くことがあります。ユニット3では次のように書くことは正しくないと教えています。

$$12 + 7 = 19 - 14 = 5$$

**正しくない。**

このため、このように書くことがないように、ここで取り上げる形式を活用します。



**日付：**

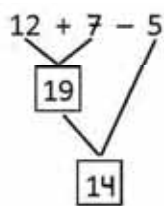
**授業： 3.3**

Ⓐ 次の問題を解きましょう。

a.  $12 + 7 - 5$

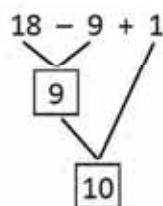
b.  $18 - 9 + 1$

Ⓔ a.  $12 + 7 - 5$  を計算するには、



つまり、 $12 + 7 - 5 = 14$  になります。

b.  $18 - 9 + 1$  を計算するには、

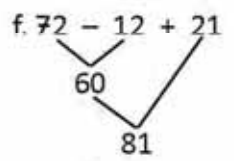
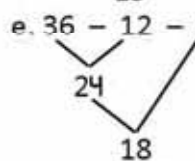
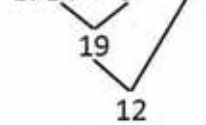
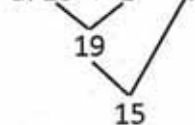


つまり、 $18 - 9 + 1 = 10$  になります。

Ⓖ 次の問題を解きましょう。

a.  $18 + 1 - 4$

b.  $14 + 5 - 7$



$$\begin{array}{r} 36 \\ - 12 \\ \hline 24 \\ - 6 \\ \hline 18 \end{array}$$

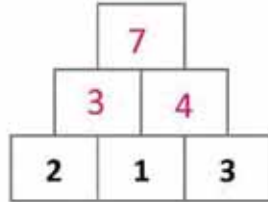
$$\begin{array}{r} 72 \\ - 12 \\ \hline 60 \\ + 21 \\ \hline 81 \end{array}$$

宿題： 193ページ

## 3.4 ピラミッドでたし算をしましょう。

### 考えてみよう

ピラミッドのマス目は次の要領で埋めていきます。  
1つのマス目の数は、その下にある2つの数の和に等しくなっています。



ピラミッドを完成させましょう。

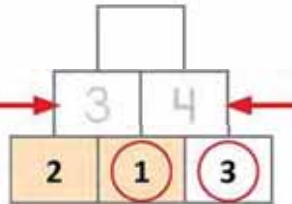
### 答えてみよう



① このマス目は、その下にある2つの数を足すと埋まります。次の式で計算します。

$$2 + 1 = 3$$

①

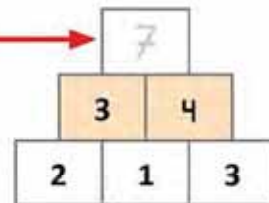


② このマス目は、その下にある2つの数を足すと埋まります。次の式で計算します。

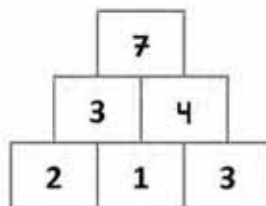
$$1 + 3 = 4$$

③ 一番上のマス目は、その下にある2つの数を足すと埋まります。次の式で計算します。

$$3 + 4 = 7$$



完成したピラミッドは次のようになります。



### 理解しよう

ピラミッドを完成させるには、下から上へと数を見つけていきます。

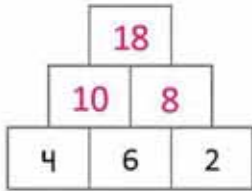
# レッスン

# 3

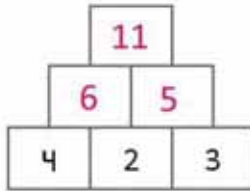
## 解いてみよう

数のピラミッドを完成させましょう。

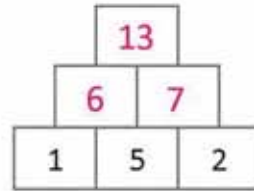
a.



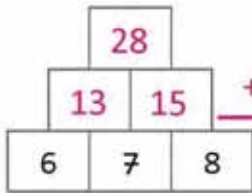
b.



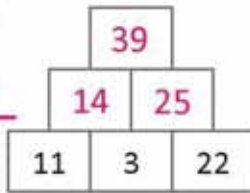
c.



d.



e.



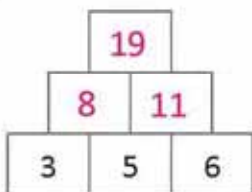
$$\begin{array}{r}
 1 \ 3 \\
 + \ 1 \ 5 \\
 \hline
 2 \ 8
 \end{array}$$

$$\begin{array}{r}
 1 \ 4 \\
 + \ 2 \ 5 \\
 \hline
 3 \ 9
 \end{array}$$

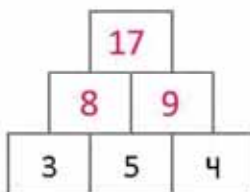
## 家で解いてみよう

数のピラミッドを完成させましょう。

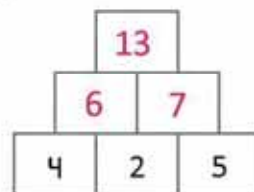
a.



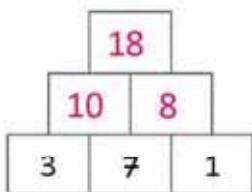
b.



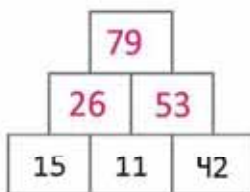
c.



d.



e.



$$\begin{array}{r}
 1 \ 5 \\
 + \ 1 \ 1 \\
 \hline
 2 \ 6
 \end{array}
 \quad
 \begin{array}{r}
 1 \ 1 \\
 + \ 4 \ 2 \\
 \hline
 5 \ 3
 \end{array}
 \quad
 \begin{array}{r}
 2 \ 6 \\
 + \ 5 \ 3 \\
 \hline
 7 \ 9
 \end{array}$$

家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

3.4 数のピラミッドでたし算をします。ピラミッドのそれぞれの数は、そのすぐ下にある2つの数を足して求めます。

**ねらい：** 論理的な考え方を伸ばすために数のピラミッドでたし算をさせます。

**重要なポイント：** この授業では、始めに、第一のレベルに3つの数が書いてあるピラミッドを見せて、このピラミッドをどのように埋めていくかを説明します。与えられていく情報からピラミッドを完成させることを主題としています。

生徒達が設問を理解し自分で解き方を見つけるために考える時間をとりましょう（8分間から10分間）。もし進展が見られないのなら、「答えてみよう」の項を読ませ、疑問を抱いていたのであればその疑問が解消されていくのを確認しましょう。

「考えてみよう」の設問では、数字のそれぞれを求めるのに行う計算の各手順を明らかにし、計算する対象の数字を強調するか、そのような数字に色をつけてあります。①も同様です。「黒板の書き方」としては、完全な形のピラミッドを書くわけですが、まず始めに第一レベルの数字だけを書いたピラミッドを見せ、次に授業が進むにつれてピラミッドを埋めていくという形で提示して行かなければなりません。

「解いてみよう」と「家で解いてみよう」の設問は、ピラミッドの第一レベルの3つの数字が提示されていて、授業で扱う設問と似ています。2つの数字のたし算をする時、生徒達は縦書きで計算することができます。

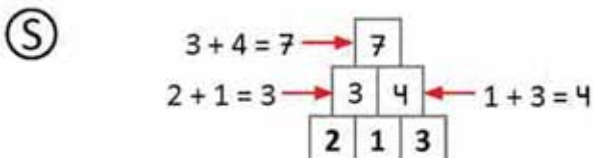
**メモ：**

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

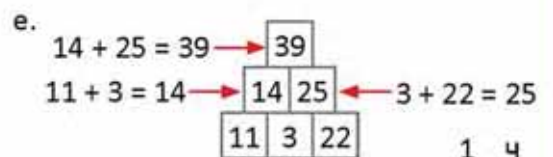
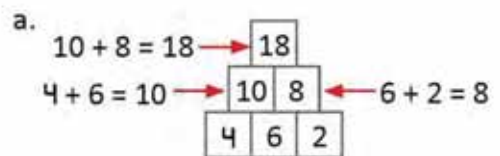
**日付：**

**授業：** 3.4

① ピラミッドでは、1つのマス目の数は、その下にある2つの数の和に等しくなっています。ピラミッドを完成させましょう。



③ 数のピラミッドを完成させましょう。



$$\begin{array}{r} 14 \\ + 25 \\ \hline 39 \end{array}$$

**宿題：** 195ページ

## 3.5 欠けている数字を書きましょう

### 考えてみよう

次の問いに答えなさい。

- 観覧車には何人の子どもがいますか？
- 列車には何人の子どもがいますか？
- 風船は全部で何個ありますか？



### 答えてみよう



カルメン

a. ブースが6つあって、それぞれに3人の子どもが乗っています。したがって、

$$3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 = \underline{18} \text{ 人の子どもが観覧車に乗っています。}$$

b. 1つの車両に5人の子どもが乗っていて、車両は3つあります。したがって、

$$\underline{15} \text{ 人の子どもが列車に乗っています。}$$

c. 子どもはそれぞれが4つの風船を持っていて、6人います。したがって、

$$\underline{24} \text{ 個の風船があります。}$$

### 理解しよう

同じ数を何回も足すということは、その数とびで数えることであることを思い出しましょう。



## 解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 12$

b.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 = 42$

c.  $8 + 8 + 8 + 8 = 32$

d.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 = 20$

e.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 = 54$

f.  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 21$

## 家で解いてみよう

和を求めましょう。

a.  $6 + 6 + 6 + 6 + 6 + 6 = 36$

b.  $5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 + 5 = 35$

c.  $10 + 10 + 10 + 10 + 10 + 10 = 60$

d.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 = 18$

e.  $7 + 7 + 7 = 21$

f.  $9 + 9 + 9 + 9 = 36$



## 達成の目安：

3.5 2から10までの同じ数を繰り返して足すたし算をします。使う数は100までの数だけです。

**ねらい：**このユニットのレッスン2で学習した内容を総括するために、2から10までの同じ数を繰り返して足すたし算をさせます。

## 重要なポイント：

**誤字の訂正：**タイトルを「同じ数を何回も足しましょう」に訂正します。

この授業では、このユニットのレッスン2で学習した内容を総括します。同じ数を何回も足すことを試みます。使う数は100より小さい数だけです。さらに、この授業では、ある数ごとに数える方法を思い出させ実践させることができます。この2つのテーマは、緊密な関係にあるのですが、次年度の始めに習うかけ算の概念を導入するのに役立ちます。

「考えてみよう」の設問を解く時にしてしまうことがある間違いは、間違った数を足してしまうことです。例えば、設問 a. で、 $6 + 6 + 6$  というたし算をしてしまう生徒もいるでしょう。この場合、計算して求めるのは子どもの数であって6はブースの数であることを示しましょう。

設問を解くのに、生徒達は0から100までの数を書いた表を使うことができます。特に数字が7、8、9の時はいつも計算が最も難しくなりますので表を使うことができます。

## メモ：

---

---

---

---

---

---

---

---

## 日付：

授業：3.5

- (A)** a. 観覧車には何人の子どもがいますか?  
b. 列車には何人の子どもが乗っていますか?  
c. 風船は全部で何個ありますか。
- (S)** a. ブースが6つあって、それぞれに3人の子どもが乗っています。 $3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 = 18$ で、18人の子どもが乗っています。  
b. 1つの車両に5人の子どもが乗っていて、車両は3つあります。 $5 + 5 + 5 = 15$ で、15人の子どもが乗っています。  
c. 子どもはそれぞれが4つの風船を持っていて、6人います。  
 $4 + 4 + 4 + 4 + 4 + 4$  で、24 個の風船があります。

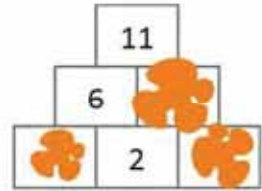
- (R)** Calcula el total:
- a.  $2 + 2 + 2 + 2 + 2 + 2 =$  12
- b.  $7 + 7 + 7 + 7 + 7 + 7 =$  42
- c.  $8 + 8 + 8 + 8 =$  32
- d.  $4 + 4 + 4 + 4 + 4 =$  20
- e.  $9 + 9 + 9 + 9 + 9 + 9 =$  54
- f.  $3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 + 3 =$  21

宿題：197ページ

## 3.6 問題を解きましょう。

### 考えてみよう

カルロスのノートには数のピラミッドが書いてありましたが、ノートを汚してしまって数がいくつか読めなくなりました。計算してもとの数を出しましょう。

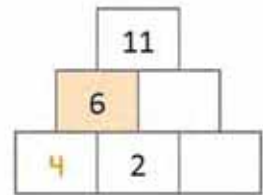


### 答えてみよう

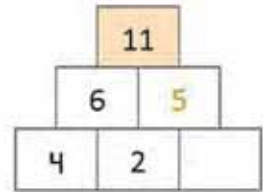


マリオ

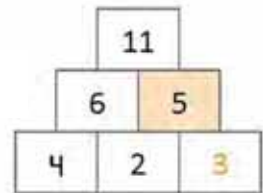
6は、2と読めなくなった別の数字とを足して得られる数です。2が分かっているので、6になるのに足りない数は、4です ( $6 - 2 = 4$ )。したがって、下の第一のマス目に入るのは4です。



11は、6と読めなくなった別の数字とを足して得られる数です。6が分かっているので、11になるのに足りない数は、5です ( $11 - 6 = 5$ )。したがって、6と並んだマス目に入る数は5です。



最後に、5は、2と読めなくなった別の数字とを足して得られる数です。2が分かっているので、5になるのに足りない数は、3です ( $5 - 2 = 3$ )。したがって、2と並んだマス目に入る数は3です。

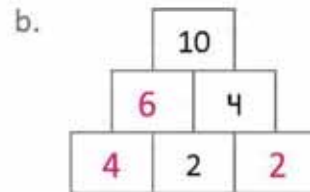
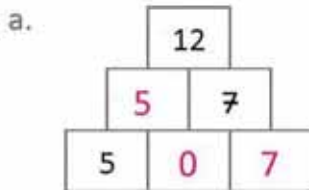


### 理解しよう

ピラミッドを完成させるには、下から上へと数を見つけていきます。

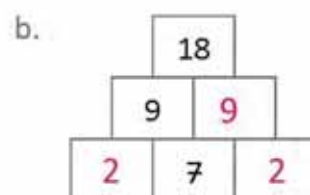
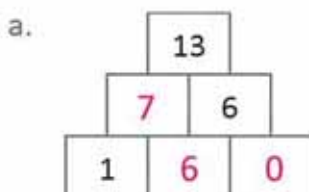
### 解いてみよう

数のピラミッドを完成させましょう。



### 家で解いてみよう

数のピラミッドを完成させましょう。



家族のサイン： \_\_\_\_\_

**達成の目安：**

3.6 数のピラミッドを使って、100より小さい数でたし算とひき算をする問題を解きます。

**ねらい：** 論理的な考え方を伸ばすために数のピラミッドでたし算やひき算をさせます。

**重要なポイント：** このユニットの授業3.4では、数のピラミッドを導入しました。この時はピラミッドを完成させるためにたし算をしました。この授業では、ピラミッドを提示しますが、始めに扱う数字は第一レベルにある数字ではありません。したがって、分かっているデータに応じてたし算やひき算をする必要があります。

このタイプのピラミッドを完成させるには、第一レベルから順に足していくというやり方はできません。次のレベルで数の1つが分からなくなっていて、この分からなくなっている数は、さらに他の分からなくなった数との和であるという状態になっているからです。ピラミッドを完成させるのにどこから始めるかは、分からなくなっている数字がどれかによります。そして始めるには様々な方法があります。例えば、「分析しましょう」では、6が書いてあるマス目から解き始めますが、11が書いてあるマス目から解き始めることもできます。

**メモ：**

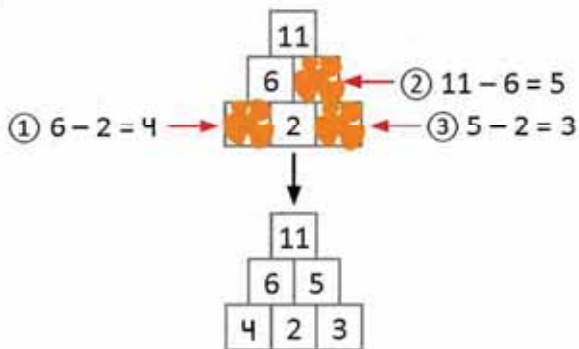
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

**日付：**

**授業：** 3.6

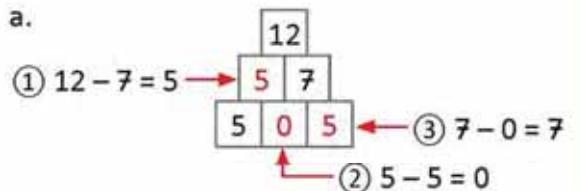
**(A)** 計算してもとの数を出しましょう。

**(S)**

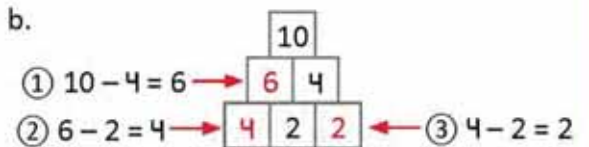


**(R)** 数のピラミッドを完成させましょう。

a.



b.



**宿題：** 198ページ

### 達成の目安：

3.7 100より小さい数を使ってたし算やひき算に関する問題を解きます。繰り上げも繰り下げもせず、横書きまたは縦書きで計算します。

## 3.7 学んだことをやってみましょう。

1. 次の問題を解きましょう。

a.  $3 + 4 = 7$       b.  $5 + 3 = 8$       c.  $6 + 2 = 8$       d.  $2 + 4 = 6$       e.  $3 + 7 = 10$

f.  $3 - 2 = 1$       g.  $5 - 3 = 2$       h.  $7 - 4 = 3$       i.  $2 - 1 = 1$       j.  $10 - 3 = 7$

2. 次の問題を解きましょう。

a.  $4 + 8 = 12$       b.  $7 + 6 = 13$       c.  $5 + 6 = 11$       d.  $7 + 8 = 15$       e.  $3 + 8 = 11$

f.  $2 + 9 = 11$       g.  $9 + 4 = 13$       h.  $6 + 7 = 13$       i.  $8 + 5 = 13$       j.  $4 + 9 = 13$

k.  $15 - 4 = 11$       l.  $17 - 5 = 12$       m.  $13 - 6 = 7$       n.  $14 - 8 = 6$       ñ.  $16 - 7 = 9$

o.  $12 - 4 = 8$       p.  $11 - 7 = 4$       q.  $14 - 6 = 8$       r.  $13 - 5 = 8$       s.  $16 - 8 = 8$

3. 次の問題を解きましょう。

a.  $25 + 43 = 68$       b.  $16 + 81 = 97$       c.  $14 + 13 = 27$       d.  $27 + 22 = 49$

	2	5
+	4	3
<hr/>		
	6	8

	1	6
+	8	1
<hr/>		
	9	7

	1	4
+	1	3
<hr/>		
	2	7

	2	7
+	2	2
<hr/>		
	4	9

e.  $46 - 12 = 34$       f.  $35 - 13 = 22$       g.  $44 - 21 = 23$       h.  $57 - 31 = 26$

	4	6
-	1	2
<hr/>		
	3	4

	3	5
-	1	3
<hr/>		
	2	2

	4	4
-	2	1
<hr/>		
	2	3

	5	7
-	3	1
<hr/>		
	2	6

## 家で解いてみよう

1. 次の問題を解きましょう。

a.  $7 + 1 = 8$

b.  $3 + 6 = 9$

c.  $2 + 5 = 7$

d.  $8 + 2 = 10$

e.  $9 + 1 = 10$

f.  $9 - 4 = 5$

g.  $6 - 5 = 1$

h.  $5 - 2 = 3$

i.  $7 - 4 = 3$

j.  $3 - 3 = 0$

2. 次の問題を解きましょう。

a.  $4 + 7 = 11$

b.  $3 + 9 = 12$

c.  $8 + 4 = 12$

d.  $6 + 9 = 15$

e.  $8 + 7 = 15$

f.  $7 + 5 = 12$

g.  $9 + 9 = 18$

h.  $5 + 7 = 12$

i.  $9 + 4 = 13$

j.  $8 + 8 = 16$

k.  $14 - 7 = 7$

l.  $17 - 9 = 8$

m.  $12 - 7 = 5$

n.  $16 - 8 = 8$

ñ.  $18 - 9 = 9$

o.  $11 - 5 = 6$

p.  $15 - 6 = 9$

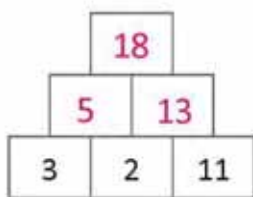
q.  $14 - 7 = 7$

r.  $15 - 8 = 7$

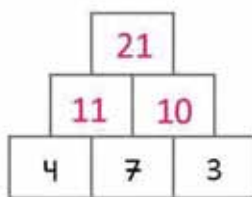
s.  $13 - 5 = 8$

3. 数のピラミッドを完成させましょう。

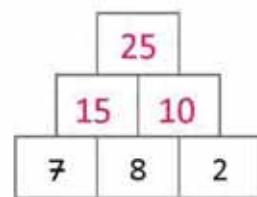
a.



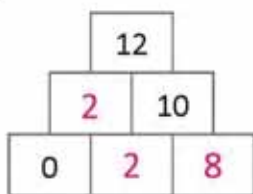
b.



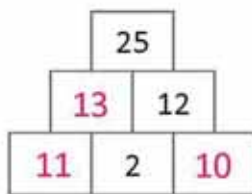
c.



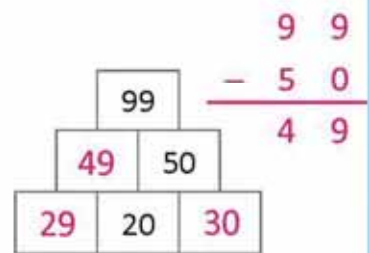
d.



e.



f.



**達成の目安：**

3.8 100より小さい数を使ってひき算に関する問題を解きます。繰り下げせず、縦書きで計算します。

**3.8 学んだことをやってみましょう。**

1. 縦書きで計算しましょう。

a.  $76 - 42 = 34$

	7	6
-	4	2
<hr/>		
	3	4

b.  $35 - 13 = 22$

	3	5
-	1	3
<hr/>		
	2	2

c.  $64 - 21 = 43$

	6	4
-	2	1
<hr/>		
	4	3

d.  $98 - 67 = 31$

	9	8
-	6	7
<hr/>		
	3	1

2. マス目に入る数を計算して、式を完成させましょう。

a.

	6	4
+	2	2
<hr/>		
	8	6

b.

	1	5
+	3	2
<hr/>		
	4	7

c.

	5	5
+	2	4
<hr/>		
	7	9

d.

	1	5
+	3	2
<hr/>		
	4	7

3. フアンはピザを売っていて、ハムを35枚とペパロニを14枚持っています。売るためのピザは何人分ありますか？

式： $35 + 14$

	3	5
+	1	4
<hr/>		
	4	9

答え：49人分

4. ププサを買うために25人の人が列に並んでいます。フリアは2番目にいます。フリアの後ろには何人いるでしょうか？

式： $25 - 2$

	2	5
-		2
<hr/>		
	2	3

答え：23人

5. 次のように、5つの数字が5つのマス目を書いてあります。

**誤字の訂正：** 真中の3つの数の和は79です。また、後の3つの和は88です。

12	<del>10</del>	<del>10</del>	<del>10</del>	31
----	---------------	---------------	---------------	----

- 始めの3つの数の和は44です。 <sup>79</sup>
- 真中の3つの数の和は~~70~~です。
- 後の3つの数の和は~~90~~です。 <sup>88</sup>

真中の数を計算して求めましょう。

- 始めの3つの数の和が44になり、始めの数が12なので、2番目と3番目のマス目の数の和は、 $44 - 12 = 32$ で、32です。
- 真中の3つの数の和が79になり、2番目と3番目のマス目の数の和が32になるので、4番目のマス目の数は、 $79 - 32 = 47$ で、47です。
- 後の3つの数の和は88になるので、3番目のマス目の数は、 $88 - 47 - 31 = 10$ で、10になります。
- 最後に、2番目のマス目は、 $32 - 10 = 22$ で、22になります。

12	22	10	47	31
----	----	----	----	----

## 家で解いてみよう

1. 縦書きで計算しましょう。

a.  $54 - 21$

	5	4
-	2	1
<hr/>		
	3	3

b.  $67 - 43$

	6	7
-	4	3
<hr/>		
	2	4

c.  $95 - 62$

	9	5
-	6	2
<hr/>		
	3	3

d.  $48 - 16$

	4	8
-	1	6
<hr/>		
	3	2

2. マス目に入る数を求めましょう。

a.

	8	6
-	3	3
<hr/>		
	5	3

b.

	7	6
-	3	4
<hr/>		
	4	2

c.

	8	7
-	2	2
<hr/>		
	6	5

d.

	6	8
-	4	5
<hr/>		
	2	3

3. フアンは、27本のイチゴとマンゴーのアイスキャンディーを持っています。23本がイチゴなら、マンゴーのアイスキャンディーはいくつでしょうか？

式： $27 - 23$

	2	7
-	2	3
<hr/>		
	0	4

答え：4本

4. 庭に50本のバラがあり、25匹のハチがいます。バラはハチより何本多いですか？

式： $50 - 25$

	5	0
-	2	5
<hr/>		
	2	5

答え：25本

5. 次の計算で、●と◆は数字の桁を表します。●と◆の和を求めましょう。

ステップ1. 一の位の数字は、ひく対象の数の一の位から4をひいた数です。したがって、●は8になります。

	5	●
-	◆	4
<hr/>		
	2	4

ステップ2. 十の位の数字は、ひく対象の数の十の位から◆をひいた数です。したがって、◆は3になります。

ステップ3. したがって、●と◆との和は、 $8 + 3 = 11$ で、11です。

達成の目安：

3.9 たし算に関する問題を解きます。繰り上げせず、縦書きで計算します。使う数は100までの数だけです。

3.9 学んだことをやってみましょう。

1. 次の各問題を解きましょう。

a.  $74 + 22$

	7	4
+	2	2
<hr/>		
	9	6

b.  $28 + 11$

	2	8
+	1	1
<hr/>		
	3	9

c.  $15 + 13$

	1	5
+	1	3
<hr/>		
	2	8

d.  $32 + 50$

	3	2
+	5	0
<hr/>		
	8	2

e.  $21 + 5$

	2	1
+		5
<hr/>		
	2	6

f.  $75 + 3$

	7	5
+		3
<hr/>		
	7	8

g.  $4 + 31$

		4
+	3	1
<hr/>		
	3	5

h.  $6 + 23$

		6
+	2	3
<hr/>		
	2	9

i.  $35 - 22$

	3	5
-	2	2
<hr/>		
	1	3

j.  $48 - 15$

	4	8
-	1	5
<hr/>		
	3	3

k.  $56 - 26$

	5	6
-	2	6
<hr/>		
	3	0

l.  $27 - 23$

	2	7
-	2	3
<hr/>		
		4

m.  $25 - 10$

	2	5
-	1	0
<hr/>		
	1	5

n.  $38 - 2$

	3	8
-		2
<hr/>		
	3	6

ñ.  $75 - 5$

	7	5
-		5
<hr/>		
	7	0

o.  $60 - 30$

	6	0
-	3	0
<hr/>		
	3	0

2. フアンは午前中に50個のマンゴーを売って、午後にさらに35個売ります。全部で何個のマンゴーを売りますか？

式： $50 + 35$

	5	0
+	3	5
<hr/>		
	8	5

答え：85 個のマンゴー



## 家で解いてみよう

1. 次の各問題を解きましょう。

a.  $25 + 14$

	2	5
+	1	4
<hr/>		
	3	9

b.  $16 + 31$

	1	6
+	3	1
<hr/>		
	4	7

c.  $47 + 22$

	4	7
+	2	2
<hr/>		
	6	9

d.  $17 + 40$

	1	7
+	4	0
<hr/>		
	5	7

e.  $35 + 4$

	3	5
+		4
<hr/>		
	3	9

f.  $72 + 5$

	7	2
+		5
<hr/>		
	7	7

g.  $7 + 61$

		7
+	6	1
<hr/>		
	6	8

h.  $2 + 42$

		2
+	4	2
<hr/>		
	4	4

i.  $28 - 17$

	2	8
-	1	7
<hr/>		
	1	1

j.  $43 - 31$

	4	3
-	3	1
<hr/>		
	1	2

k.  $91 - 21$

	9	1
-	2	1
<hr/>		
	7	0

l.  $66 - 43$

	6	6
-	4	3
<hr/>		
	2	3

m.  $83 - 30$

	8	3
-	3	0
<hr/>		
	5	3

n.  $25 - 5$

	2	5
-		5
<hr/>		
	2	0

ñ.  $38 - 6$

	3	8
-		6
<hr/>		
	3	2

o.  $70 - 50$

	7	0
-	5	0
<hr/>		
	2	0

2. ベアトリスは、保存用のココナッツでお菓子を60個作り、そのうち40個を売ります。お菓子は何個残りますか？

式：60 - 40

	6	0
-	4	0
<hr/>		
	2	0

答え：20 個のお菓子

























The image features a central text overlay on a background of numerous scissors. The scissors are scattered across the page in various orientations and colors, including blue, yellow, red, pink, green, and light blue. The text is written in a bold, blue, rounded font with a white outline and a drop shadow effect. The top line of text is '切り取り' and the bottom line is 'ページ'.

切り取り  
ページ

### 一般的な指示:

ここから先の切り取りページは、小学1年生の教科書（下）のユニットで使用する教材です。

これらのページは、両面に印刷することを目的として考案されているので、いくつかのページは空白のままです。

ボンド紙に印刷するか、または、（たとえば、証書用の紙など）もっと硬い素材を用いて、使い安くすることができます。

切り抜き教材は長く使えるように、ラミネート加工するか、透明の粘着テープでカバーすることをお勧めします。



タイル

切り取って下さい

切り取りページ

切り取り教材



貼る



貼る







切り取って下さい

切り取りページ



貼る







切り取って下さい

切り取りページ



貼る



貼る





切り取って下さい

切り取りページ



貼る







切り取って下さい

切り取りページ



貼る



貼る







切り取って下さい

切り取りページ



貼る



貼る





切り取って下さい

切り取りページ







位取り表用見出し

切り取りページ

切り取って下さい

D

U

D

U

D

U

D

U

D

U



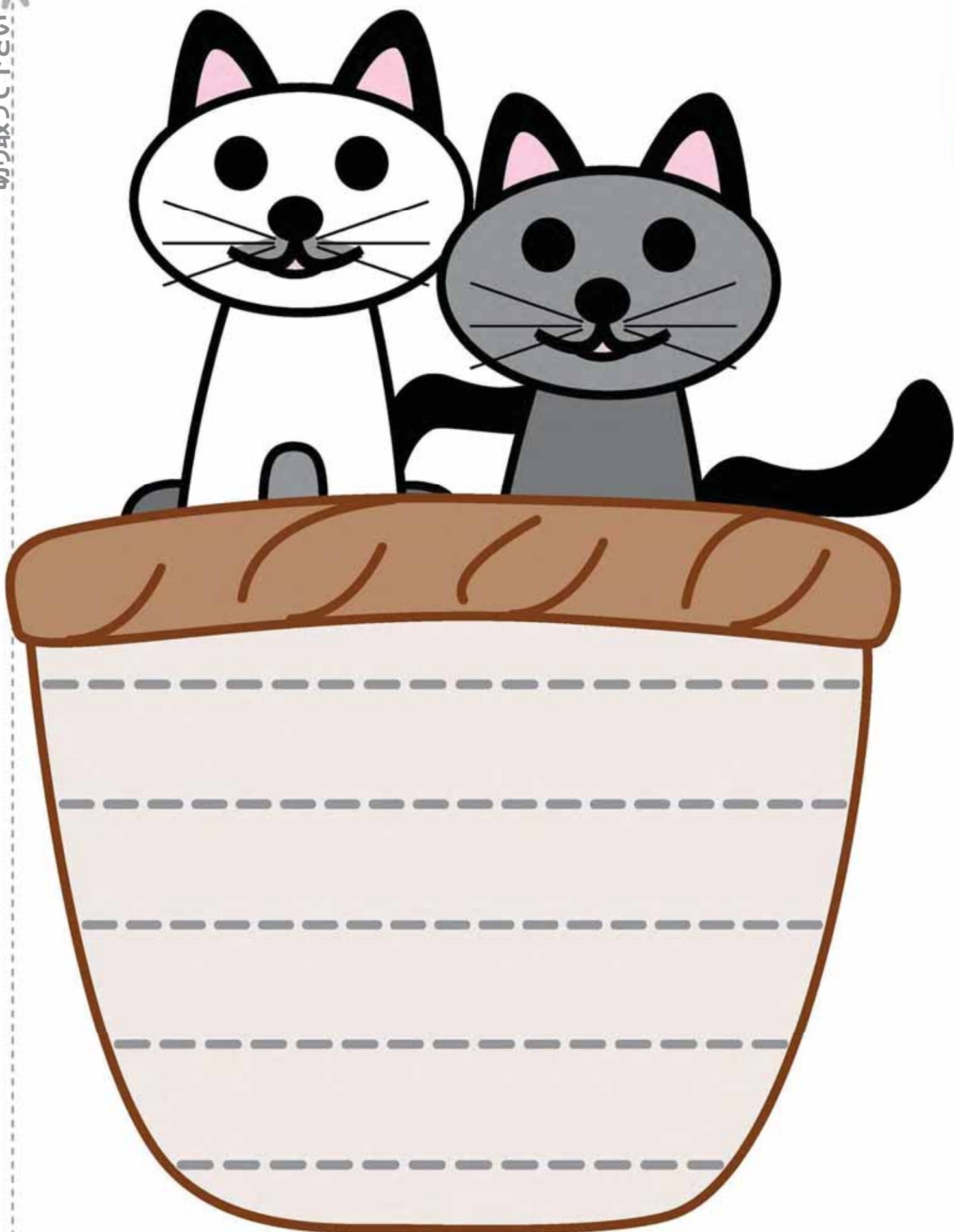


線をなぞりましょう

切り取りページ

切り取り教材

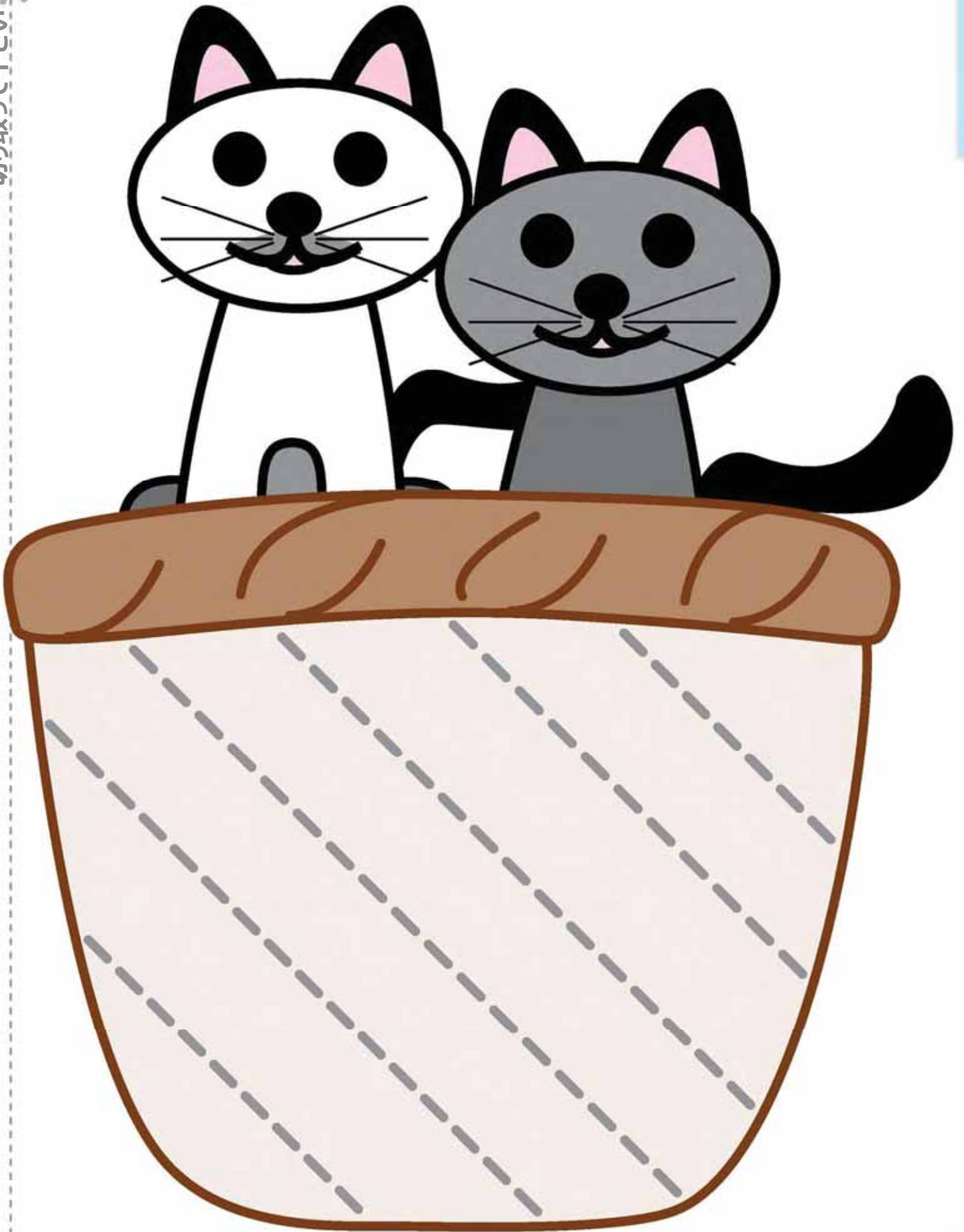
切り取って下さい





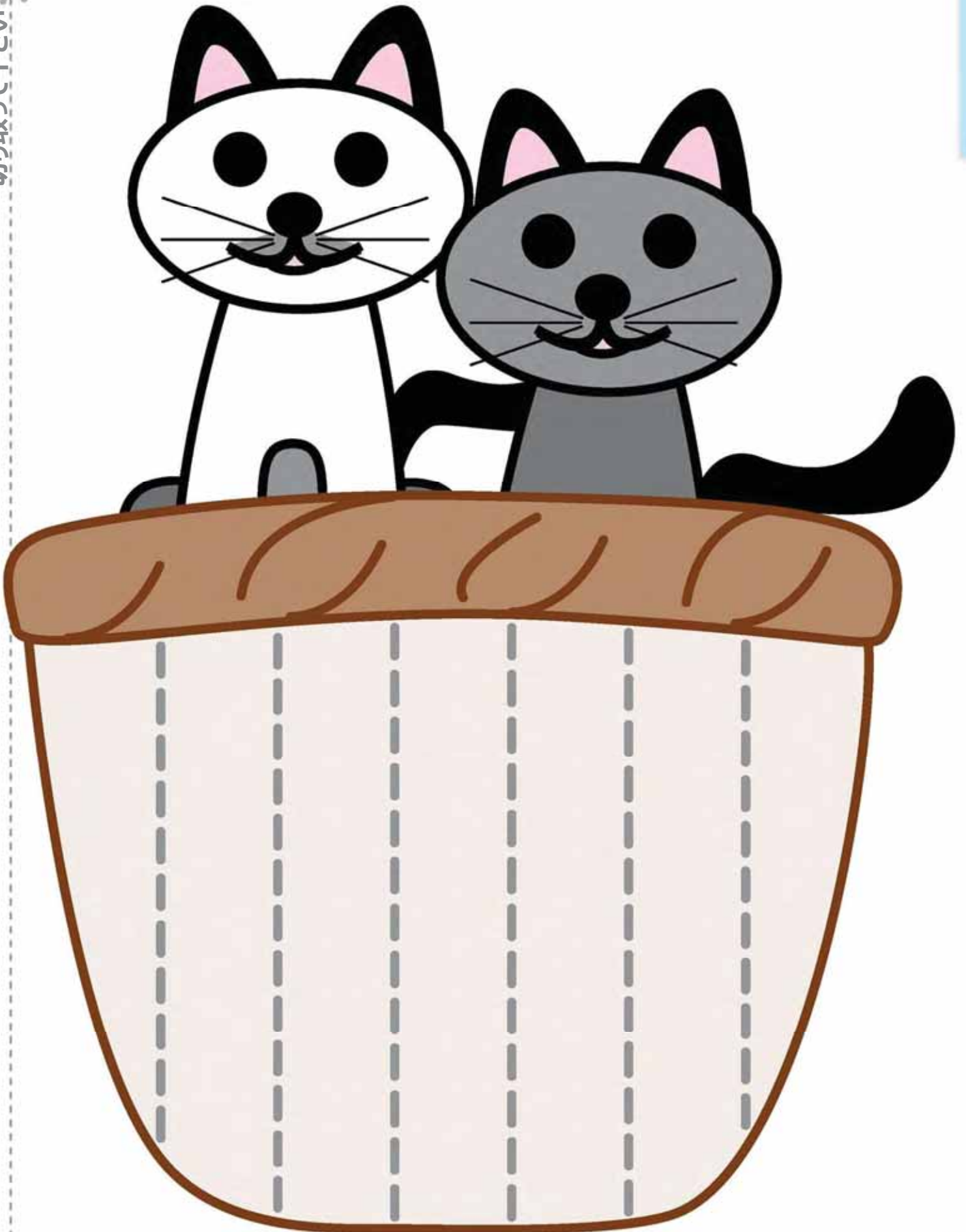


切り取って下さい



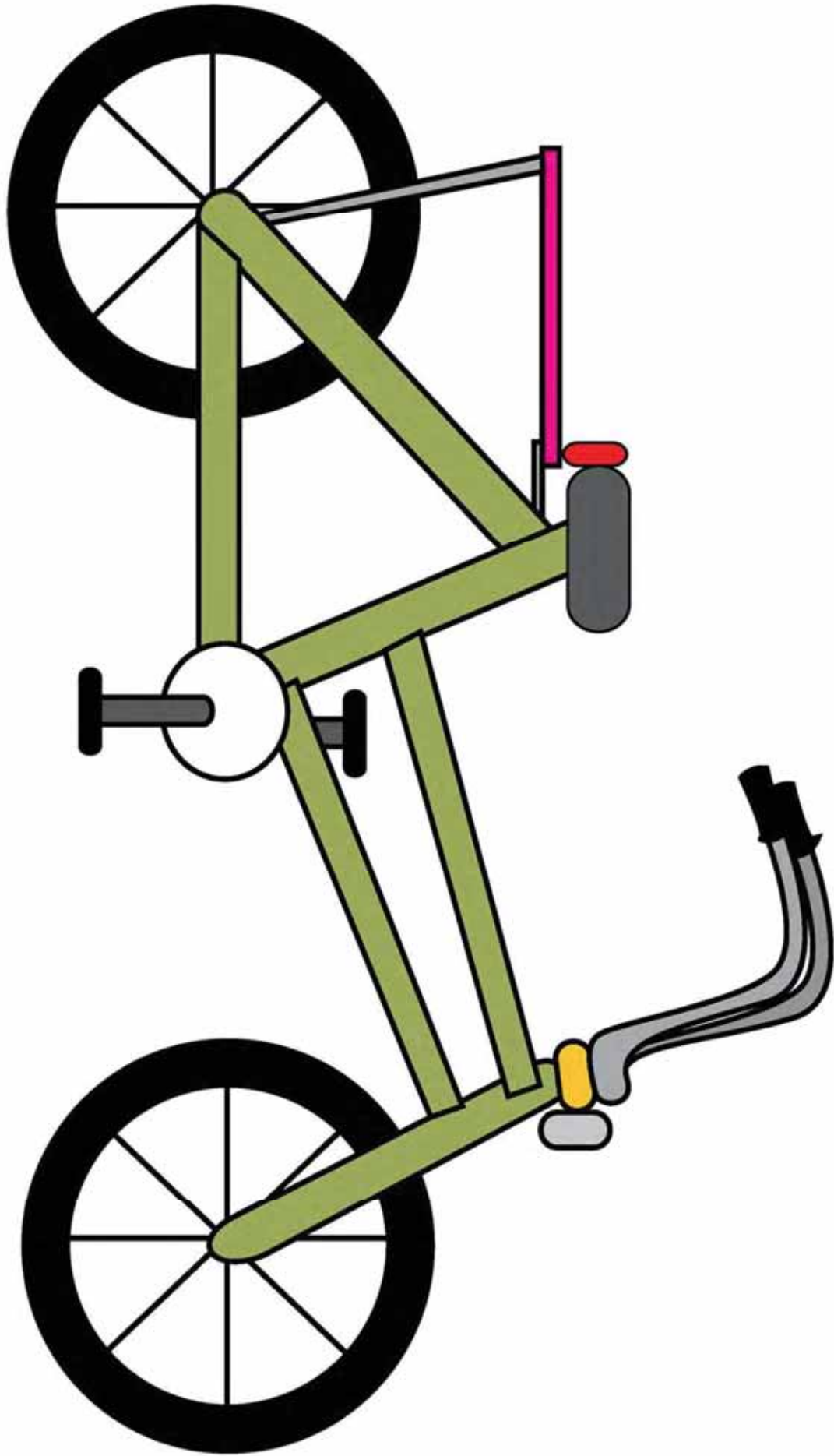


切り取って下さい





切り取って下さい



切り取りページ

切り取り教材





